41065
教科書文庫
4
760
42-1939
0130f49386

教科書文庫
4
760
42-1939
0130449386

改訂

# 標準 女子音樂教科書

黑澤隆朝
小川一朗 共編
林 幸光

広島大学図書
0130449386

第五編

中央図書館

広島大学図書
0130449386

教科書文庫
4
760
42-1939
0130449386

文部省檢定濟（昭和十四年三月十一日）（師範學校・高等女學校音樂科）

# 改訂標準
# 女子音樂敎科書
## 第五編

黑澤隆朝
小川一朗
林幸光
共編

広島大学図書
0130449386

東京
共益商社書店發行

Louis Van Beethoven

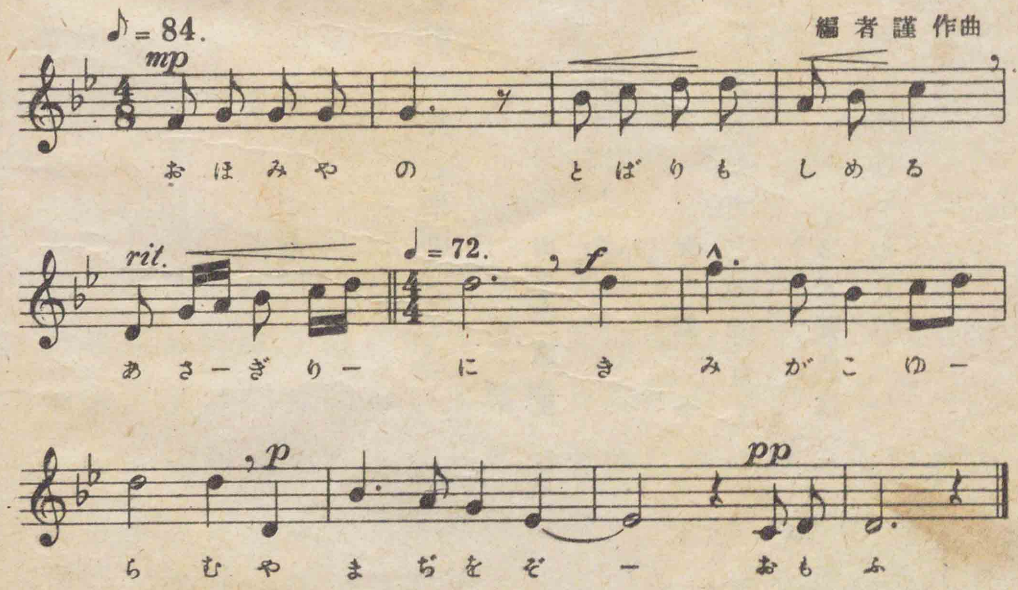
昭憲皇太后御歌

木曾路に行幸ましましけるころ
朝霧のたてるを見て

大宮の
とばりもしめる
朝霧に
君がこゆらむ
山路をぞ思ふ

## 大宮の

編者謹作曲



## 國華五章

皇太后陛下御歌

うつふして匂ふ春野の花すみれ人の心にうつしてしがな

靜寛院宮御歌

惜しまじな君と民とのためならば身は武藏野の露と消ゆとも

しろがねも黄金も玉も何せんにまされる寶子にしかめやも

山上憶良

韓國(からくに)の城(き)の邊に立ちて大葉子は領布(ひれ)振らすもやまとへ向きて

大葉子

御民われ生けるしるしあり天地の榮ゆる時に逢へらく思へば

海犬養岡麿(あまのいぬかひをかまろ)

## 巻頭のことば

本書は文部省の音樂教授要目に準據して，現代の女子師範學校並に高等女學校の音樂教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出來るのは次の諸點で，之等は行詰まれる音樂教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

**一　歌曲の形式は一々重要なる任務を有ち，易より難に極めて自然に排列せられてゐる。**

歌曲の排列に當つては常に樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め，音符の形態，リズムの形式，拍子，調等のあらゆる事項にいつて極めて綿密に考察せられ，前後よく連絡を保つてゐる。

**二　歌曲にはなるたけ伴奏をつけ，生徒の音樂的陶冶に便にしてゐる。**

言ふまでもなく音樂科に於ける歌曲教授は，聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく，常にその歌曲を中心として能ふ限り音樂的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロデイのみならず，常にハーモニーその他の音樂的條件を理解せしむる事に努力したのである。

**三　歌曲の形式，及び之に含まれる音樂的要素の理解をはかる爲めには，基礎的練習，又は類似曲をあつめて之を參考曲，又は鑑賞曲として縱横自在にその徹底を期した。**

練習曲は時間の都合により教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又參考曲は正教材に準ずるもので，容易に自學し得べきものを之にあてた。

**四　鑑賞曲は學習者の理解程度に應じ，聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び，國民の教養に必要と思はれる名曲は殆ど之を網羅した。**

之は本書の最も力を注いだ新生面で，從來の音樂教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ，次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

**五　曲の解說，樂器の圖解，作曲者の評傳等は勿論，音樂理解に必要なる圖形寫眞を惜みなく挿入した。**

**六　歌詞の一字一音は常にメロデイの性質によつて，極めて自然に音韻を配置した事。**

之は從來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は，如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れない。

その他樂典の解說に就いては徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと，練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に收錄された樂曲は，少數の編者作を除くの外は殆ど泰西の名曲で，然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選み之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したものである。

終りに臨み**鑑賞本位音樂陶冶主義**に立脚して編纂した編者の意圖に贊同せられ，音樂教育更新の爲め，本書の使命をして意義あらしめる樣希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

## 改訂について

標準女子音樂教科書を世に問うて玆に六年，諸種の點に於いて改訂の必要を感じたので，全般的に大改訂を加へ，殆ど面目を一新せしめた。

勿論使用者諸彥の親切なる御建言をも率直に容れて之を考慮し，現代の音樂教育の上に萬遺漏なきを期した。

改訂にあたつて特に注意したことは次の諸項である。

**一，** 日本國民たるの榮ある自覺に於いて，音樂を學習すべきことを一層强調した。

**二，** 教材歌曲を更に嚴選し，かつ獨唱曲その他多數の新しき歌曲を增補して一層選擇を自由にした。

**三，** 隨所に〔**參考**〕欄を設け，自習又は適當なる指導によつて，音樂鑑賞上の必要なるべき知識を與へ，かつ寫眞·圖解等を多く加へてその理解を助けた。

**四，** 附錄として音階練習，又はコール·ユーブンゲンより拔萃した系統的な音程練習を加へて，學習上の便に備へた。

**五，** 本教科書五編の全卷は，一貫したる音樂鑑賞讀本であり，世界名曲總目錄であり，かつ愛誦曲集であり，卒業後も音樂常識の好侶伴たるべき便に備へて，卷末に索引總目次を示した。

昭和十三年九月二十日

編纂者再識

# 改訂標準女子音樂教科書第五編

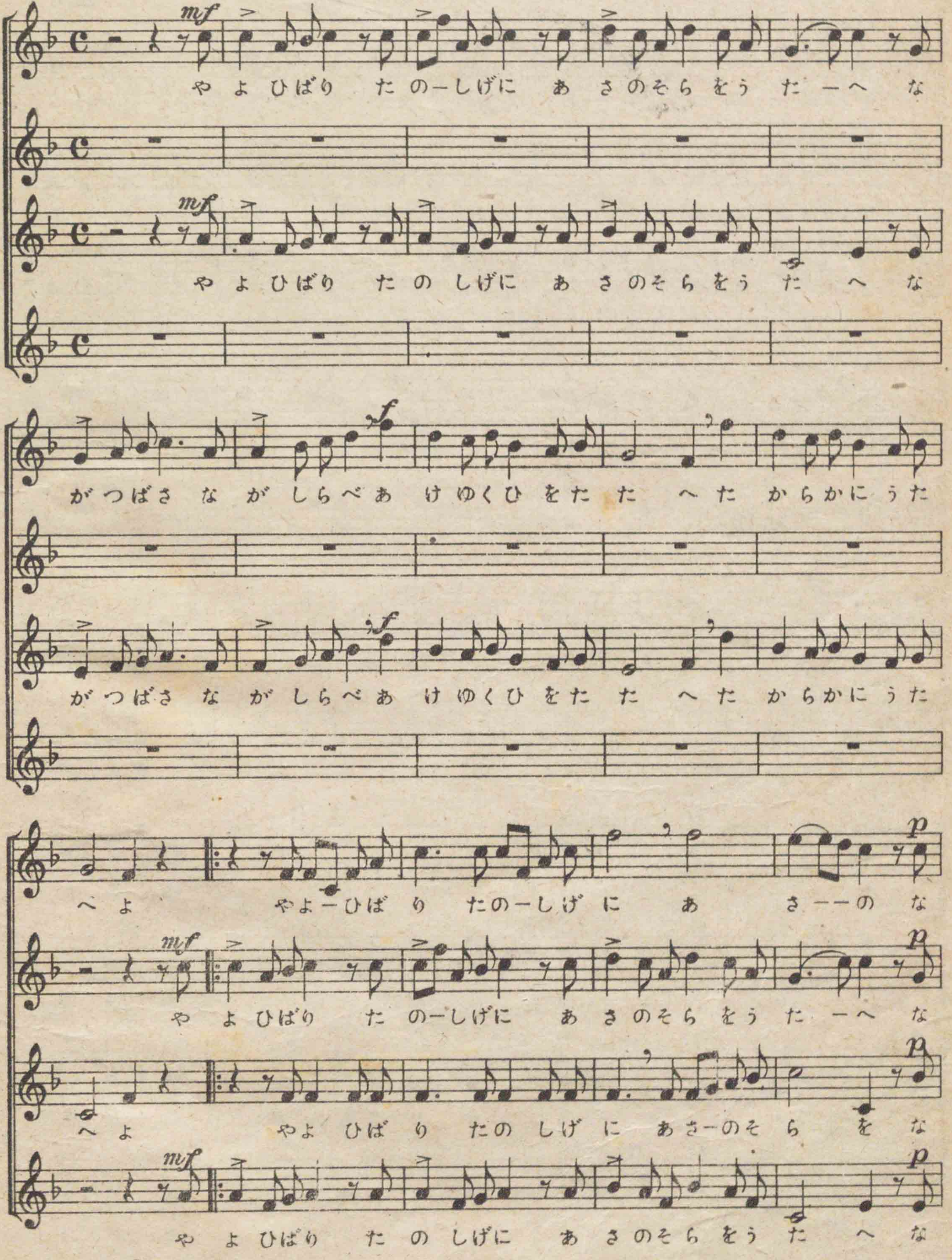
## 目次

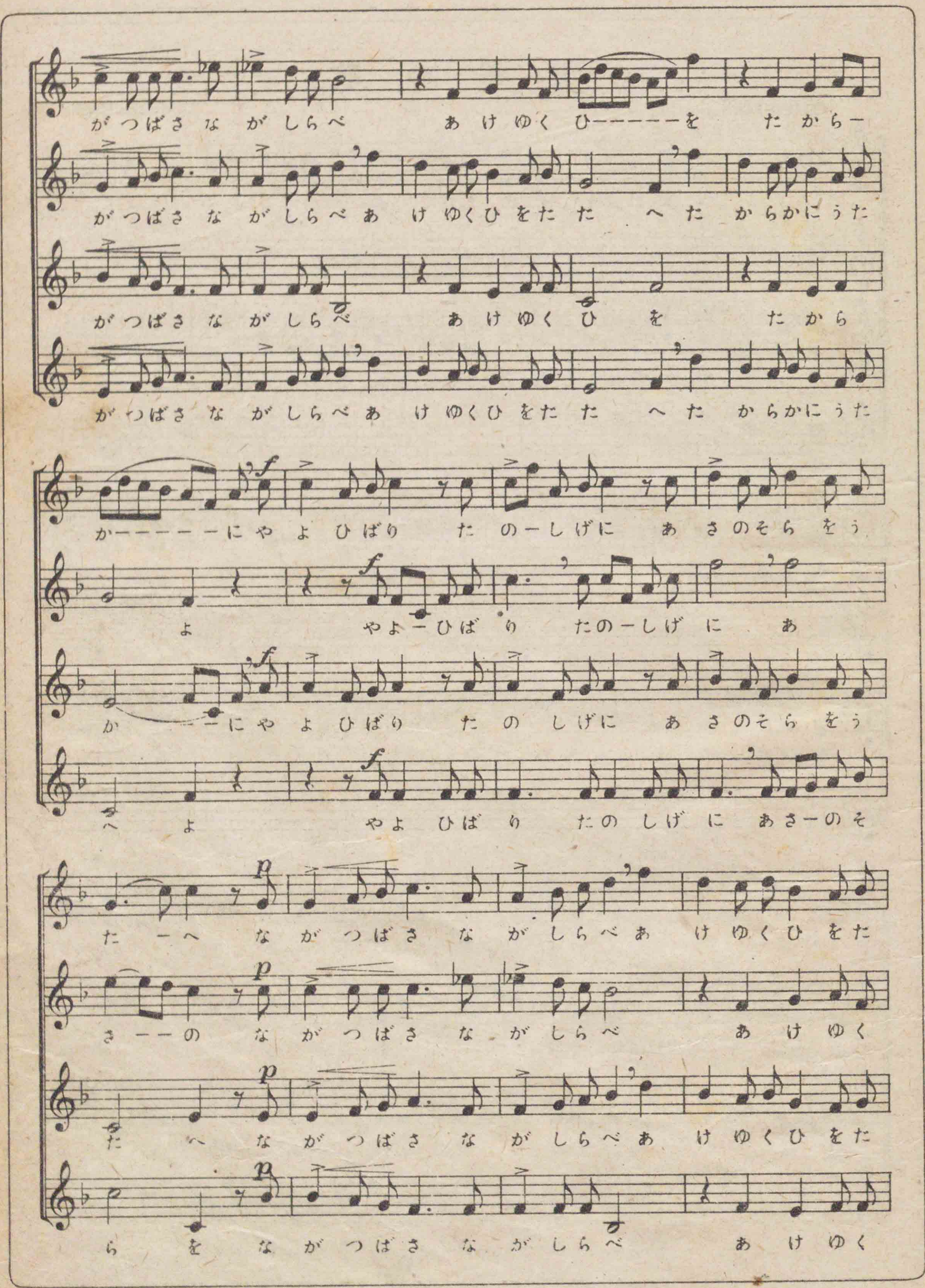

口繪 ベートーヴェン……卷頭
昭憲皇太后御歌 大宮の（編者謹作曲）……卷頭
國華五章……卷頭
雲雀の歌 (Mendelssohn)……1
〔鑑賞〕春の囁き (Sinding)……4
〔鑑賞〕春に寄す (Grieg)……4
〔鑑賞〕春の夢 (J. Strauss)……4
（小傳）リムスキー・コルサコフ……5
〔鑑賞〕サドコ（インドの歌）(Rimsky-Korsakow)……5
四つ葉のクローバー (R. F. Reutel)……6
風にならばや (Mendelssohn)……9
懷しの我家 (S. H. Bishop)……12
〔鑑賞〕四重奏曲「死と少女」より (Schubert)……14
〔鑑賞〕悲歌 (Massenet)……15
〔鑑賞〕悲哀 (Saint-Saëns)……15
〔鑑賞〕白鳥（〃）……15
海邊にて (Schubert)……16
山の古寺 (Brahms)……18
〔鑑賞〕イ長調のワルツ (Brahms)……20
【參考】一 雅樂の話……21
母こ子（ウィーン調）……22
【參考】二 ベートーヴェンの月光の曲……24
〔鑑賞〕ピアノソナタ（月光の曲）(Beethoven)……24
靜夜 (Curschmann)……25
〔鑑賞〕ニーナの死 (Pergolesi)……31
〔鑑賞〕カロミオベン (Giordani)……31
夜の曲 (Schubert)……32
古池の蛙（ドイツ民謠）……34
（小傳）グリーク……38
〔鑑賞〕オーゼの死 (Grieg)……38
〔鑑賞〕アニトラの踊（〃）……39
〔鑑賞〕ソルヴェージの歌（〃）……39
牧場の曙 (Wilson)……40
夢 (Schumann)……44
（小傳）マックス・ブルッフ……46
〔鑑賞〕祈りの曲 (Max Bruch)……46
（小傳）マックス・レーガー……46
〔鑑賞〕マリアの子守歌 (Max Reger)……46
〔鑑賞〕スーヴニール (Drdla)……47
羽衣の舞 (Weber)……48
【參考】三 バッハ……50
〔鑑賞〕G線上のアリア (Bach)……51
〔鑑賞〕ルール（〃）……51

【参考】四　フーガ形式……52
【参考】五　ヘンデル……54
〔鑑賞〕ハレルヤコーラス (Händel)……55
〔鑑賞〕ラルゴ（〃）……55
辻音樂師 (Schubert)……56
（小傳）グーノー……59
〔鑑賞〕アヴェ・マリア (Gounod)……59
〔鑑賞〕アヴェ・マリア (Schubert)……59
春の祝歌 (Södermann)……60
（小傳）リスト……68
〔鑑賞〕愛の夢 (Liszt)……68
〔參考曲〕みたにの奥（小學唱歌集）……69
〔參考曲〕秋草（〃）……69
探梅（作曲者不詳）……70
【参考】六　ワグナー……72
〔鑑賞〕歌劇「彷へる和蘭人」よりの紡ぎ歌 (Wagner)……73
〔鑑賞〕歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱（〃）……73
〔鑑賞〕歌劇「タンホイザー」中の順禮の合唱（〃）……73
（小傳）ドビュッスイ……74
（小傳）リヒアルト・シュトラウス……74
〔鑑賞〕前奏曲「牧神の午後」より (Debussy)……74
流浪の民 (Schumann)……75
音樂の變遷……81
〔一〕有史以前の音樂……81
〔二〕ギリシャ時代の音樂……81
〔三〕ローマ時代の音樂……82
〔四〕中世期の音樂……82
〔五〕聖劇と歌劇……83
〔六〕器樂の勃興……83
〔七〕十八世紀音樂の概觀……84
〔八〕バッハ，ヘンデル時代……84
〔九〕古典派音樂時代……85
〔十〕ベートーヴェンの作品……85
〔十一〕ロマン派音樂の勃興……86
〔十二〕シューベルトと歌謠……87
〔十三〕ロマン派の音樂家……88
〔十四〕ワグナーと樂劇……90
〔十五〕十九世紀末以後の他の作家……90
〔十六〕二十世紀の音樂……91

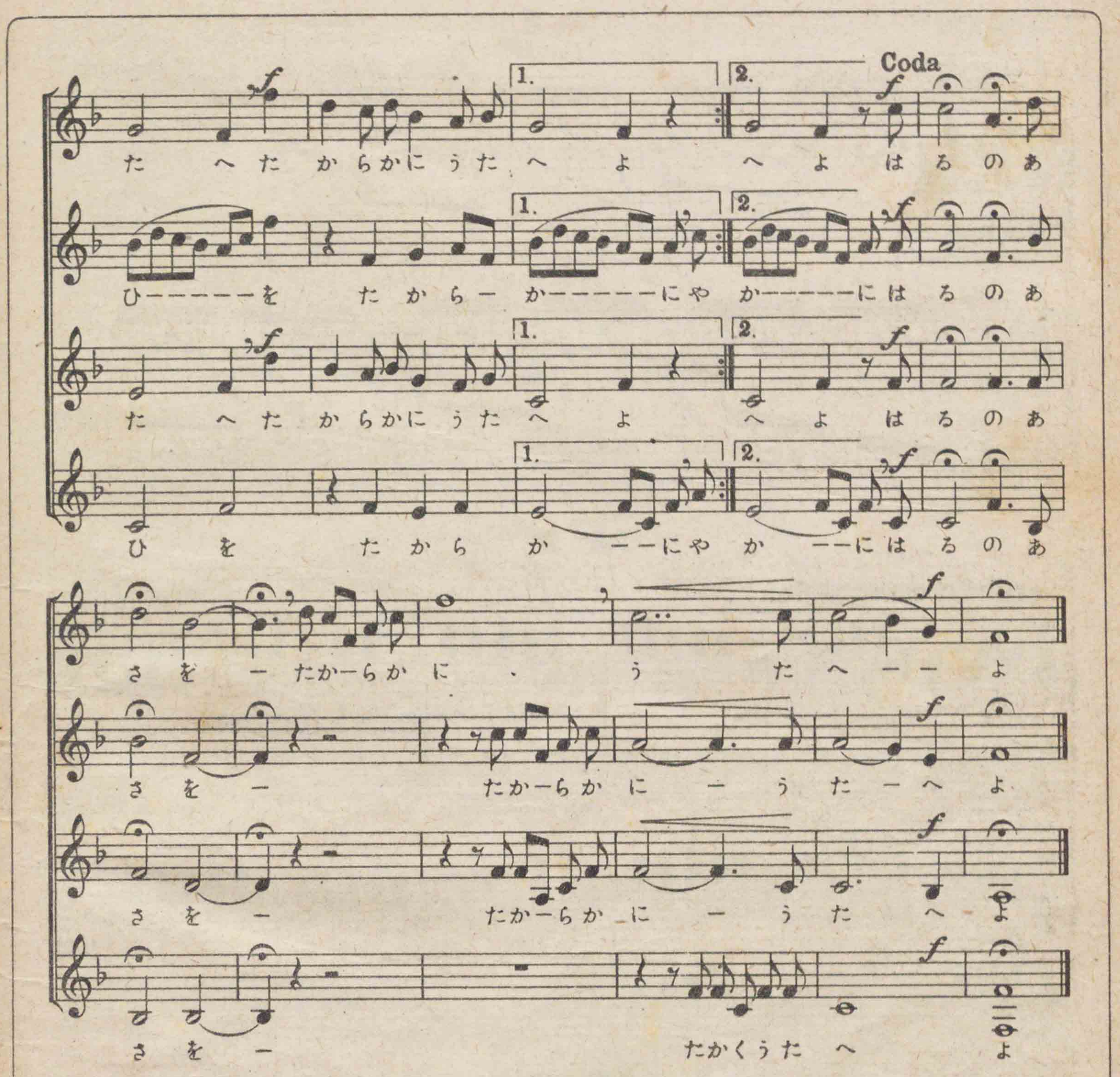
# 雲雀の歌

**Allegro.** (♪＝112) Mendelssohn.








# 雲雀の歌

黒澤隆朝

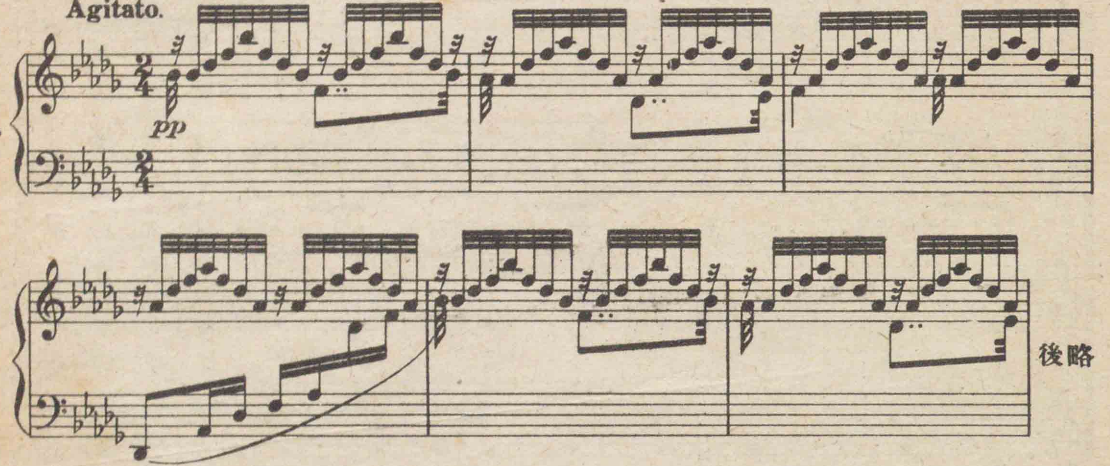
やよ　雲雀
たのしげに
朝の空を歌へ
汝が翼　汝が調
明けゆく日を稱へ
高らかに
歌へよ
春の朝を
高らかに
歌へよ

〔鑑　賞〕

## 春の囁き

Agitato.　　　　Sinding.

1.

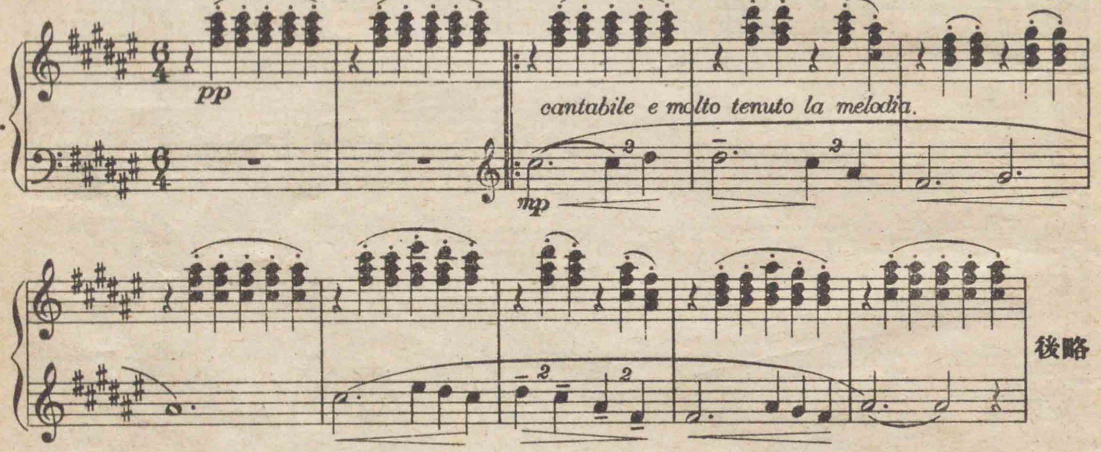



〔鑑　賞〕

## 春に寄す

Allegro appassionato.　　　　E. Grieg.

2.

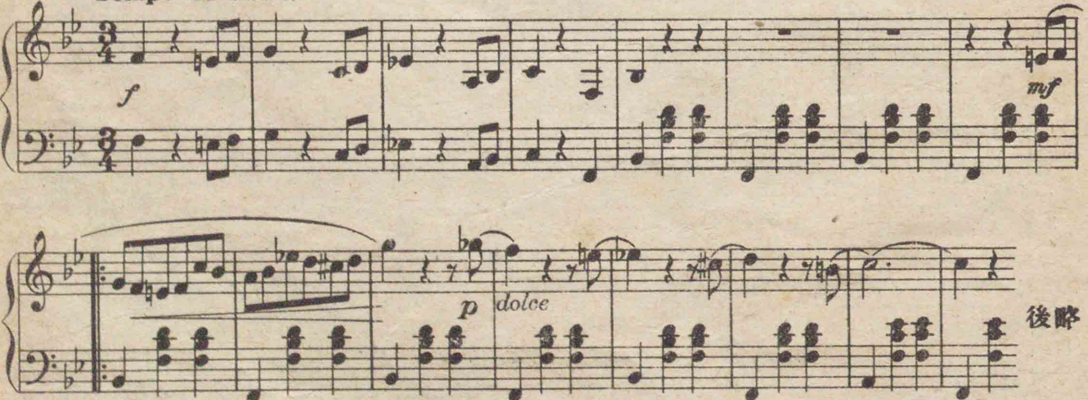



〔鑑　賞〕

## 春の夢

Tempo di Valse.　　　　J. Strauss.

3.



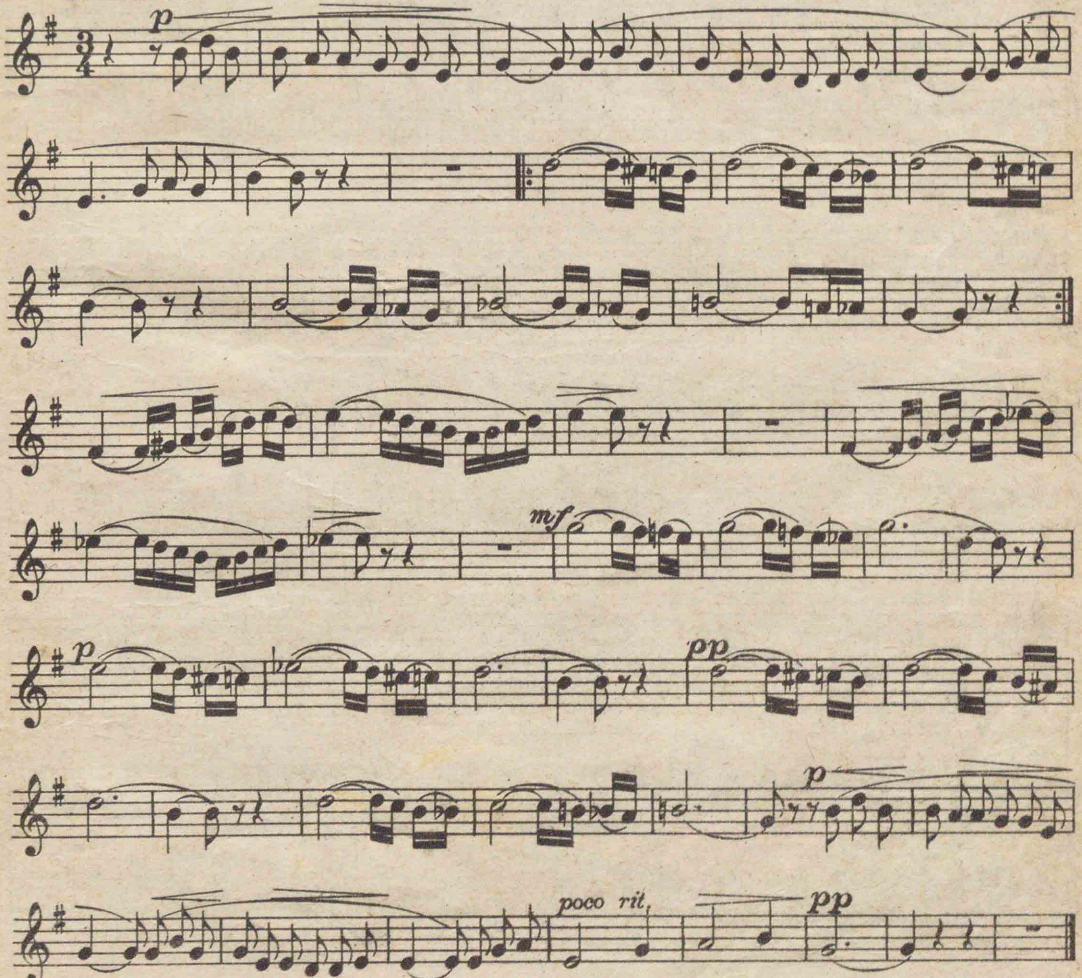
**リムスキー・コルサコフ**（Rimsky-Korsakow 1844 — 1908）はロシヤ音樂の五人組（バラレキフ，ボロディン，ムウソルグスキー，リムスキー．コルサコフ，キュイ）の中樞として活動した作曲家で，海軍の軍籍にあり，航海中に於いてよく作曲を試みバラキレフ等の指導を受けた。後ペトログラード音樂學校の教授に迎へられ，海への造詣を傾倒して交響詩曲「サドコ」を作つた。**「ロシヤ音樂五人組」**の運動は西歐音樂を排し，ルービンシュタイン，チャイコフスキーの功績をも跳越して，眞にロシヤ風音樂の樹立を目指したもので，旋律，和聲，リズムのあらゆる點に於いて其の特色を示してゐる。**ムウソルグスキー**の歌劇「ボリス．ゴドノフ」「蚤の歌」「禿山の一夜」，**ボロディン**の「中央アジヤの草原にて」等は「サドコ」と共にこの時代の所產として愛奏せられてゐるものである。

〔鑑　賞〕

## サ　ド　コ（インドの歌）

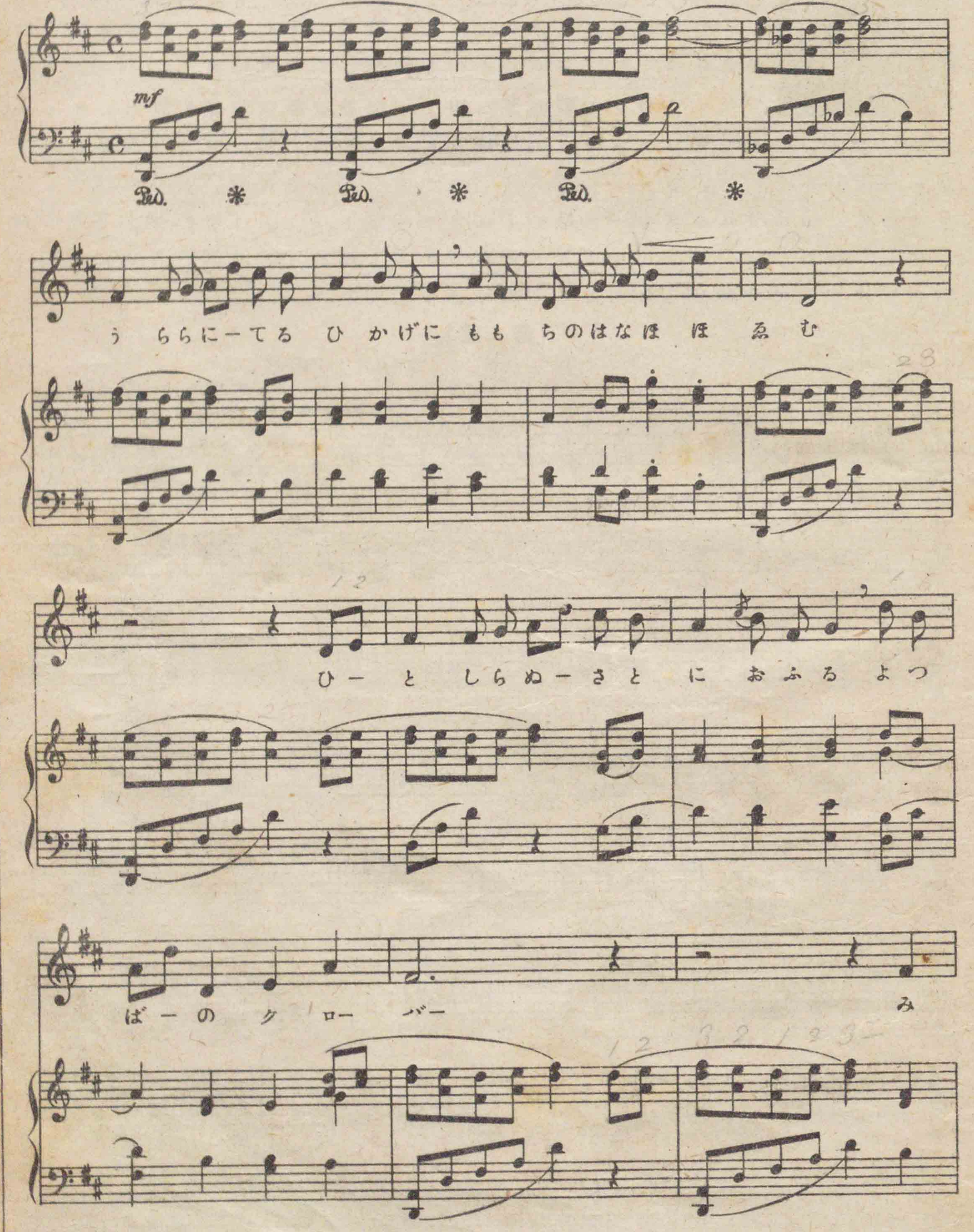
Andantino.　　　　Rimsky-Korsakow.

4.

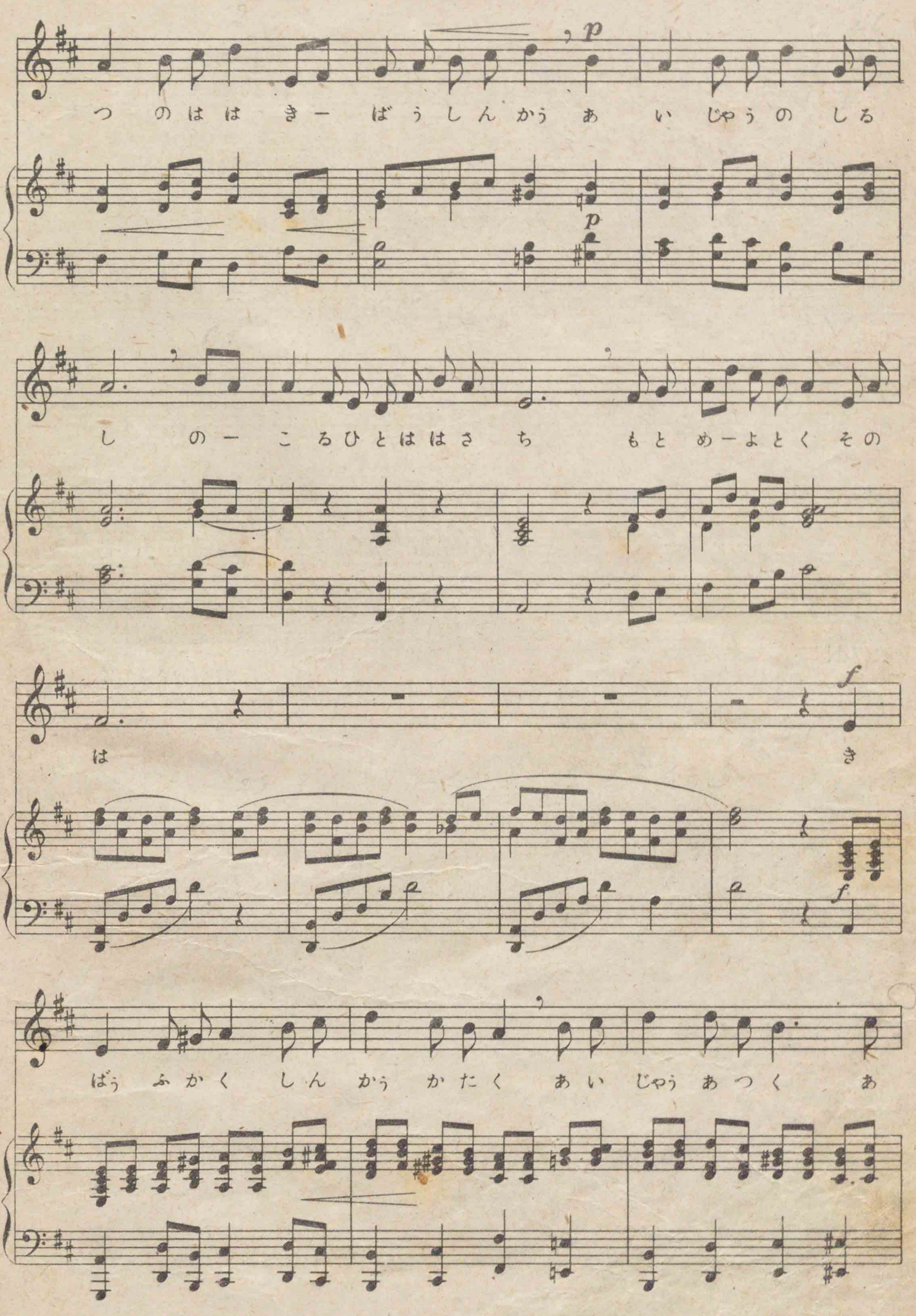


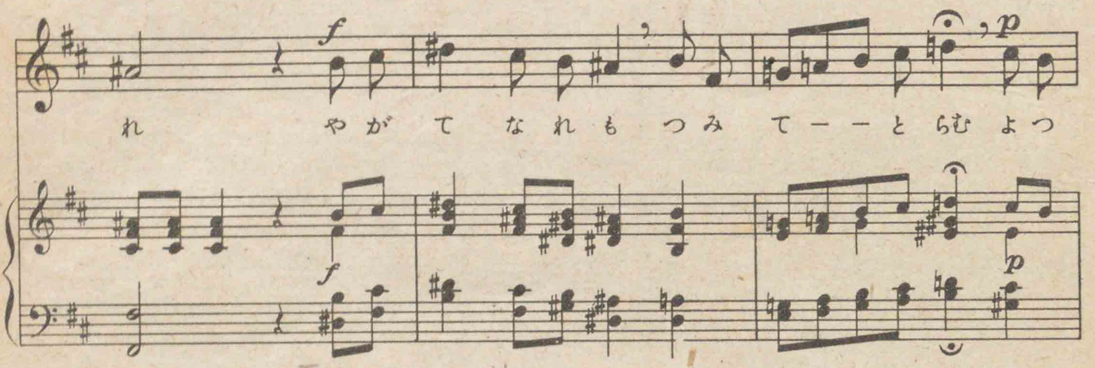
# 四つ葉のクローバー

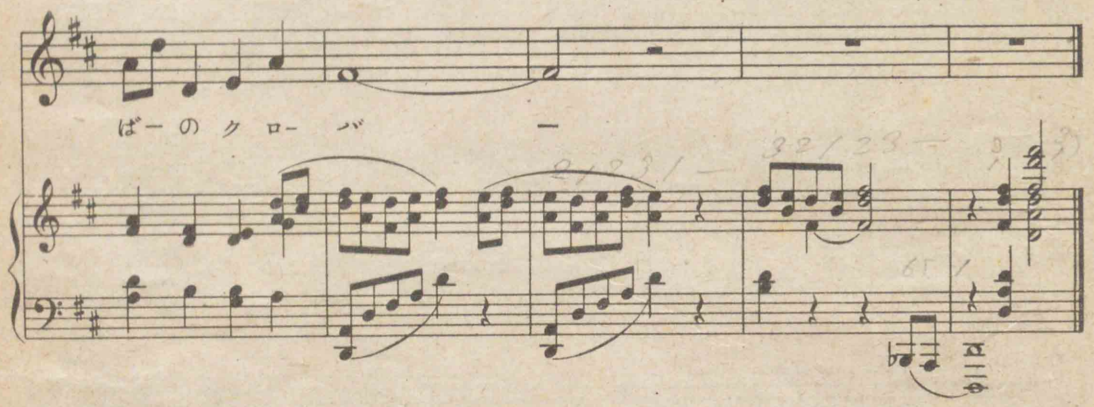
Moderato. (♩=69) R. F. Reutel.








四つ葉のクローバー

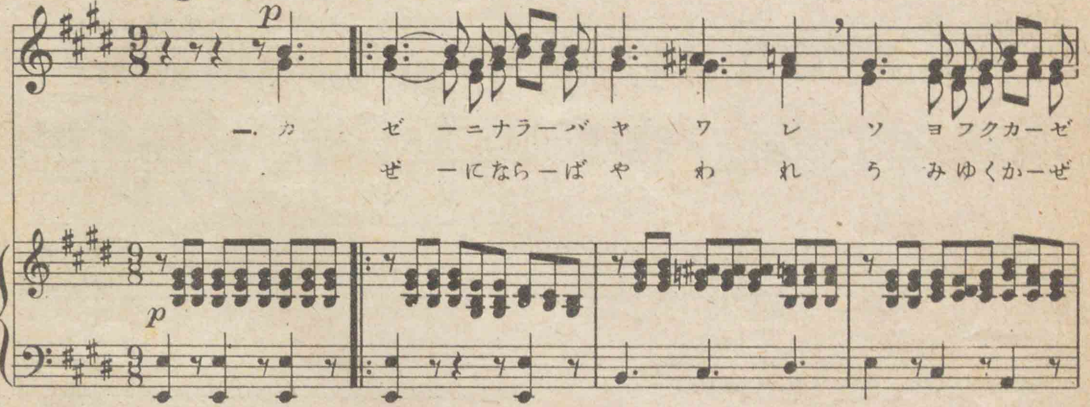
吉丸一昌譯詞

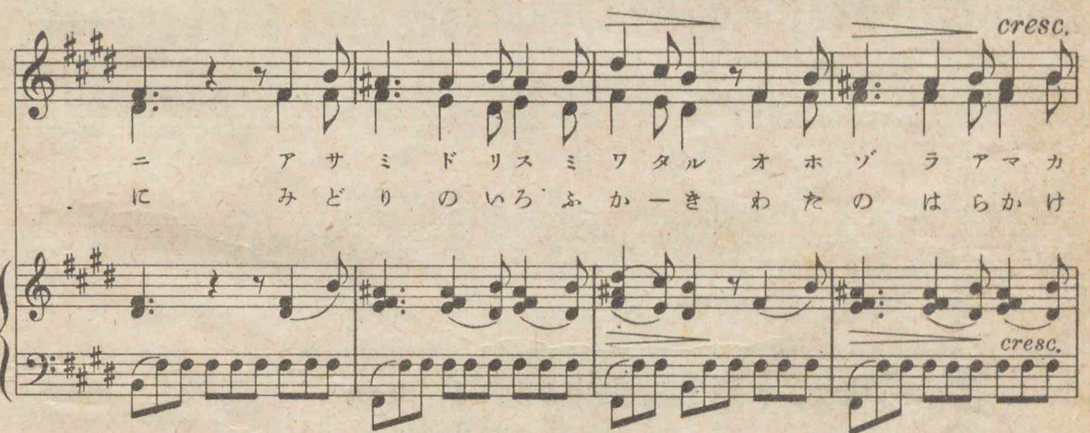
うら、に照る日影に
百千の花ほゝゑむ
人知らぬ里に生ふる
四つ葉のクローバー
三つの葉は希望信仰
愛情のしるし
殘る一葉は幸
求めよ疾くその葉
希望深く信仰かたく
愛情厚くあれ
やがて汝も
摘みて取らむ
四つ葉のクローバー

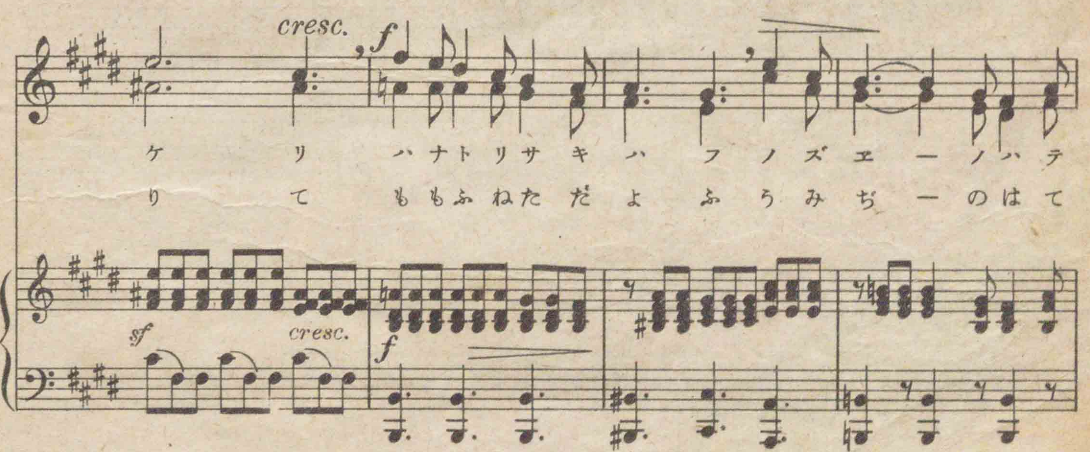


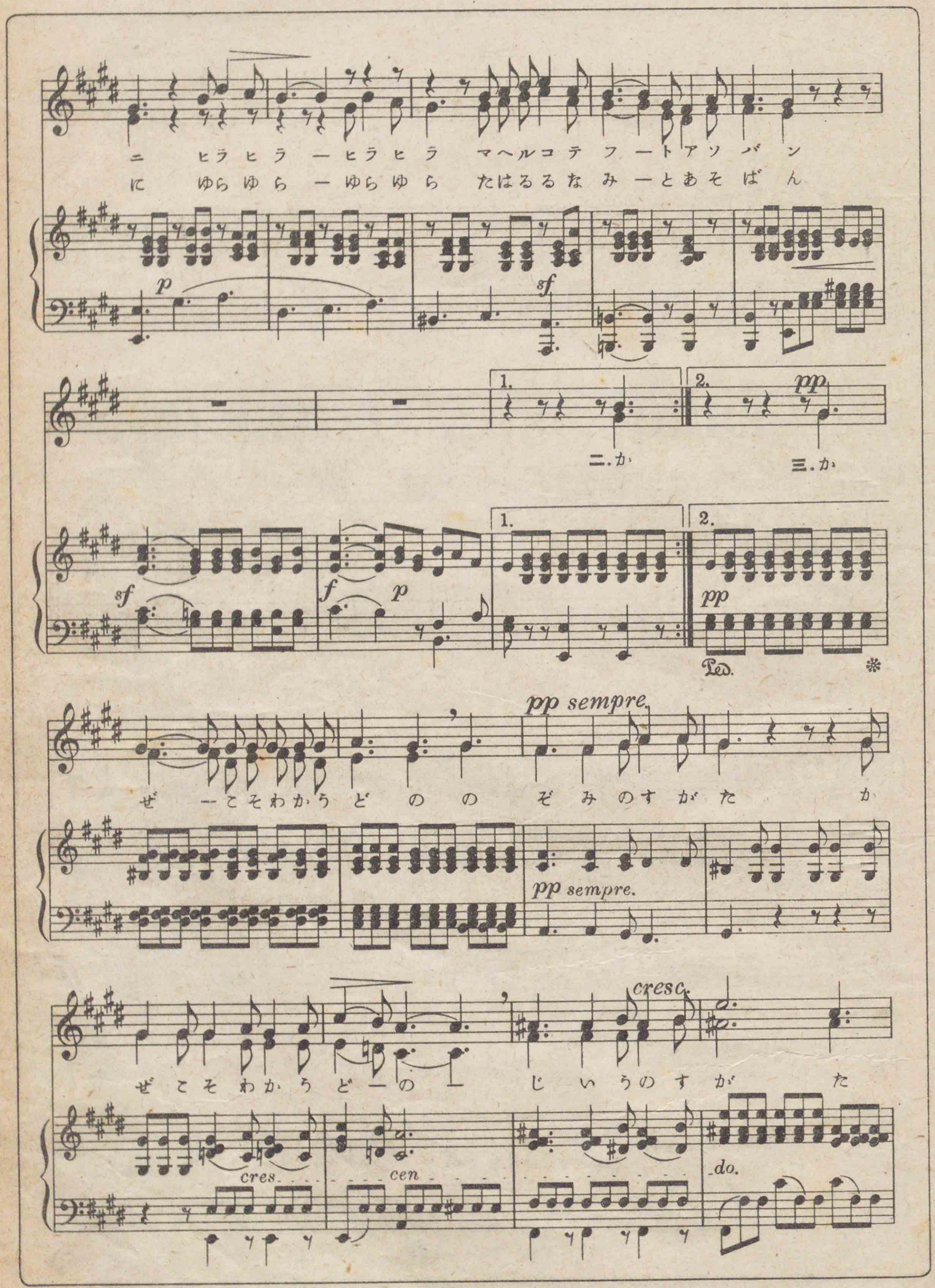
# 風にならばや

**Allegretto con moto.** (♩. = 66) **Mendelssohn.**

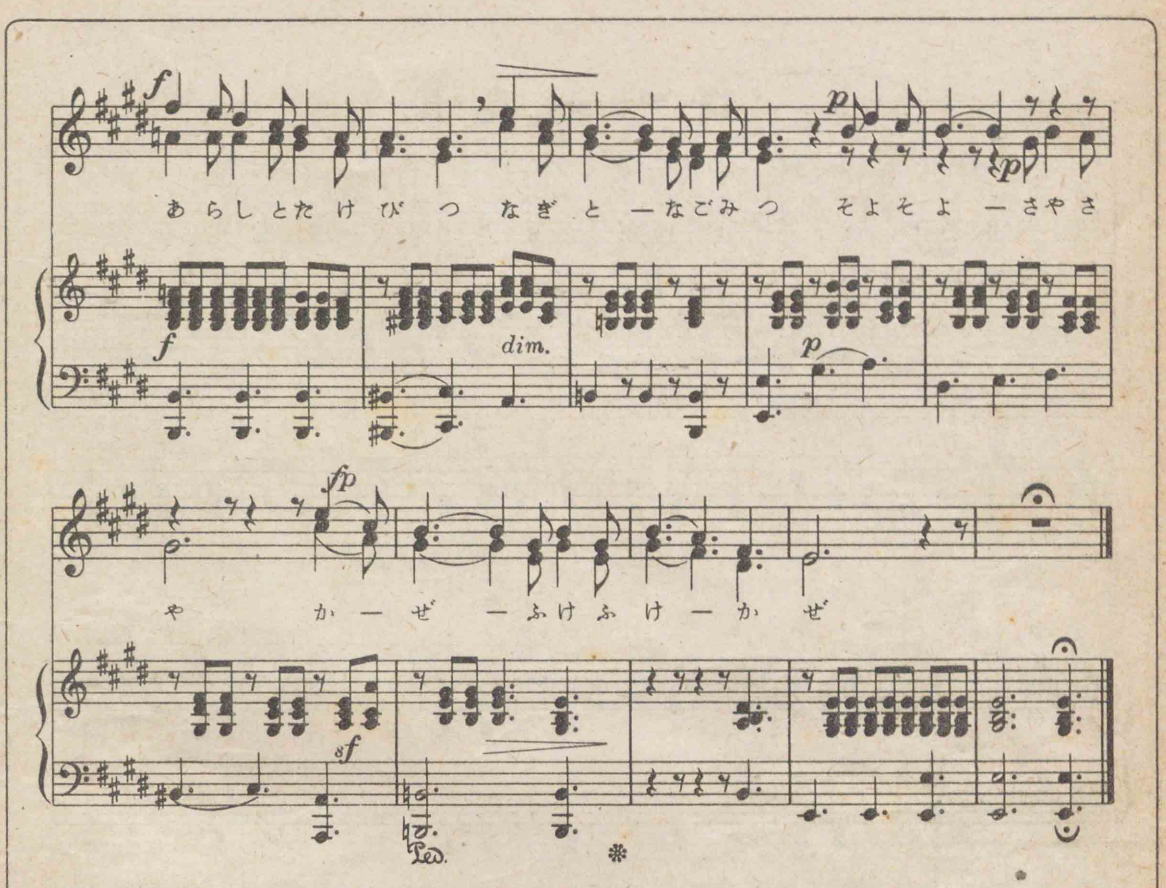







# 風にならばや

水田詩仙

一

風にならばや　われ
そよ吹く風に
浅緑すみわたる　大空天驅けり
花鳥さきはふ　野末の涯に
ひら〳〵　ひら〳〵
ひら〳〵舞へる胡蝶と遊ばん

二

風にならばや　われ
海ゆく風に
緑の色深き　わたの原かけりて
百舟漂ふ　海路の涯に
ゆら〳〵　ゆら〳〵
ゆら〳〵たはる丶波と遊ばん

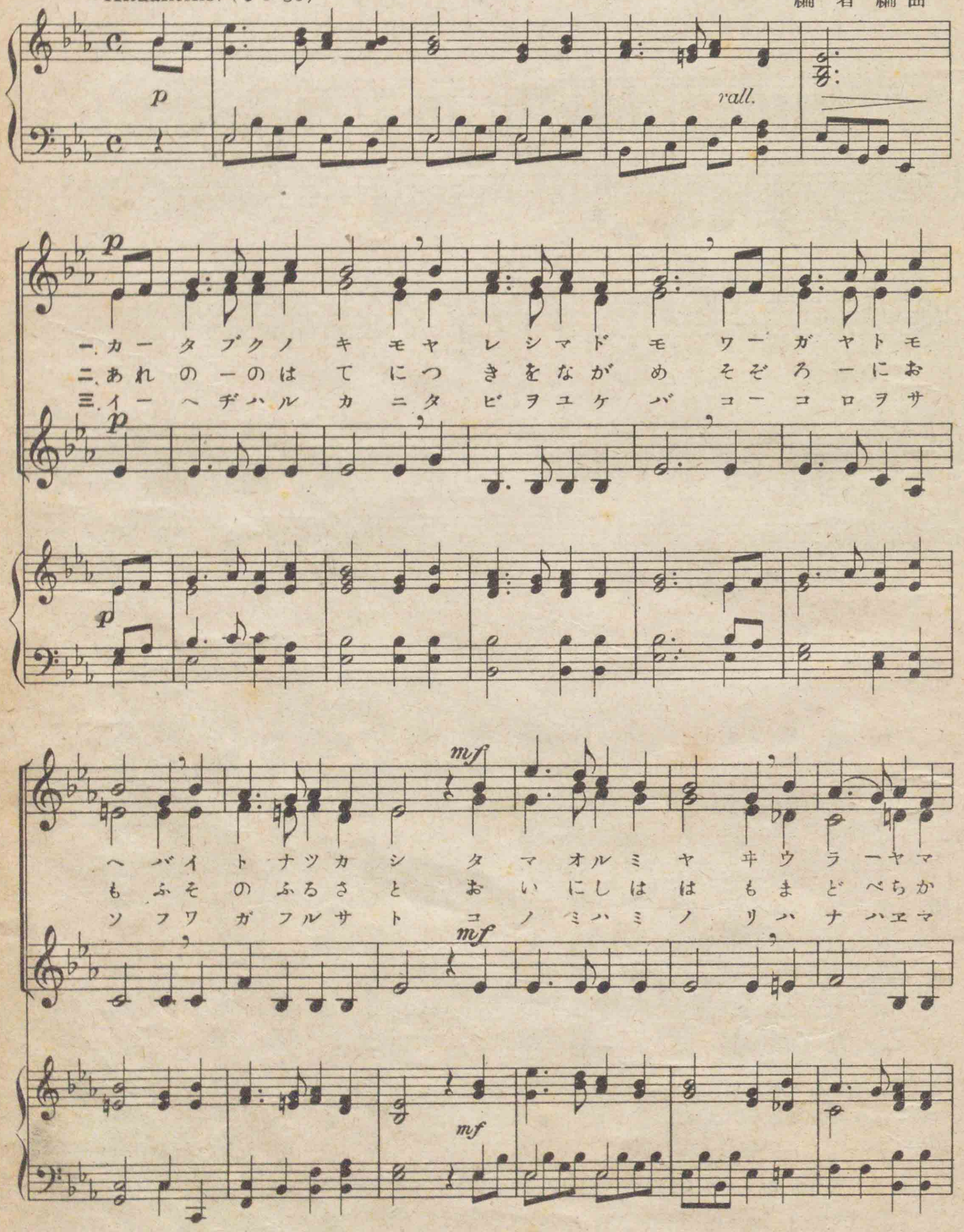
三

風こそ若人の希望（のぞみ）の姿
風こそ若人の自由の姿
嵐とたけびつ　風となごみつ
そよ〳〵　さや〳〵
風　吹け〳〵　風

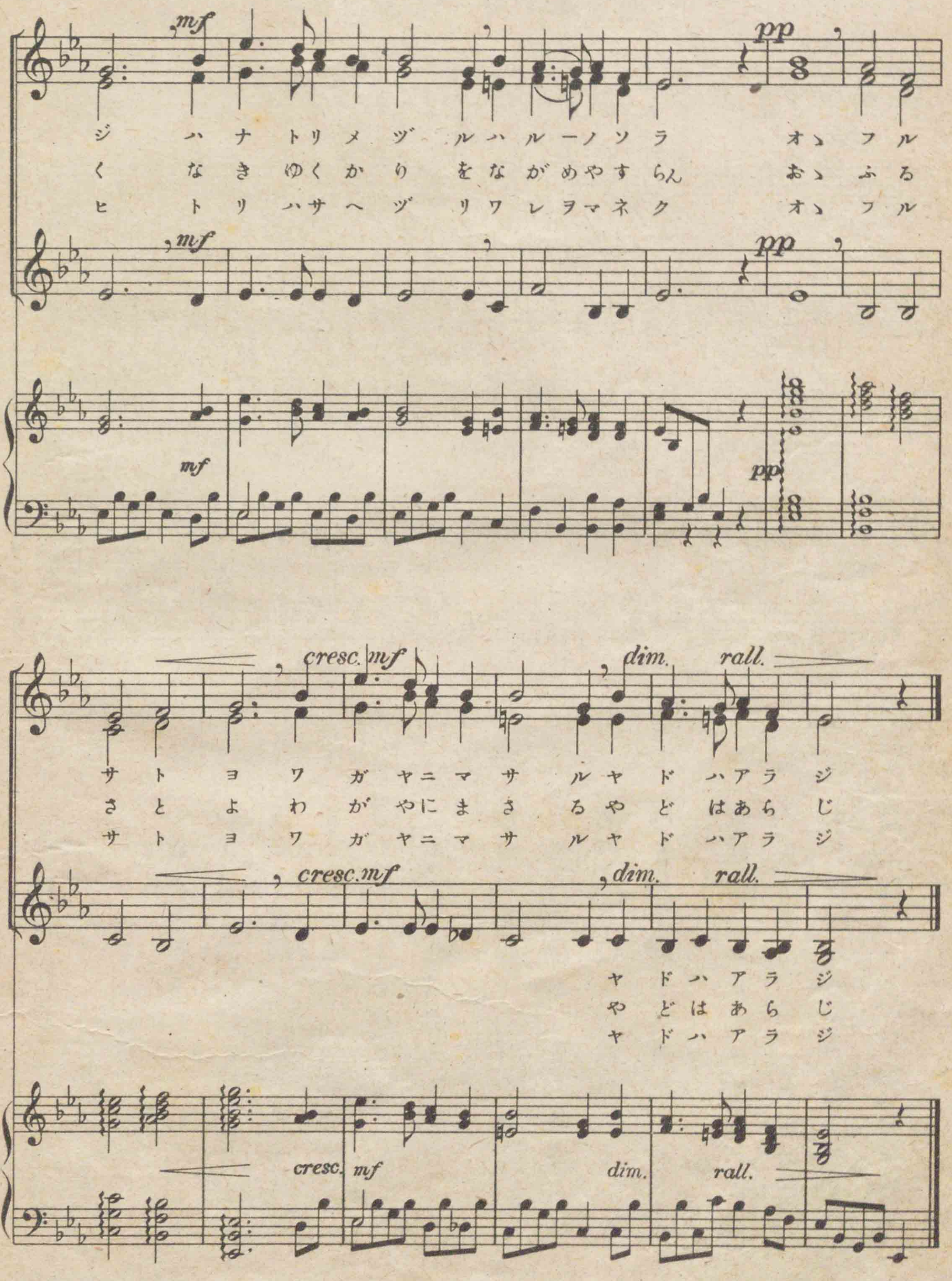
# 懐しの我家

S. H. Bishop.
編者編曲

Andantino.（♩= 80）





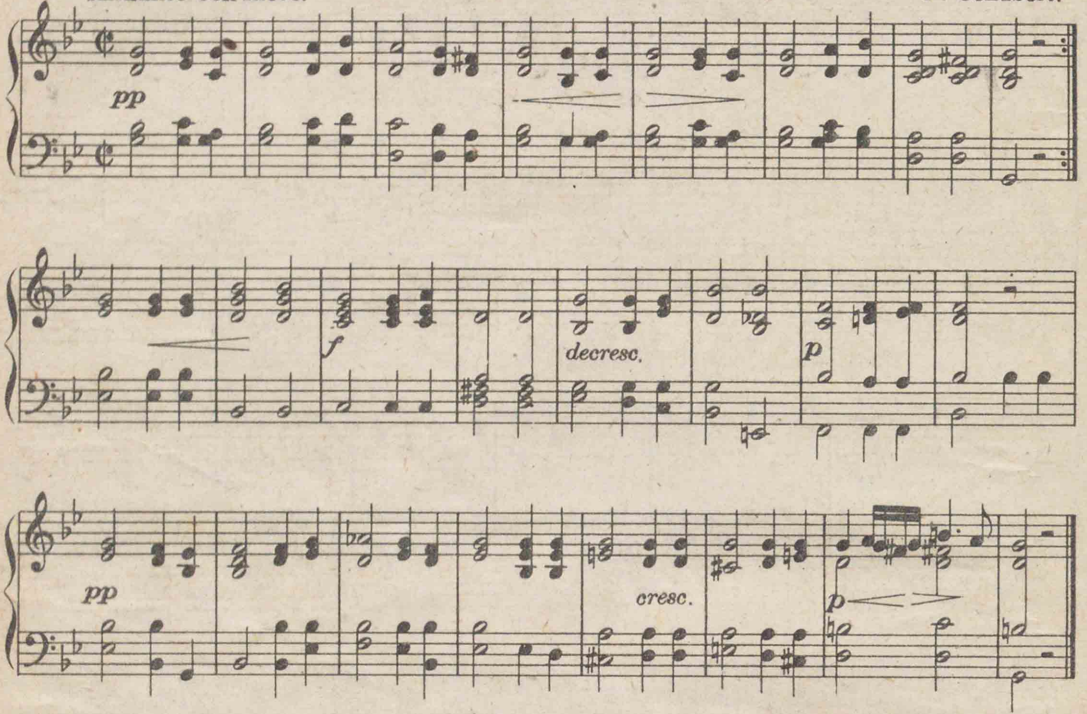



〔鑑　賞〕

## 四重奏曲「死と少女」より

Andante con moto.　　　　F. Schubert.

5.




### 懐しの我家

水田詩仙

一

かたぶく軒も　破れし窓も
わが家と思へば　いとなつかし
玉織る宮居　うらやまじ
花鳥めづる　春の空
（折返）おゝ　ふるさとよ
わが家にまさる　宿はあらじ

二

荒野の涯に　月を眺め
そゞろに懐ふ　その故郷
老いにし母も　窓邊近く
啼きゆく雁を・眺めやすらん

三

家路はるかに　旅を行けば
心をさそふ　わが故郷
木の實はみのり　花は笑まひ
鳥は囀づり　我をまねく

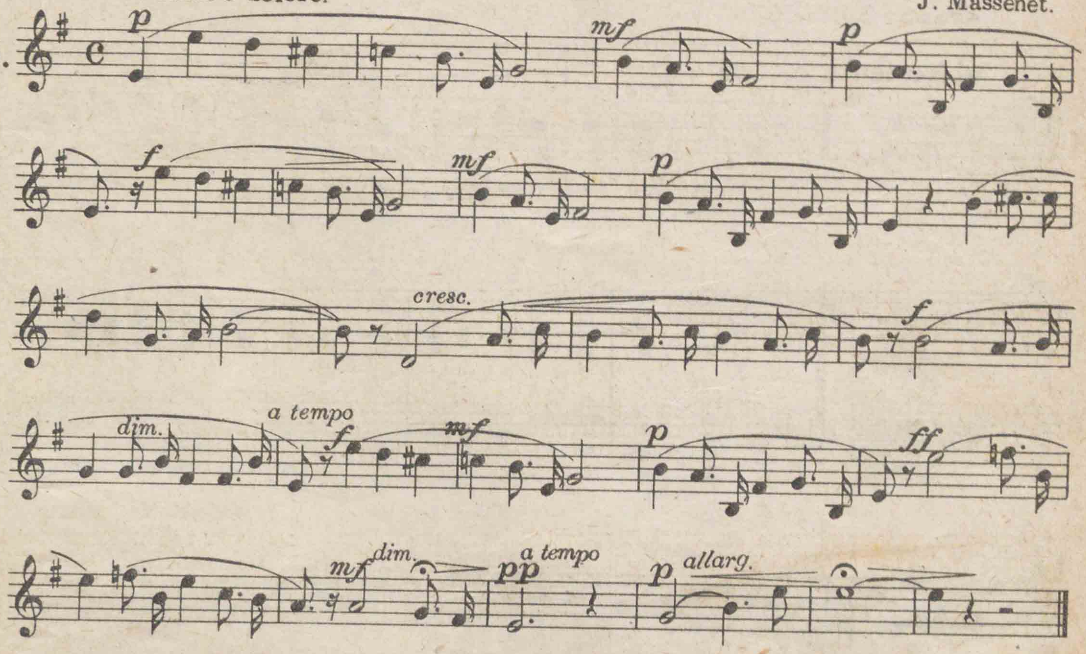


〔鑑　賞〕

## 悲　歌

Molto lento e dolore.　　　　J. Massenet.

6.

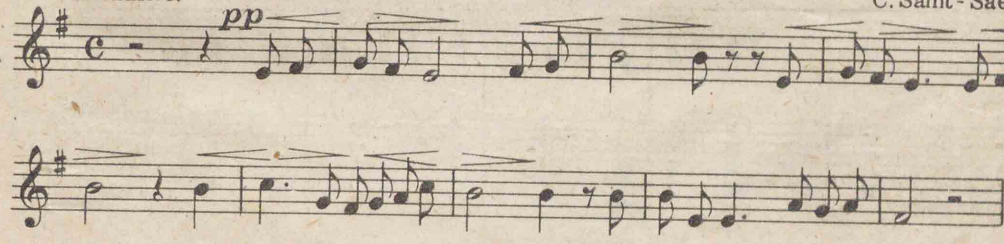



〔鑑　賞〕

## 悲　哀

Andante.　　　　C. Saint-Saëns.

7.



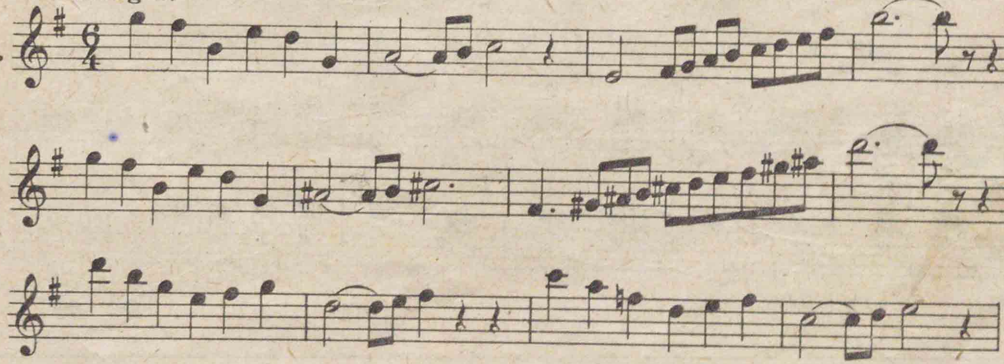

後略

〔鑑　賞〕

## 白　鳥

Adagio.　　　　C. Saint-Saëns.

8.

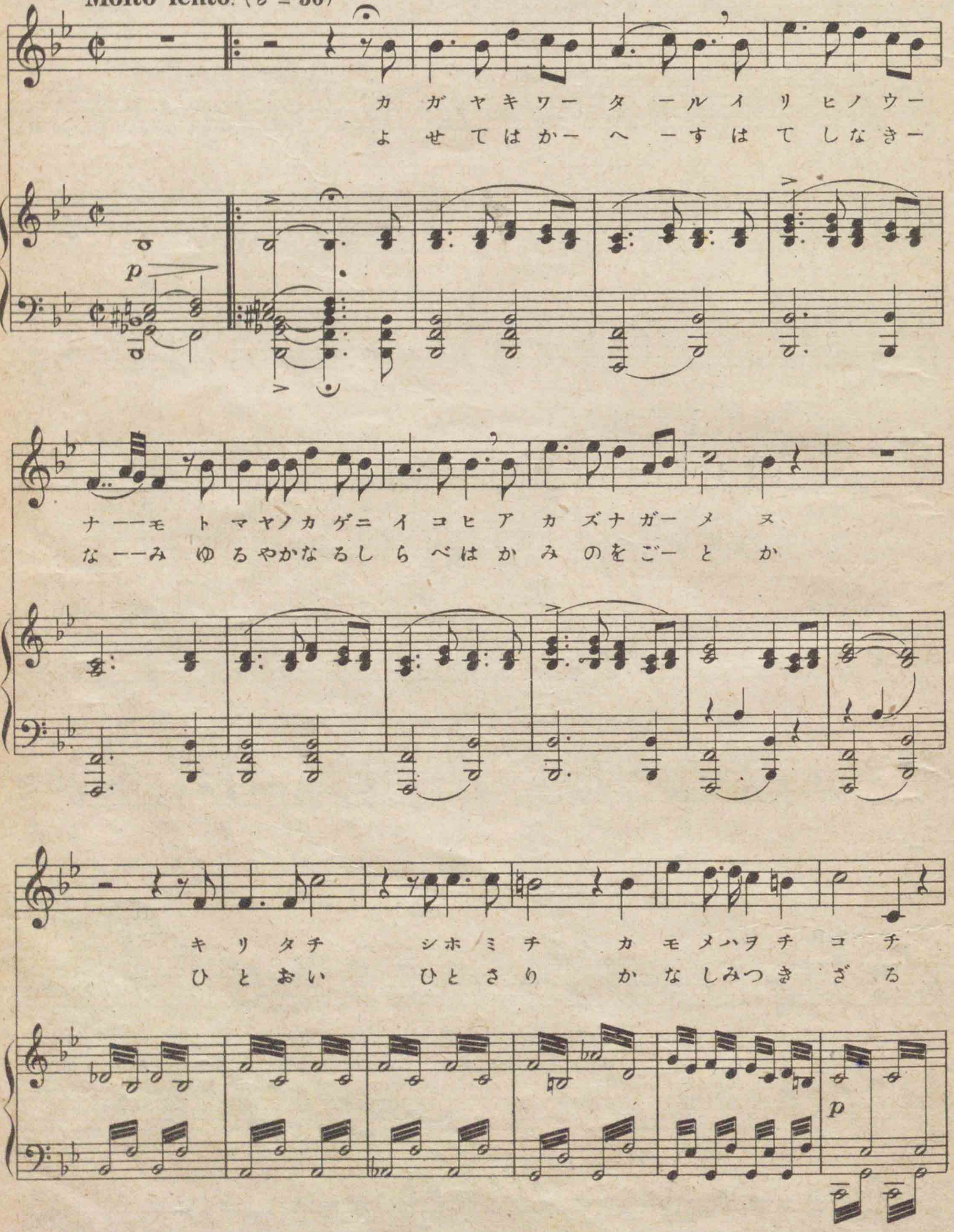


後略

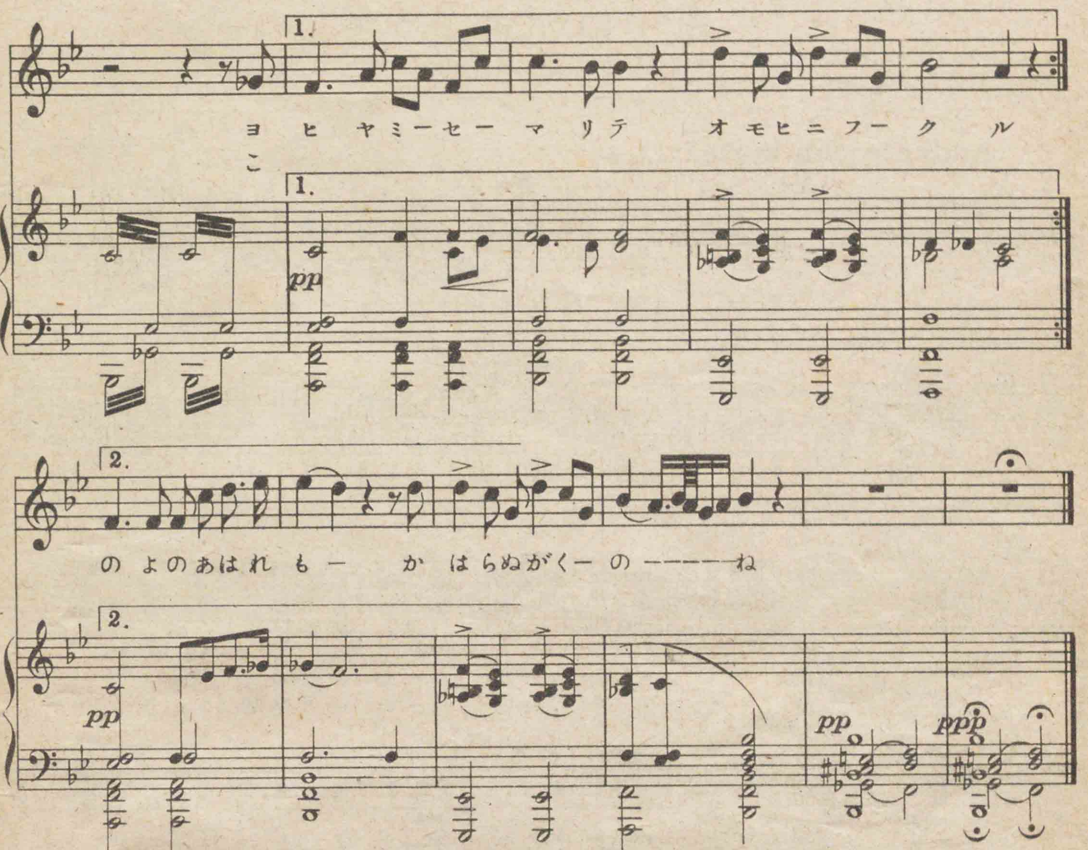
# 海邊にて

**Molto lento.** (♩ = 36)

F. Schubert.






## 海邊にて

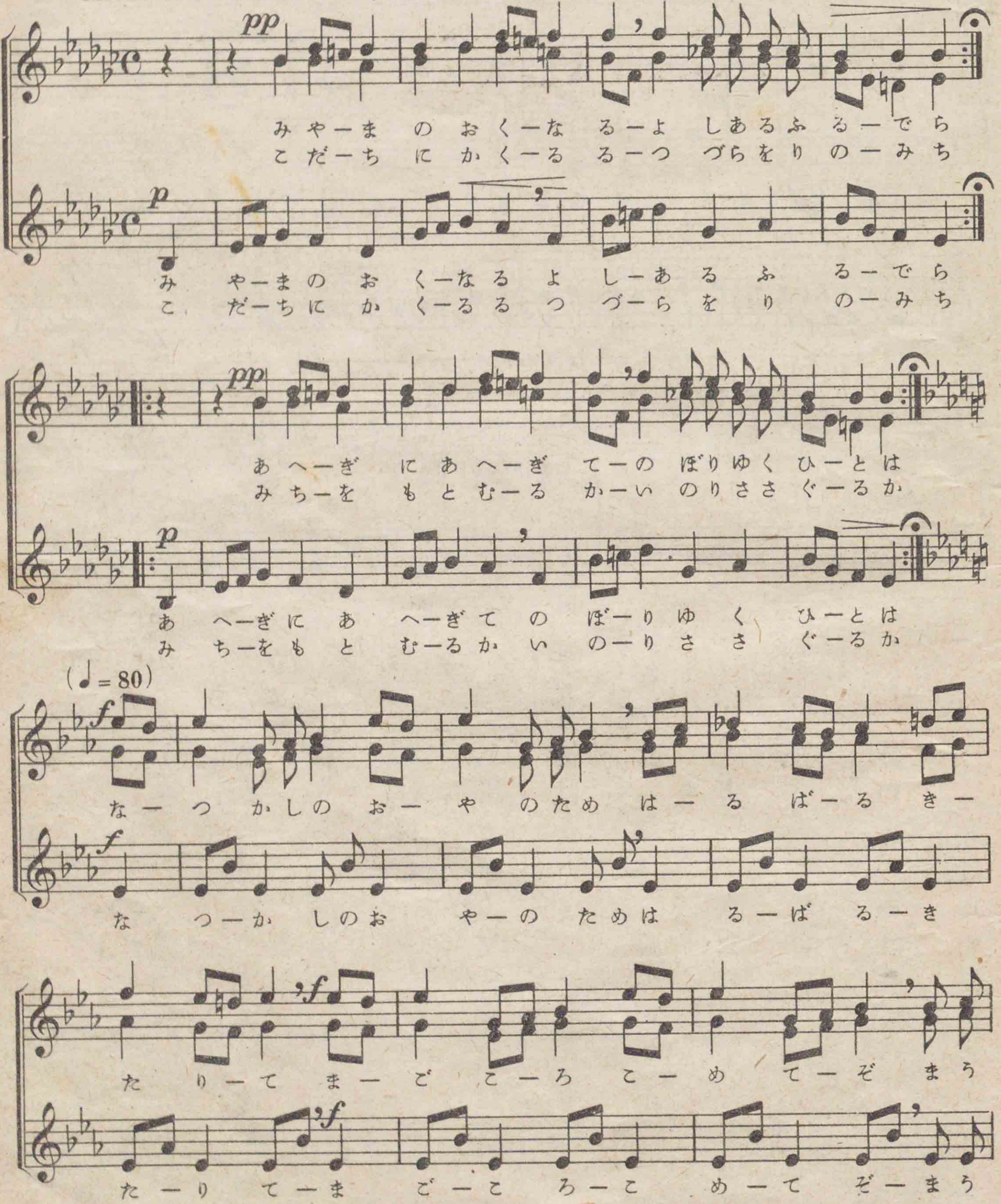
藤村 俊

輝きわたる　入陽の海面
苫屋の蔭に　憩ひ　あかず眺めぬ
霧立ち　潮滿ち
鷗は遠近
宵闇せまりて　想ひに耽くる
寄せてはかへす　涯しなき波
緩かなる調は　神の小琴か
人老い　人去り
悲しみつきざる
此の世のあはれも
かはらぬ樂の音

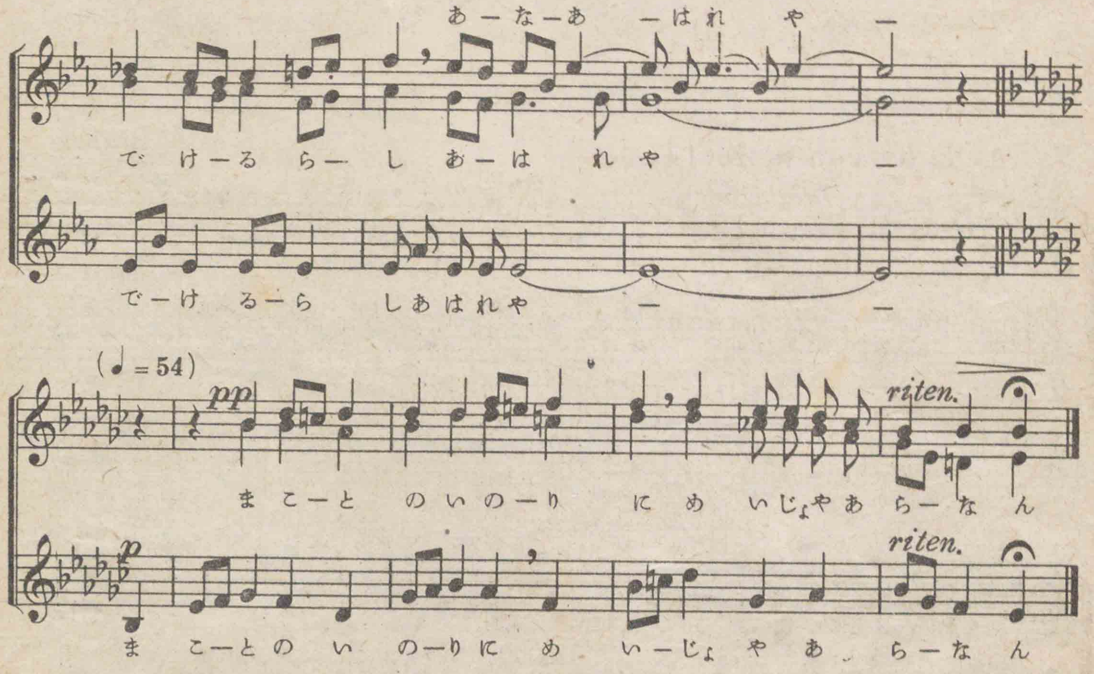
# 山の古寺

**Andante con moto.** (♩＝54)

Brahms.






山の古寺

近藤謙次郎

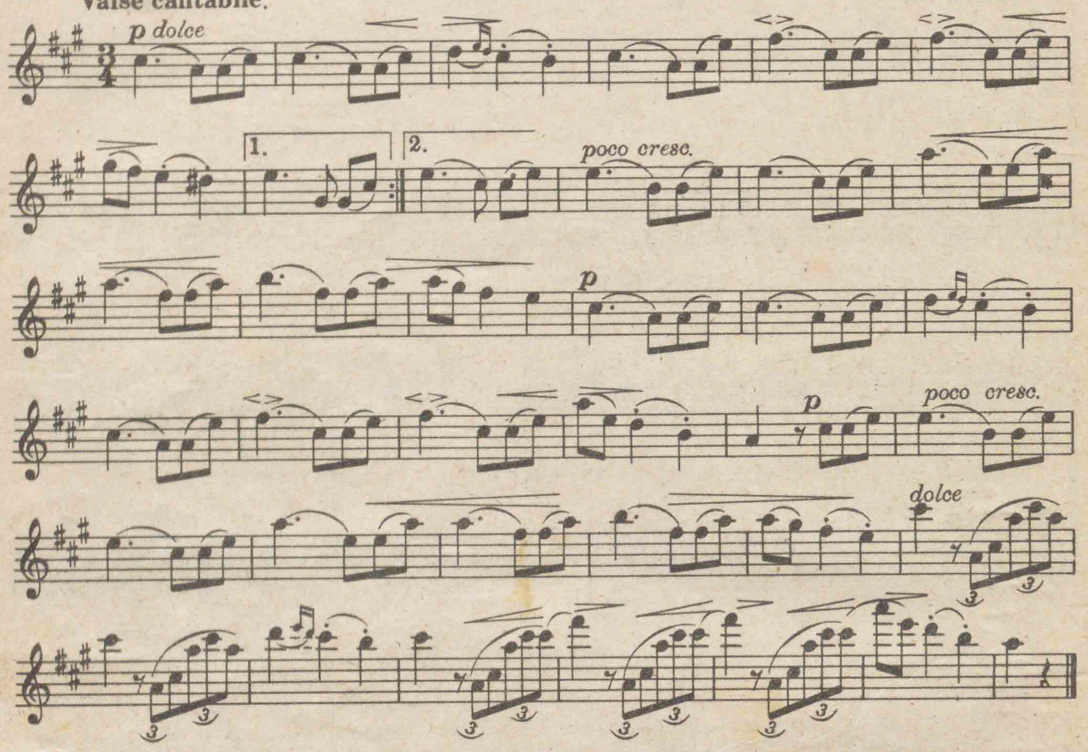
深山(みやま)の奥なる
　由ある古寺
木立に隱るゝ
　九十九折(つゞらをり)の道
あへぎにあへぎて
登り行く人は
道を求むるか
祈棒ぐるか
懷しの親の爲
　はるばる來りて
誠心(まごころ)こめてぞ
　詣でけるらし
あなあはれや
誠の祈に
冥助やあらなん

〔鑑賞〕

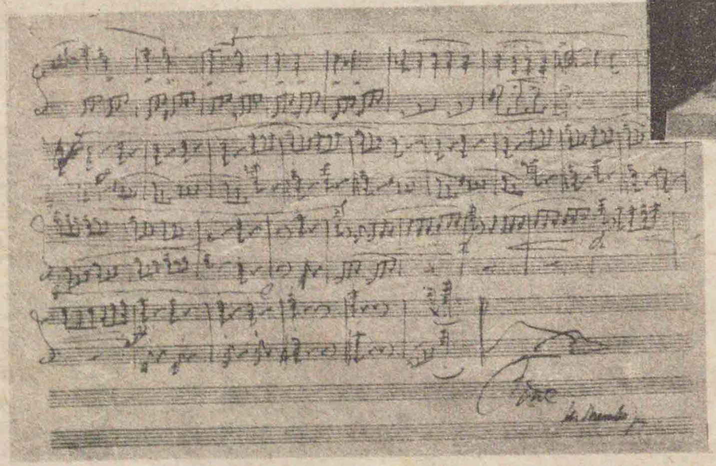
## イ長調のワルツ

Valse cantabile. J. Brahms.

9.




下圖はブラームスのピアノ作品第一（1852―53）のハ長調ソナタの最終部の原稿である。右圖は誕生七十年を記念して1903年五月ウィーンの郊外中央墓地に建てられた墓標である。此所にはベートーヴェン，モーツァルト，シューベルト，ヨハン・シュトラウス等の墓や記念像があるので有名である。





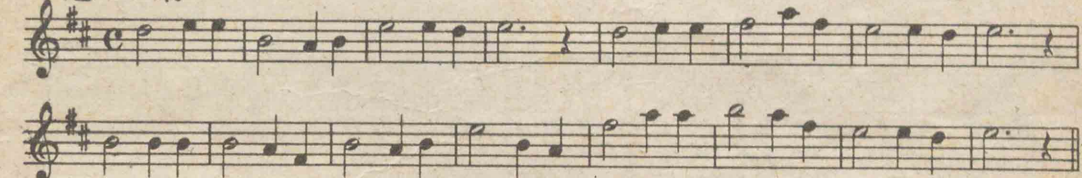
【参考】一

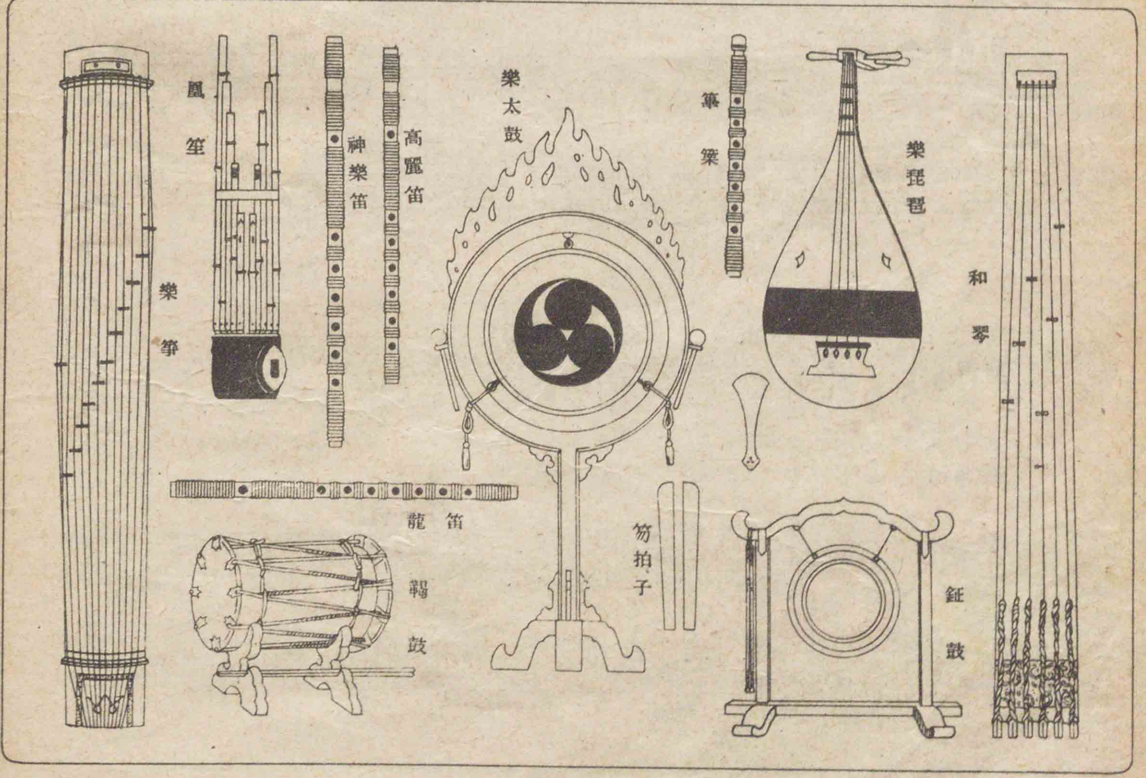
## 雅樂の話

**雅樂**……雅樂の名はもと市井の卑俗なる音樂に對して，雅正なる音樂を意味するために用ひられた語である。今日雅樂とよぶものは宮内省雅樂部に於て演奏せられる，古來宮中に傳はつた音樂をいふのである。

之には神樂，久米歌の如き聲樂あり，蘭陵王（らんりょうわう），太平樂（たいへいらく）の如き舞樂あり，又萬歳樂（まんざいらく），越天樂（えてんらく）の如き管絃樂がある，樂器には管に龍笛（りゅうてき），篳篥（ひちりき），鳳笙（ほうしゃう）の三管，それに神樂笛（かぐらぶえ），高麗笛（こまぶえ）等あり，絃に琵琶，樂箏（がくさう），和琴（わごん）等があり，打物に樂太鼓（がくだいこ），鉦鼓（しゃうこ），鞨鼓（かつこ）の三鼓等がある。之等は音樂の種類によつてその編成にも差異あるものである。

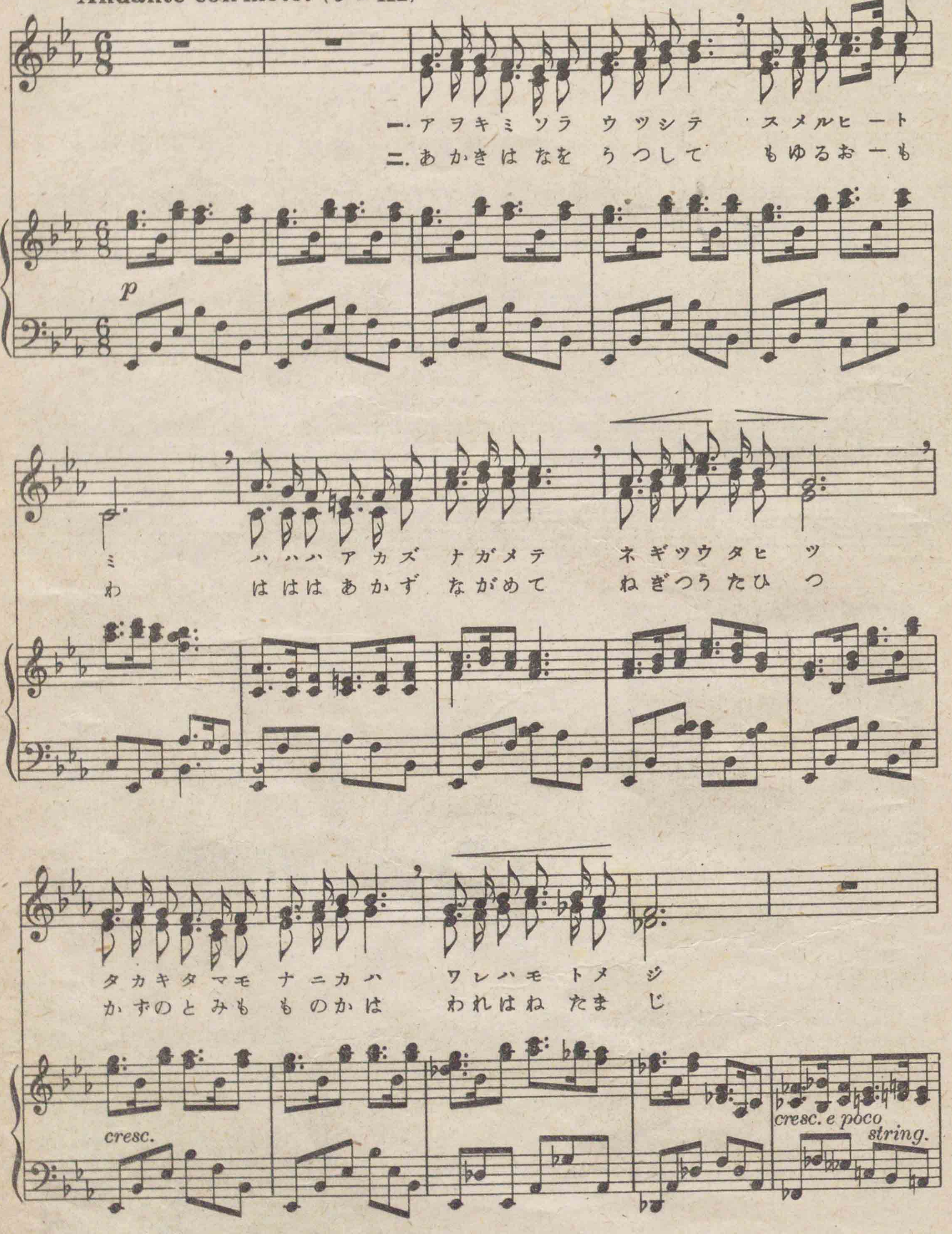
越天樂



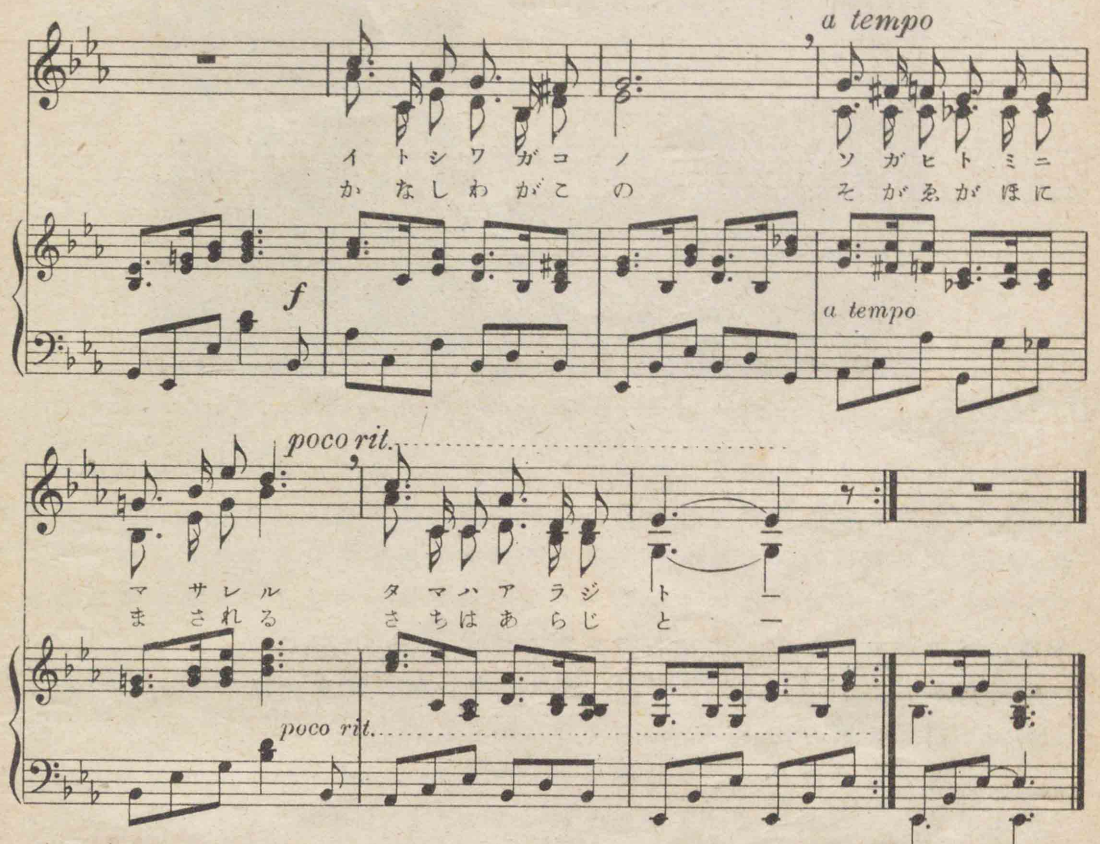


# 母と子

ウィーン調
編者編曲






## 母と子

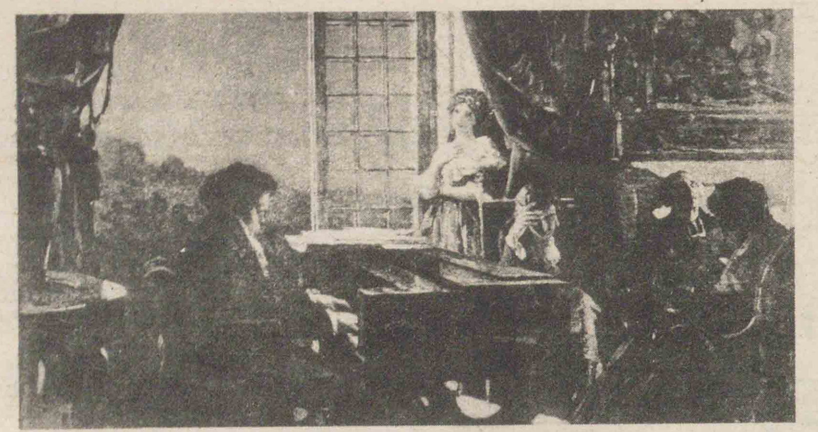
水田詩仙

一

碧きみ空　映して　澄める瞳(ひとみ)
母は倦かず眺めて　願(ね)ぎつ謠ひつ
「尊(たか)き玉も何かは　我は求めじ
愛し吾が子の
そが瞳にまされる
玉はあらじ」と

二

紅き花を　映して　燃ゆる面輪
母は倦かず眺めて　願ぎつ謠ひつ
「數の富も物かは　我はねたまじ
かなし吾が子の
そが笑顔にまされる
幸はあらじ」と



【参考】二　ベートーヴェンの月光の曲

**ベートーヴェン**には三十二曲のピアノソナタがある。就中知られてゐるのは作品二十七番として發表された**嬰ハ**短調の「月光の曲」（Moonlight Sonata）である。月光の名稱の由來についてはある物語が傳へられてゐるが，信ずるに足るものではない。此の曲はベートーヴェンのピアノの弟子である，或る貴族の令嬢に捧げられてゐる。曲は各特色ある三つの樂章からなる。

**第一樂章** Adagio Sostenuto（$\frac{2}{2}$）嬰**ハ**短調　**第二樂章** Allegretto（$\frac{3}{4}$）變**ニ**長調　**第三樂章** Presto Agitato（$\frac{4}{4}$）嬰**ハ**短調。

ソナタとは此の様に三つ又は四つの曲を組合せたもので，第一樂章は概ねソナタ形式といふ作曲形式によつたものであるが，「月光の曲」は第三樂章をソナタ形式によつて作つたものである。レルスタープといふ詩人が，第一樂章の三連音符からメロディの現はれて來る感じを，スイスのルツェルンの湖心に登る月光の如き感があると言つたのが，「月光」の名稱の由來であるとも言はれてゐる。

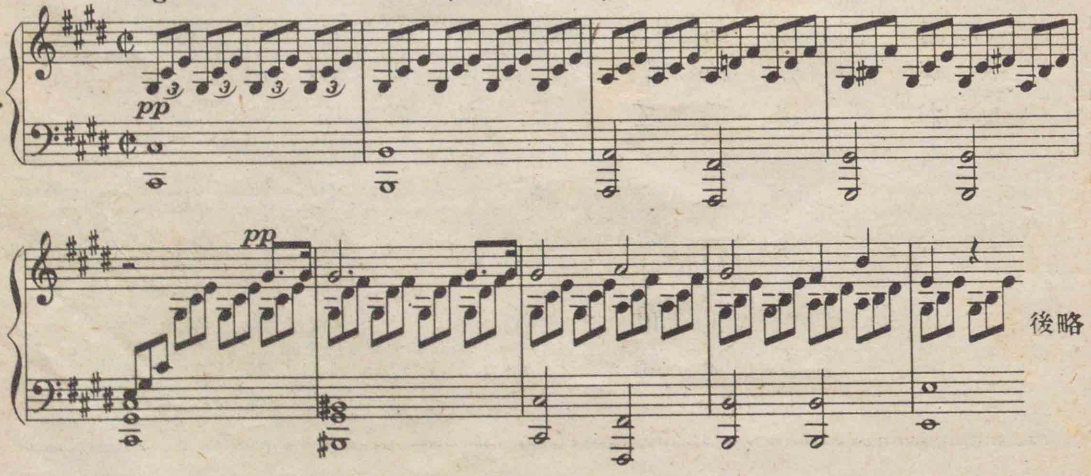
［鑑　賞］

ピアノソナタ（作品二十七の二）

（月光の曲）

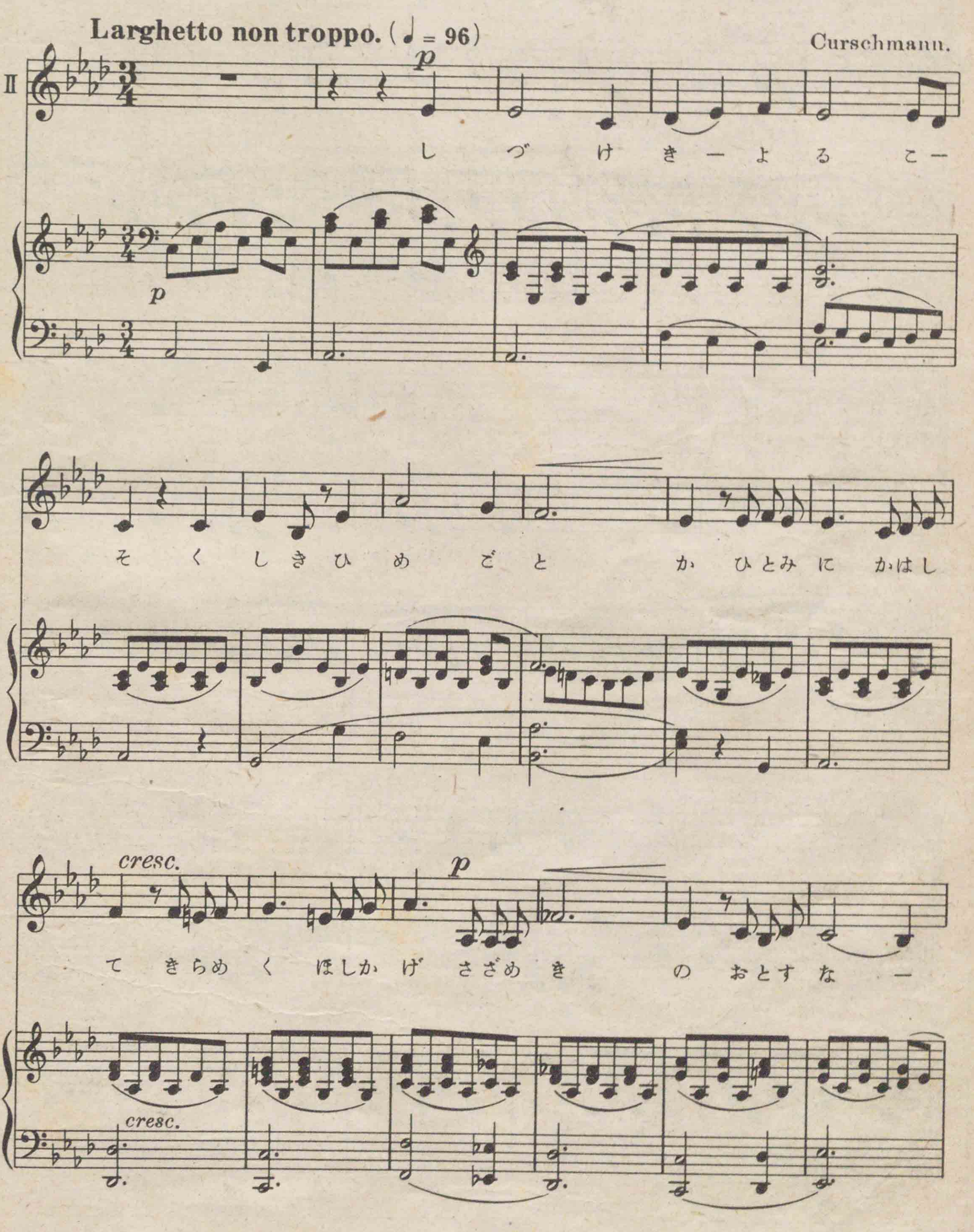
Adagio sostenuto.　　Beethoven.

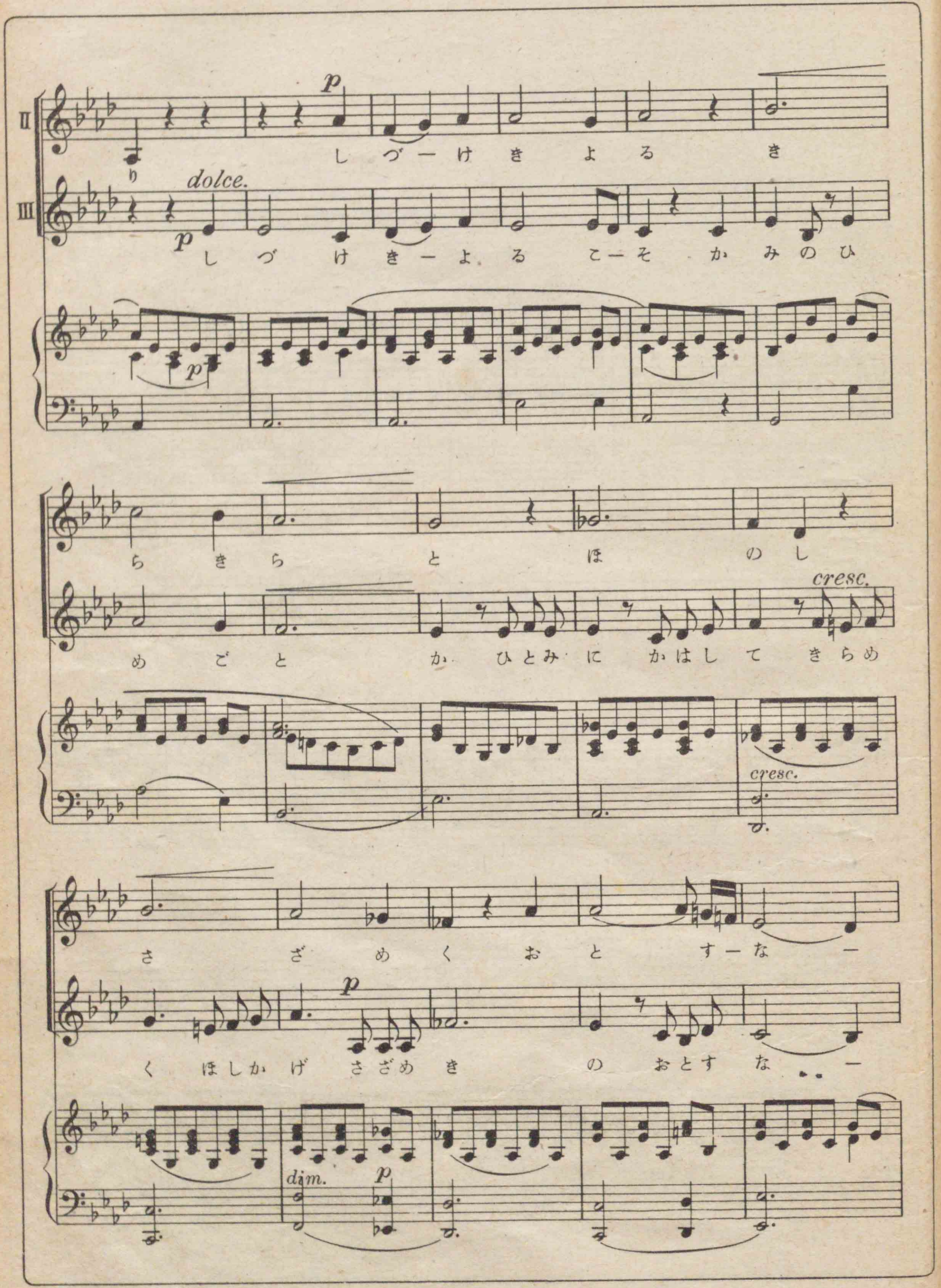
10.



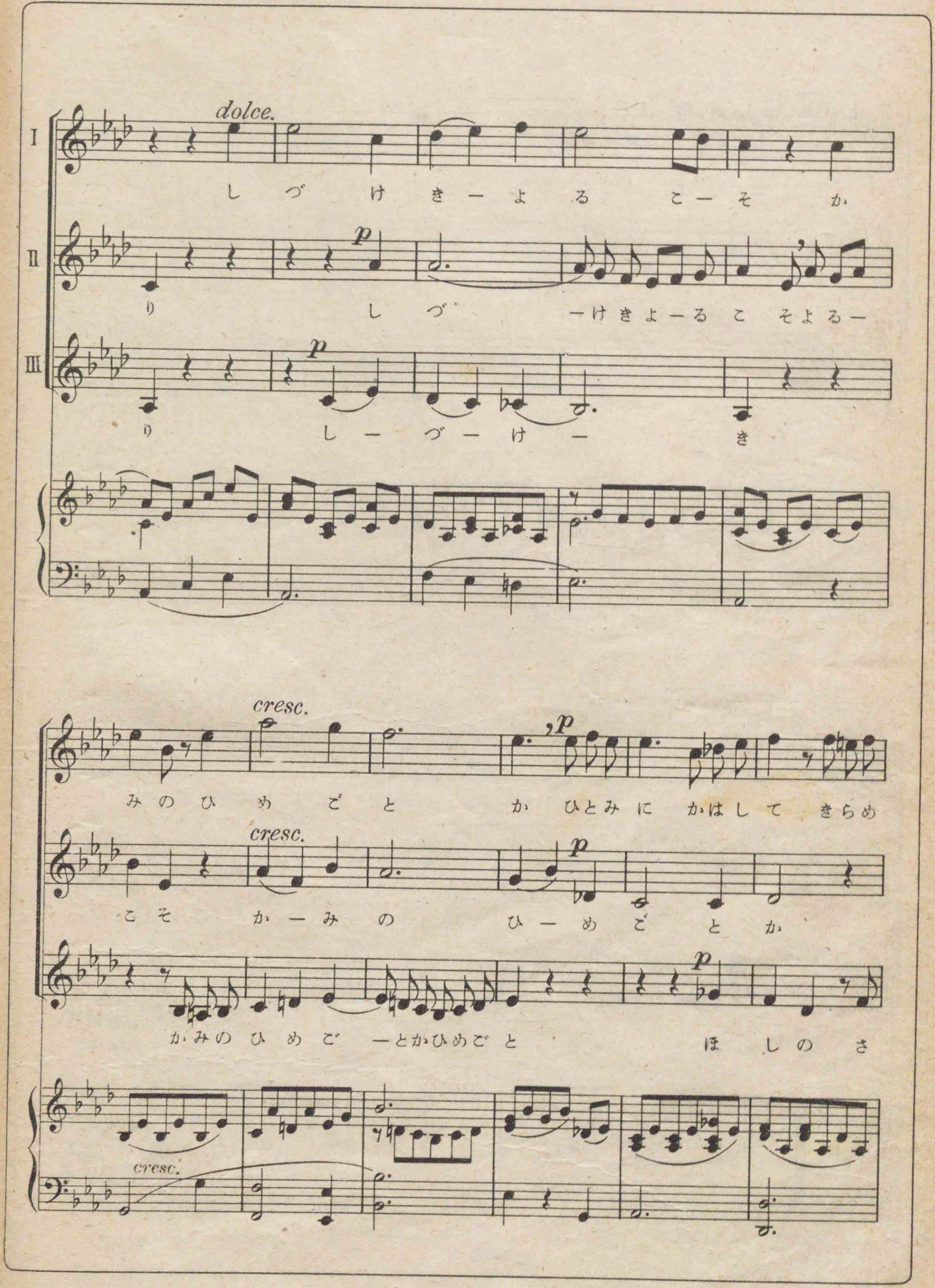


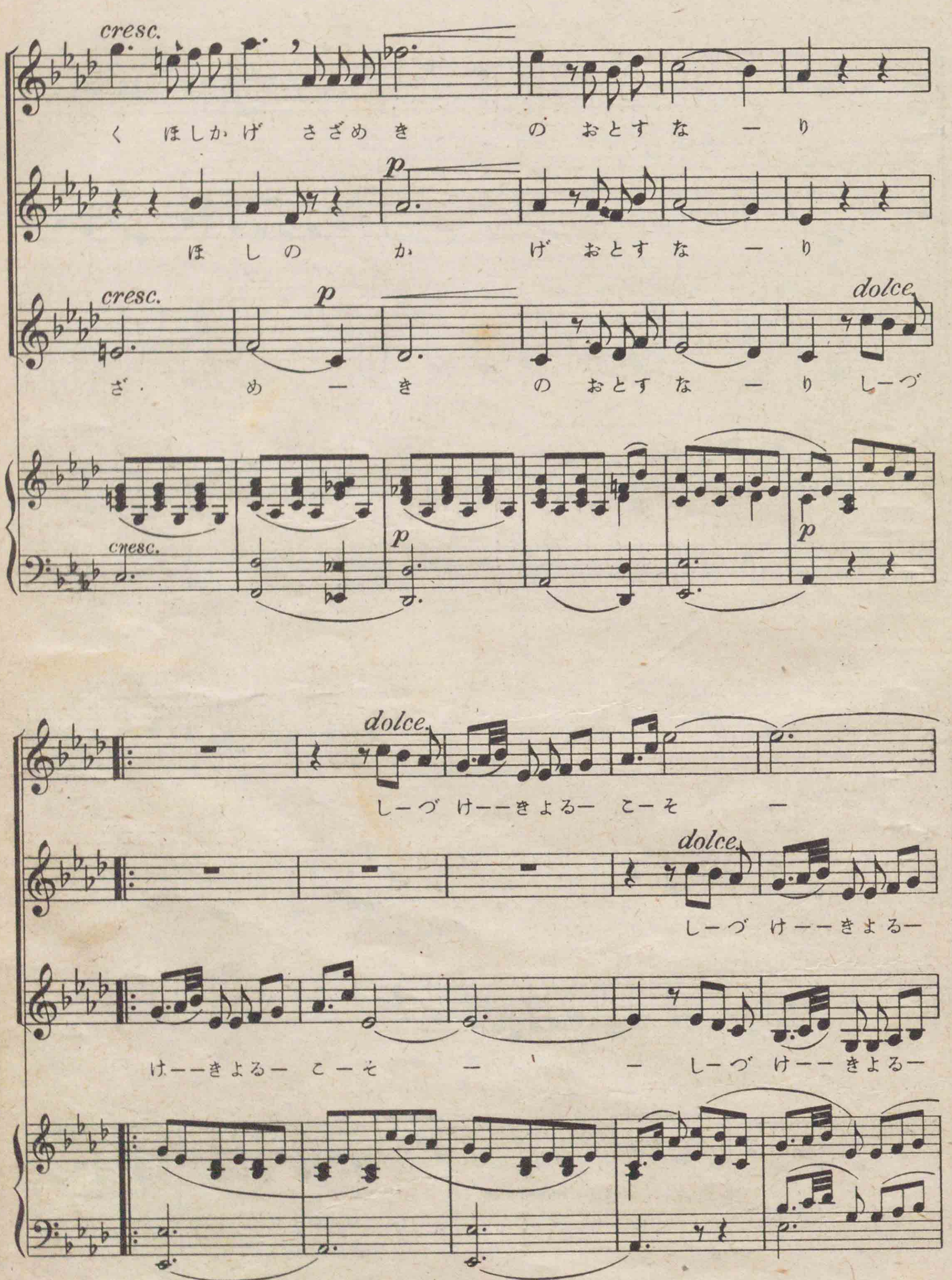

## 靜　夜



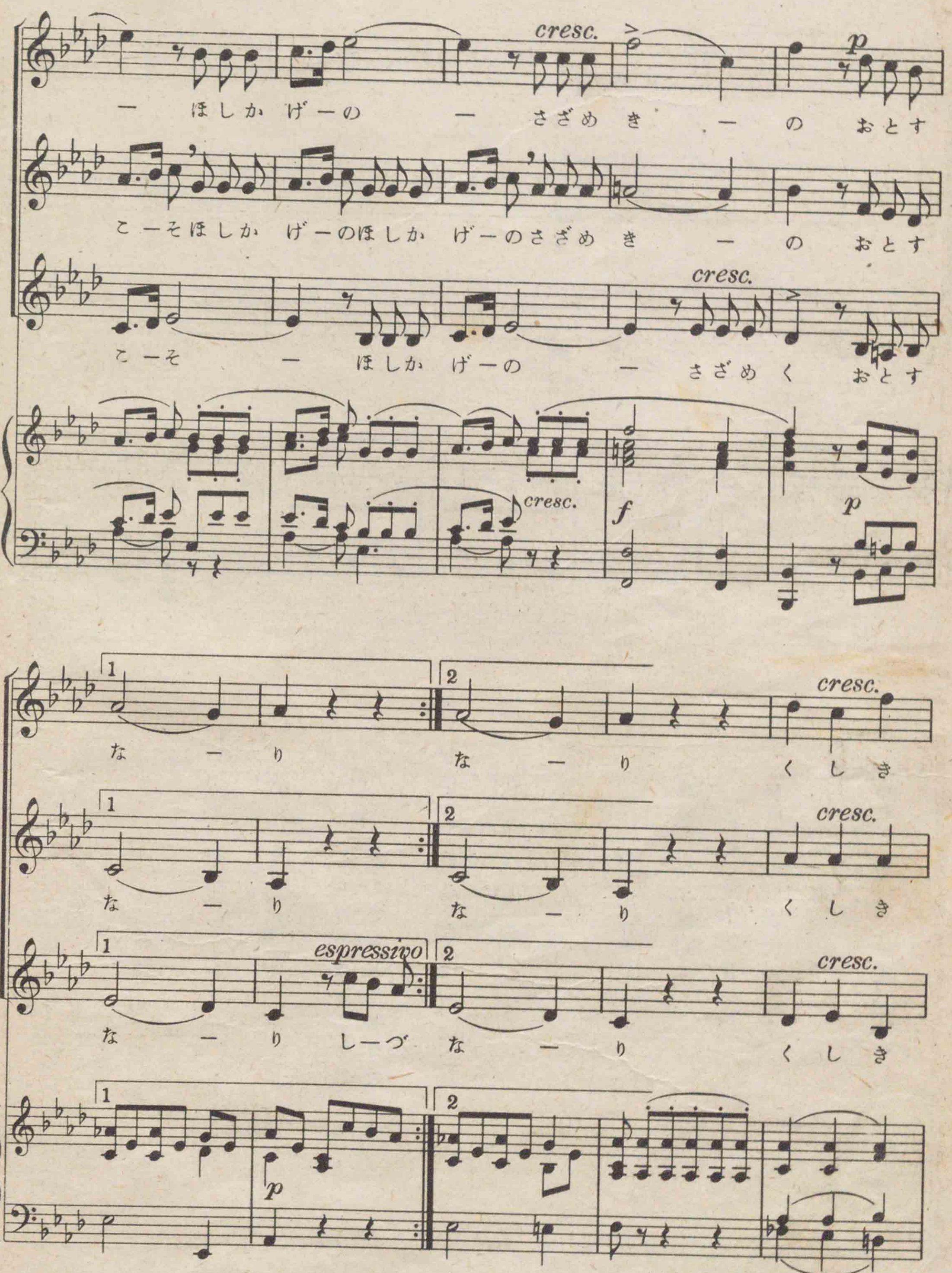

p
dolce.
り　しづーけきよるき
しづけきーよるこーそかみのひ
p
らきらとほのし
cresc.
めごとかひとみにかはしてきらめ
cresc.
さざめくおとすーなー
p
くほしかげさざめきのおとすなー
dim.
p

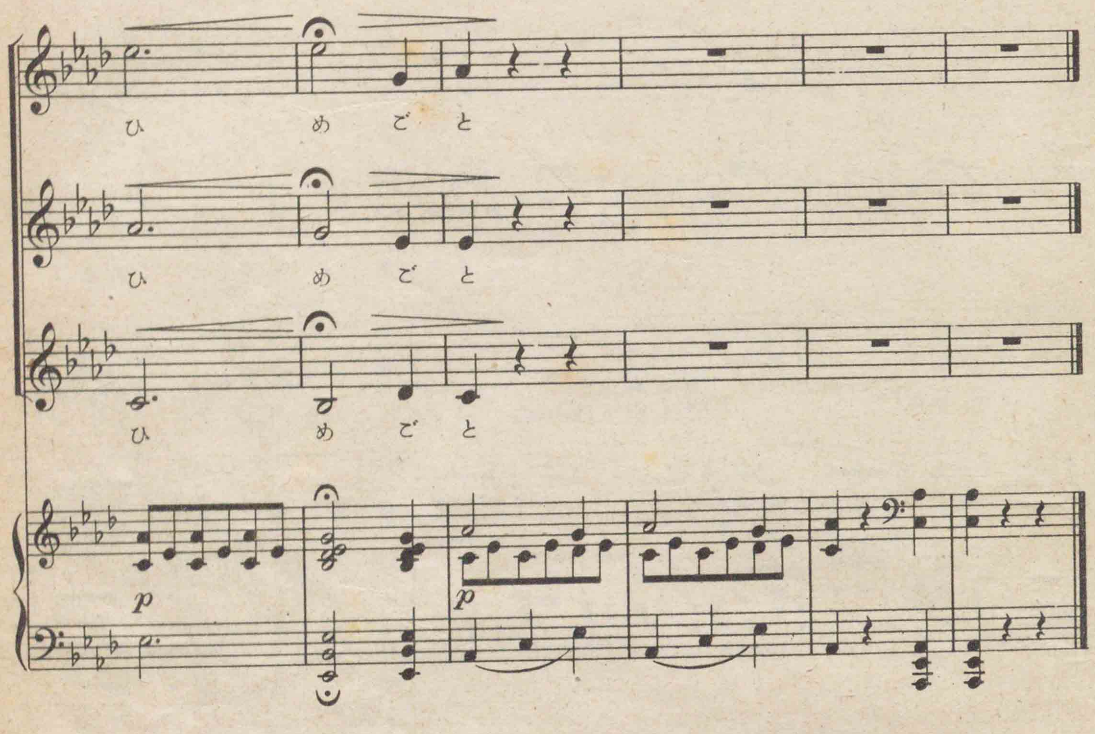



dolce.
I
しづけきーよるこーそか
II
p
りしづーけきよーるこそよるー
III
p
りしーづーけーき
cresc.
p
みのひめごとかひとみにかはしてきらめ
cresc.
p
こそかーみのひーめごとか
p
かみのひめごーとかひめごとほしのさ
cresc.


cresc.
く ほしかげ さざめ き の おとす な ー り
p
ほ し の か げ おとす な ー り
cresc.
p
dolce
ざ め ー き の おとす な ー り しーづ
cresc.
p
p
dolce
しーづ けーーきよるー こーそ ー
dolce
しーづ けーーきよるー
けーーきよるー こーそ ー ー しーづ けーー きよるー




cresc.
p
ー ほしか げーの ー さざめ き ー の おとす
こーそほしか げーのほしか げーのさざめ き ー の おとす
cresc.
こーそ ー ほしか げーの ー さざめ く おとす
cresc.
f
p
cresc.
な ー り な ー り くしき
cresc.
な ー り な ー り く し き
espressivo
cresc.
な ー り しーづ な ー り く し き
p




静夜

桑田つねし

しづけき夜こそ
奇しき神秘か
第一聯（しづけき夜きらきらと星のさゞめく音すなり）
ひとみにかはして
閃めく星影
さゞめきの
音すなり
〔繰返〕以上繰返す
第二聯（星の影音すなり）
〔繰返〕更に本文繰返す
各聯（星影の）
〔終句〕奇しき神秘

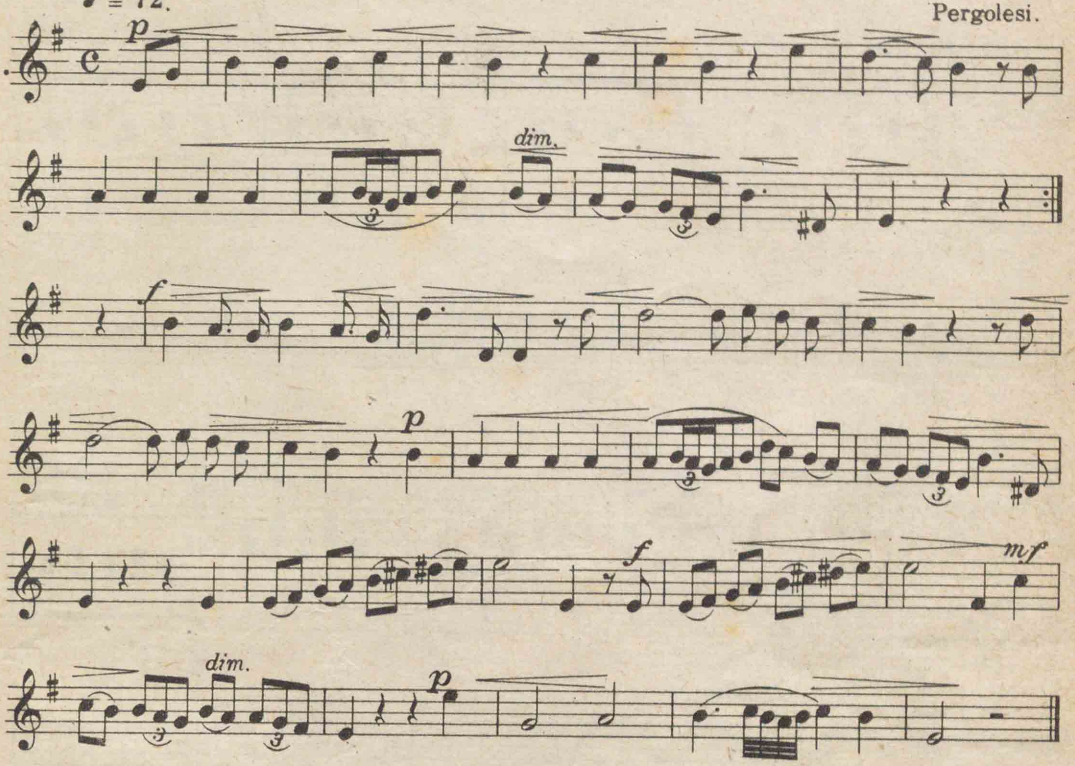


〔鑑賞〕

## ニーナの死

♩＝72. Pergolesi.

11.



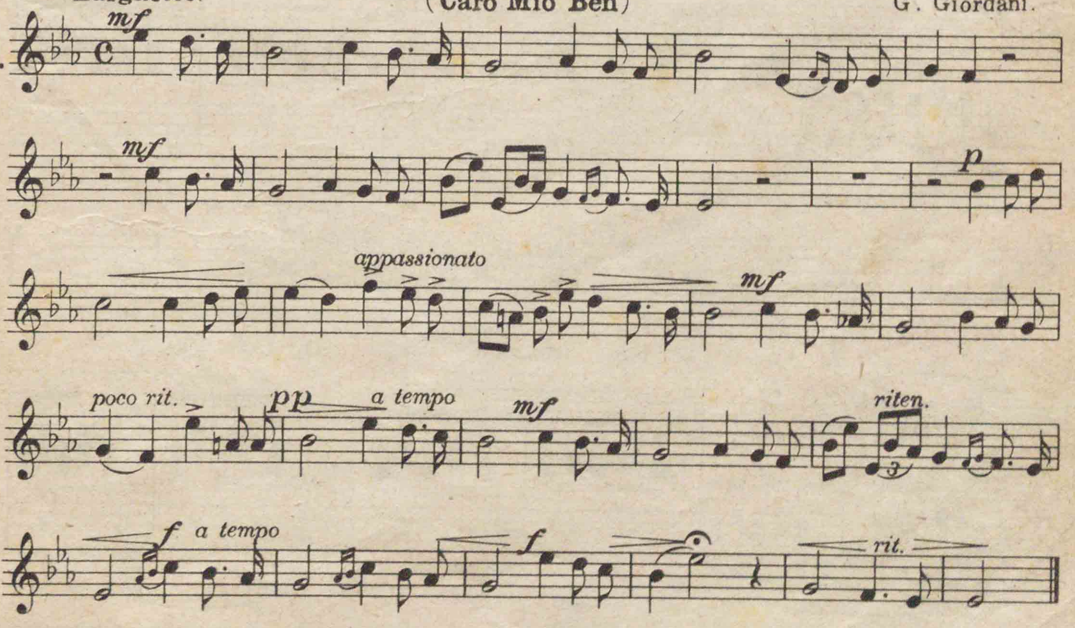

〔鑑賞〕

## カロミオベン

(Caro Mio Ben)

Larghetto. G. Giordani.

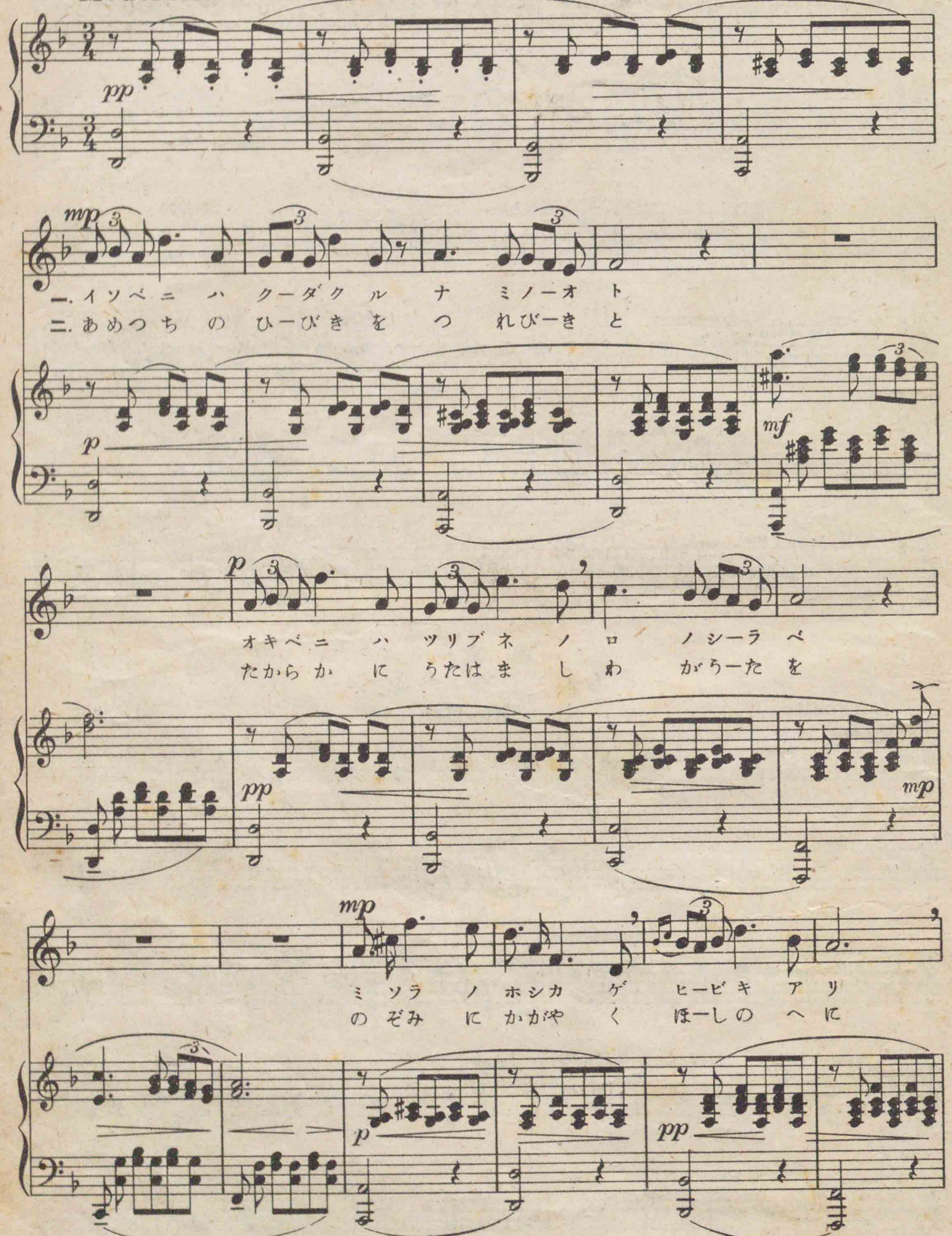
12.



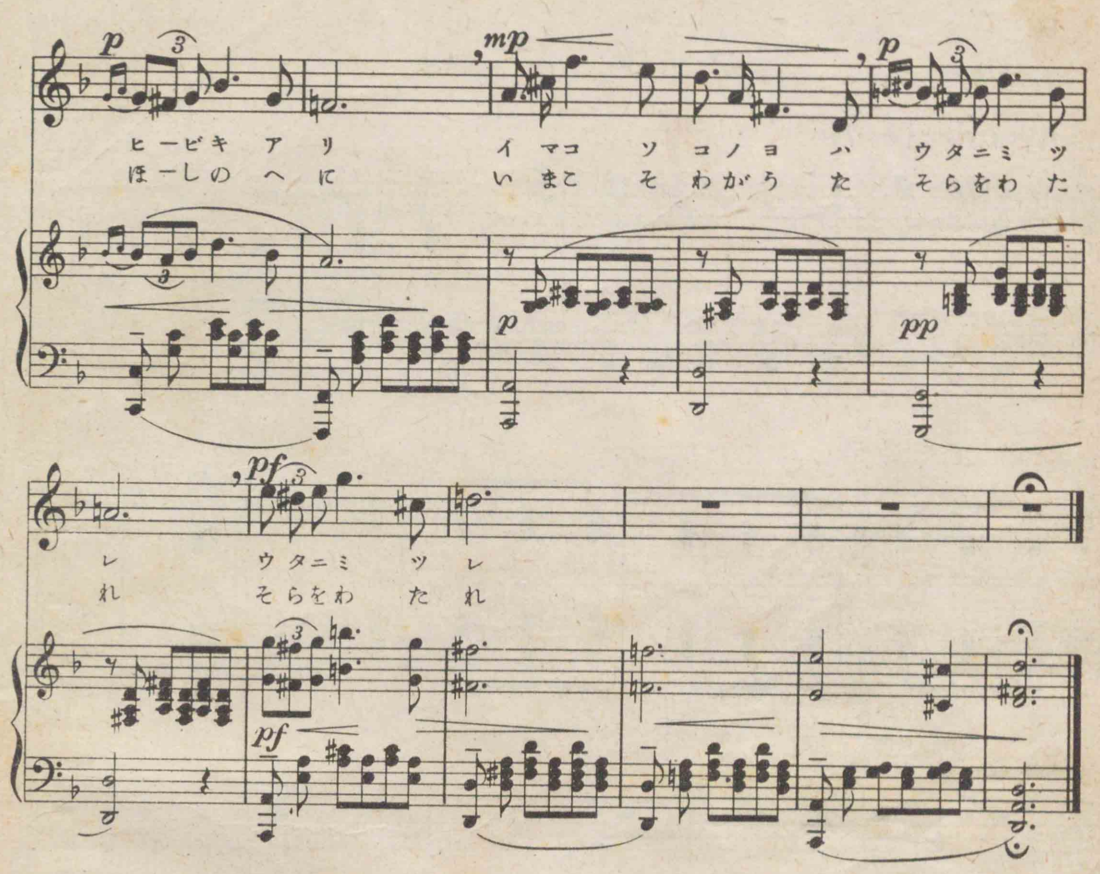
# 夜の曲

F.Schubert.
編者編曲

Moderato.(♩.= 96)






夜の曲

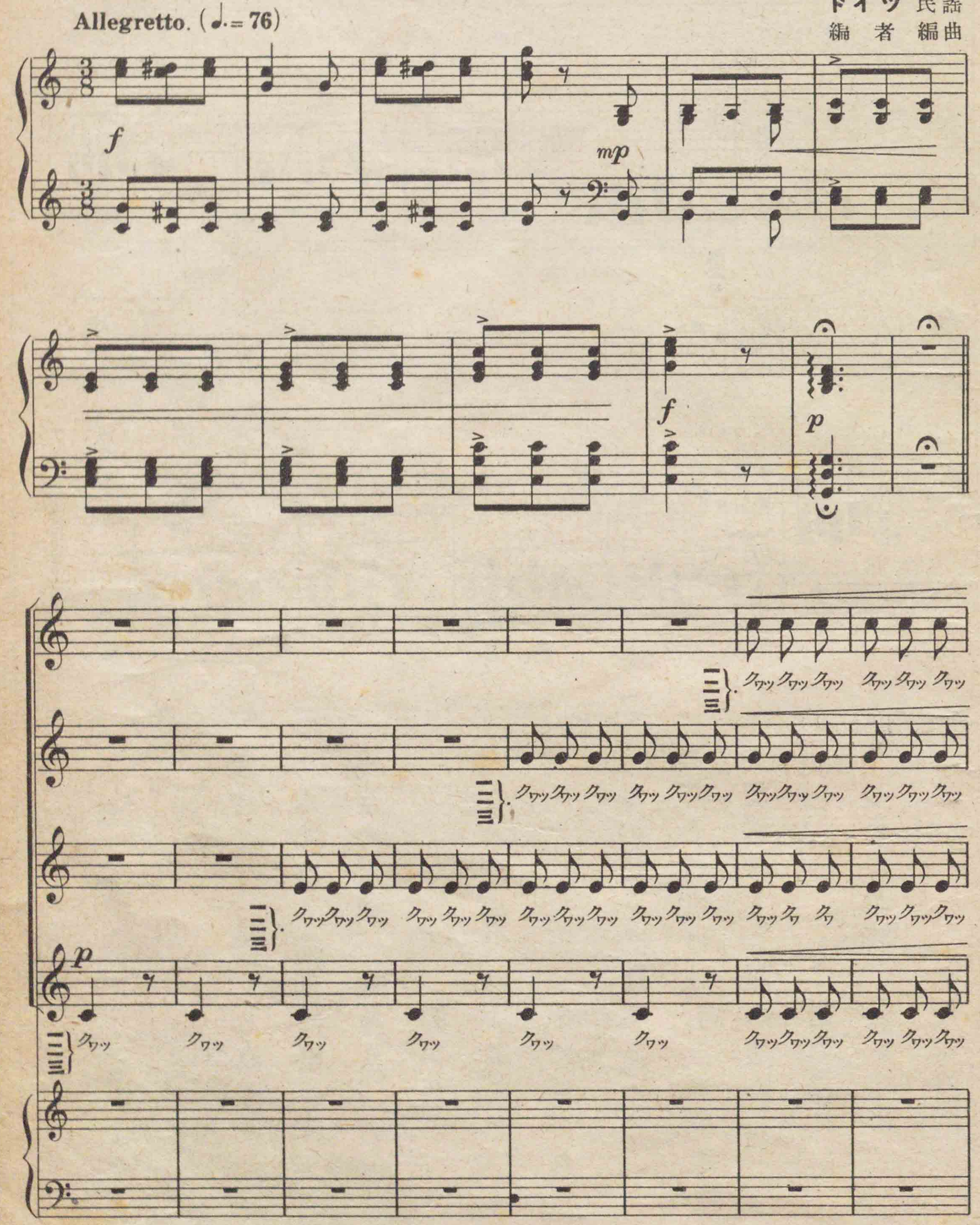
黒澤隆朝

一 磯邊には 砕くる浪の音
沖邊には 釣舟の櫓の調
み空の星影 響あり
響あり
今こそ此の世は 歌に充つれ
歌に充つれ

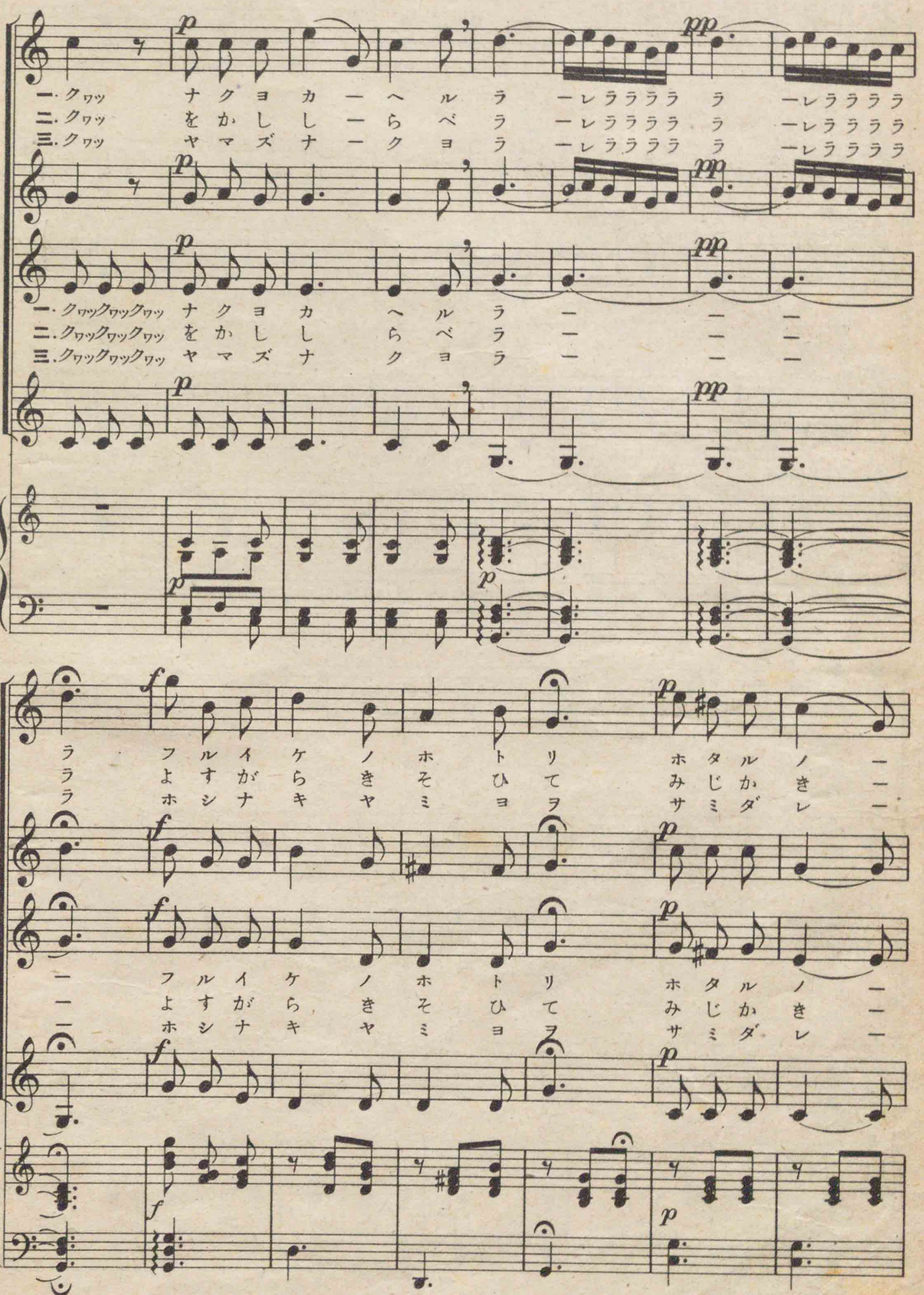
二 天地（あめつち）の響を 伴奏（つれびき）と
高らかに歌はまし 吾が歌を
希望（のぞみ）に輝く 星の邊に
星の邊に
今こそ吾が歌 空を渡れ
空を渡れ

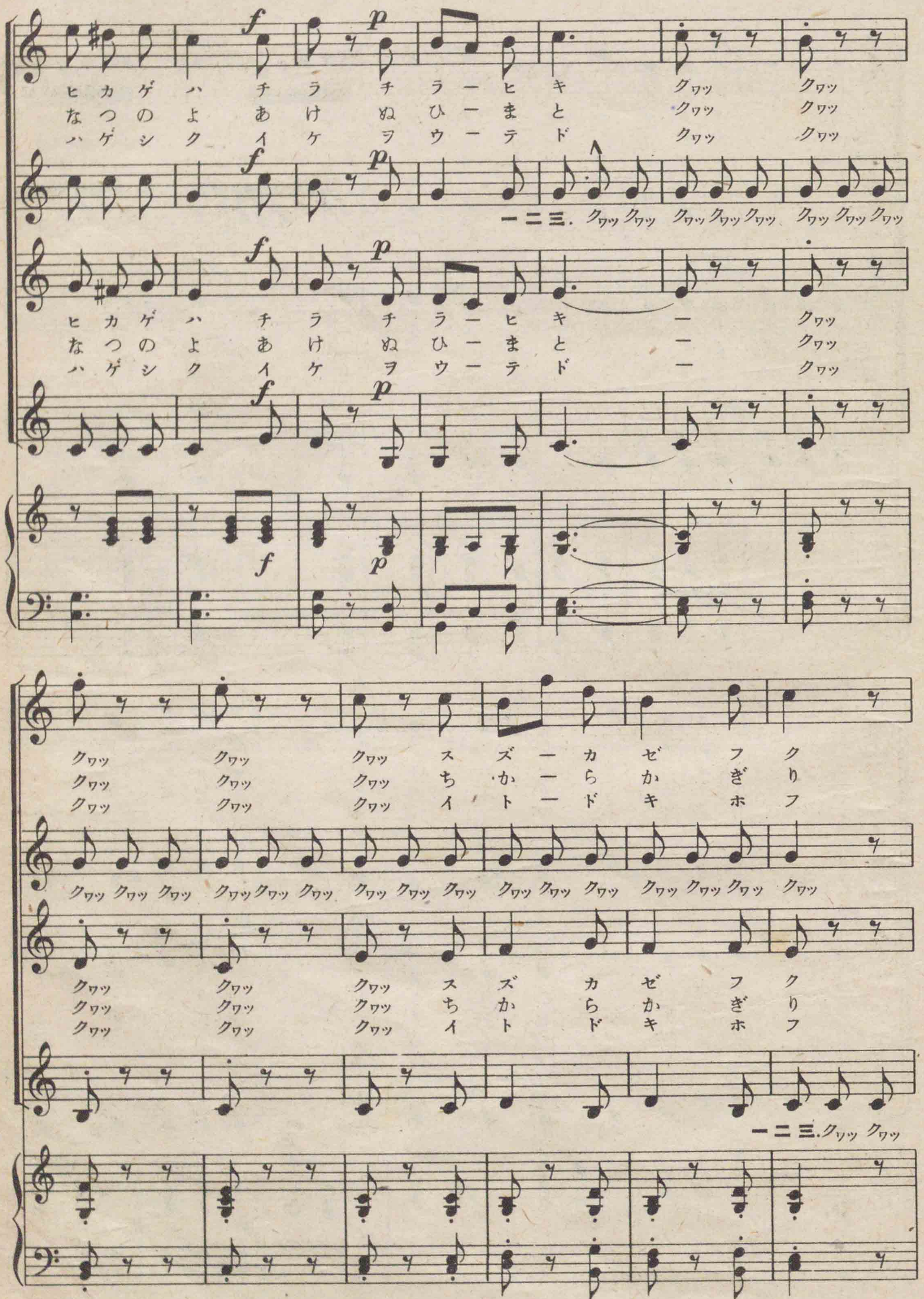
# 古 池 の 蛙

ドイツ民謠
編者編曲

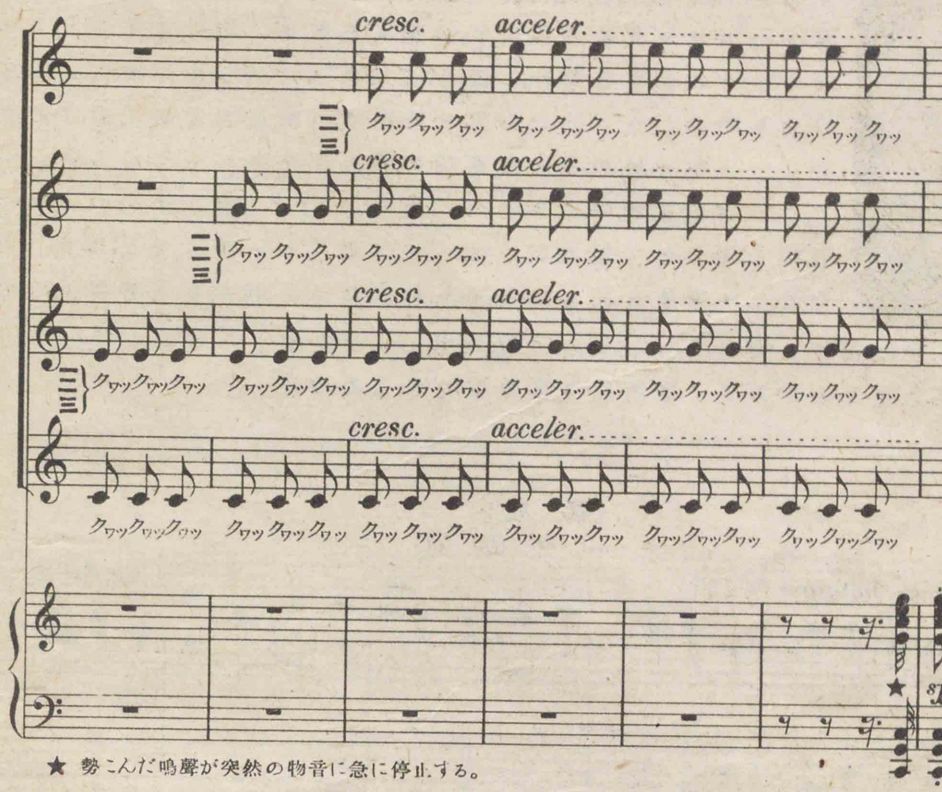









★ 勢こんだ鳴聲が突然の物音に急に停止する。

## 古池の蛙

黒澤隆朝

一
鳴くよ蛙　ラレラララララ
　レラララララ
古池のほとり　螢の灯影は
ちら〳〵引き　涼風吹く

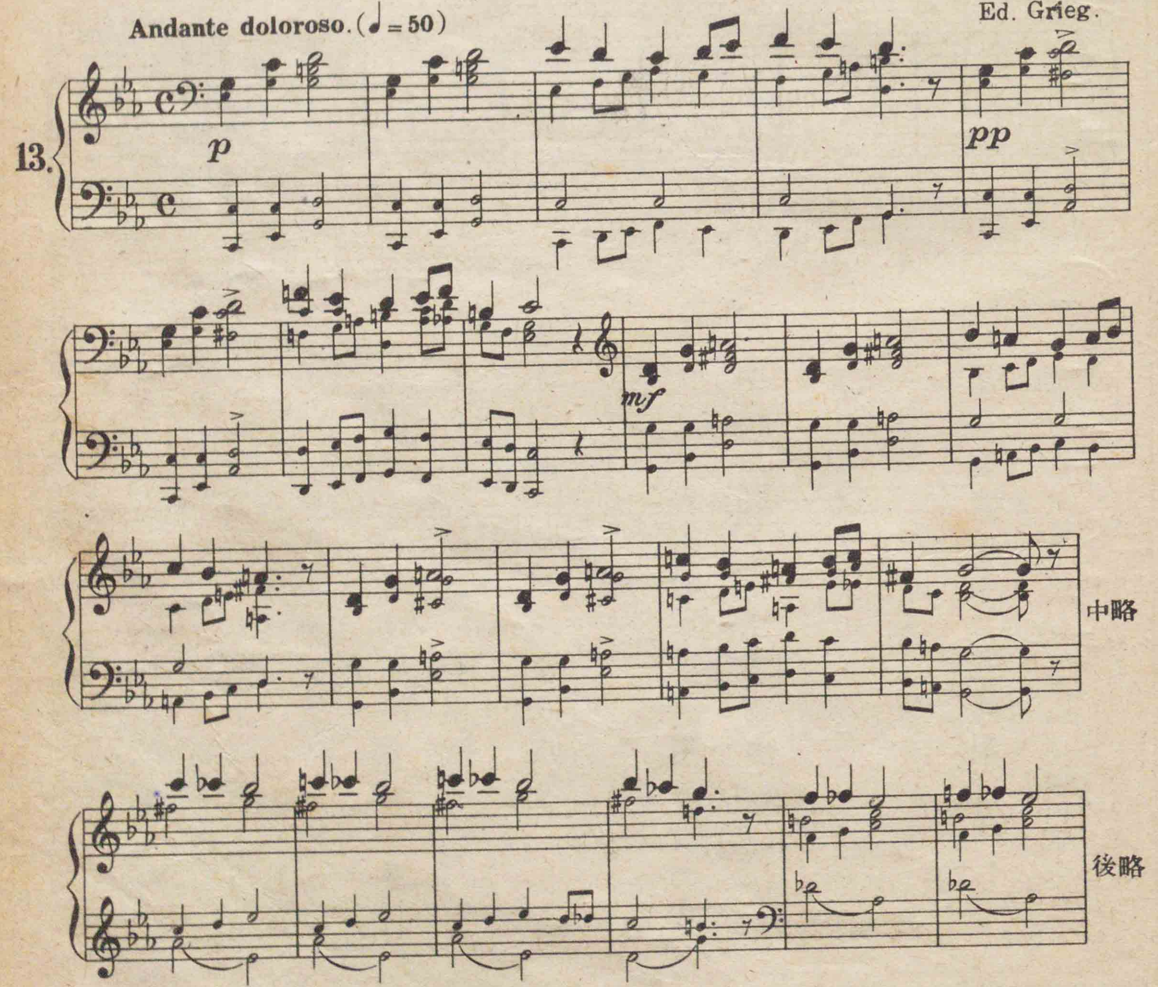
二
をかし調　ラレラララララ
　レラララララ
夜すがら競ひて　短き夏の夜
明けぬ隙と　力かぎり

三
休まず鳴くよ　ラレラララララ
　レラララララ
星なき闇夜を　五月雨はげしく
池を打てど　いとゞきほふ

**グリーク**（Edvard Grieg. 1843 — 1907） はノルウエーのベルゲンに生れた北歐の代表的作曲家である。幼少より母によつてピアノの教育を受け，後ドイツ・ライプチッヒ音樂院に學び作曲を研究した。彼の作風の特徴は，國民的音樂の樹立に立脚して，音樂に巧みに民謡調を取入れた事で小作が多い。そして獨得な和聲美を持つて居る。ピアノ曲，ヴァイオリン曲等も知られて居るが，イプセン作「**ペール・ギュント**」に作曲した組曲は最もよく知られてゐる。中でも「**アニトラの踊**」「**オーゼの死**」又獨唱曲としての「**ソルヴェージの歌**」等は彼の特色を遺憾なく發揮したものである。歌謡曲も多数遺されてゐる。

〔鑑　賞〕

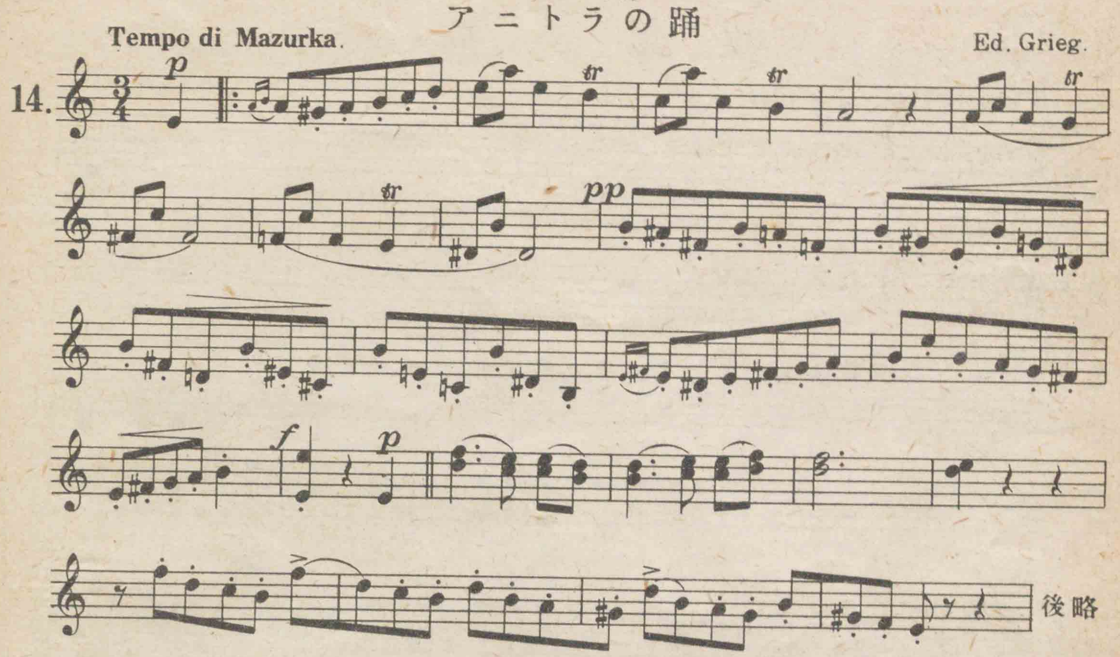
## オーゼの死





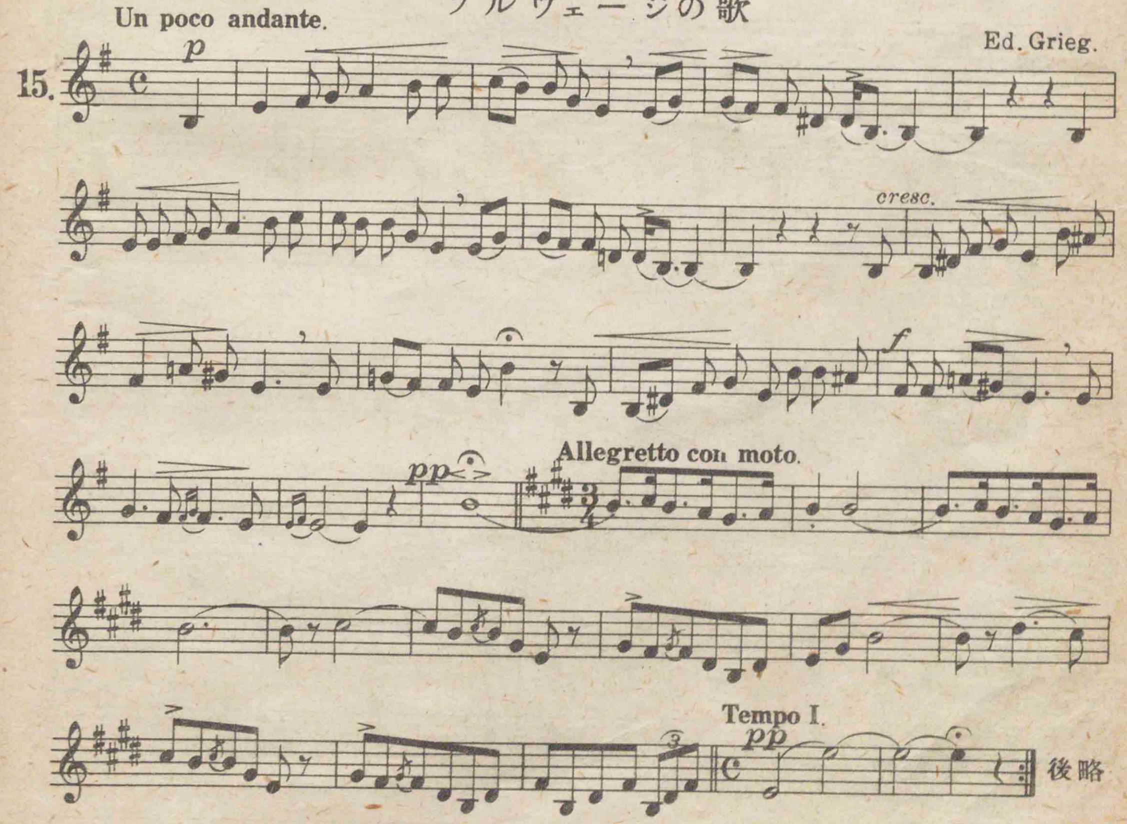

〔鑑　賞〕

## アニトラの踊




〔鑑　賞〕

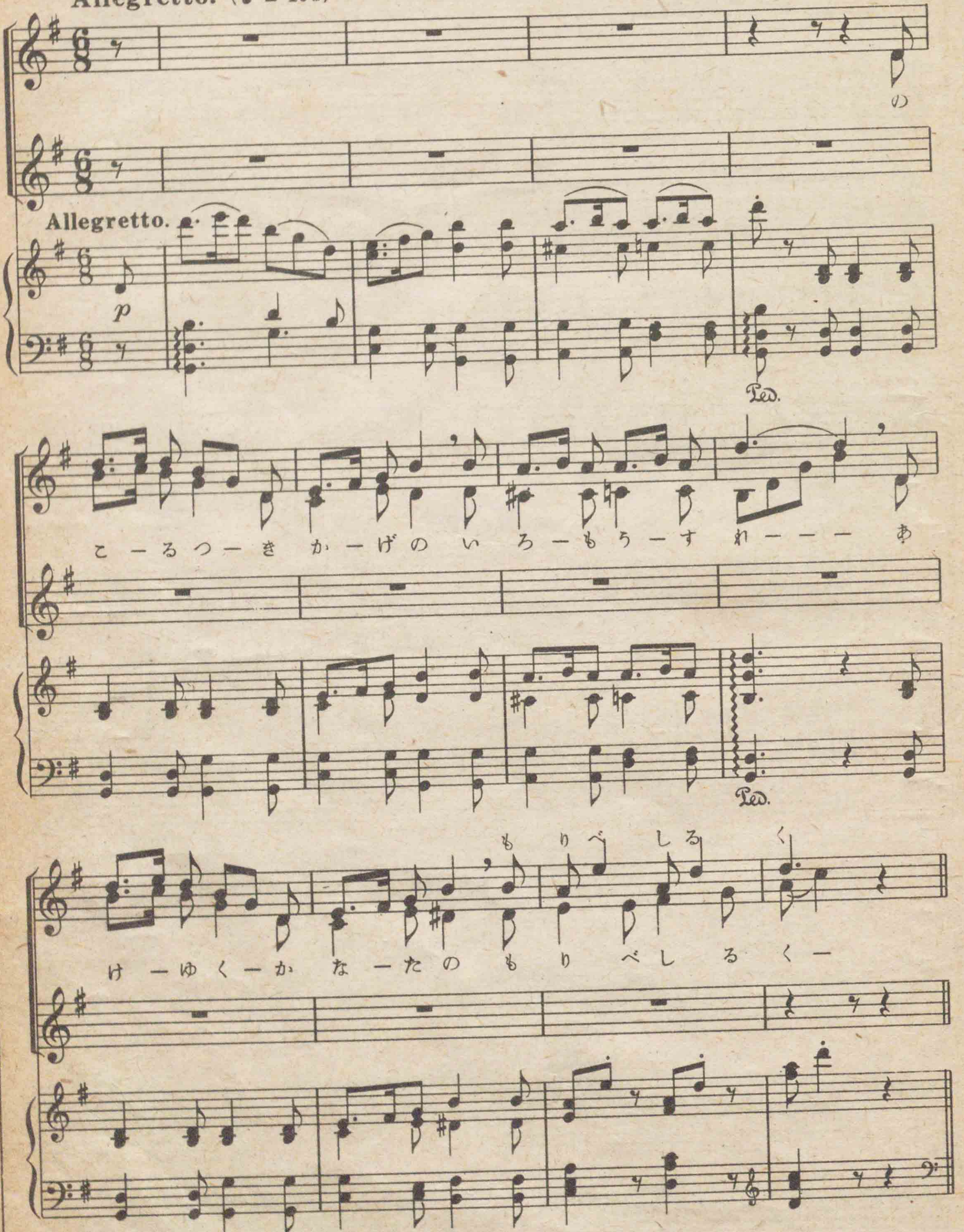
## ソルヴェージの歌



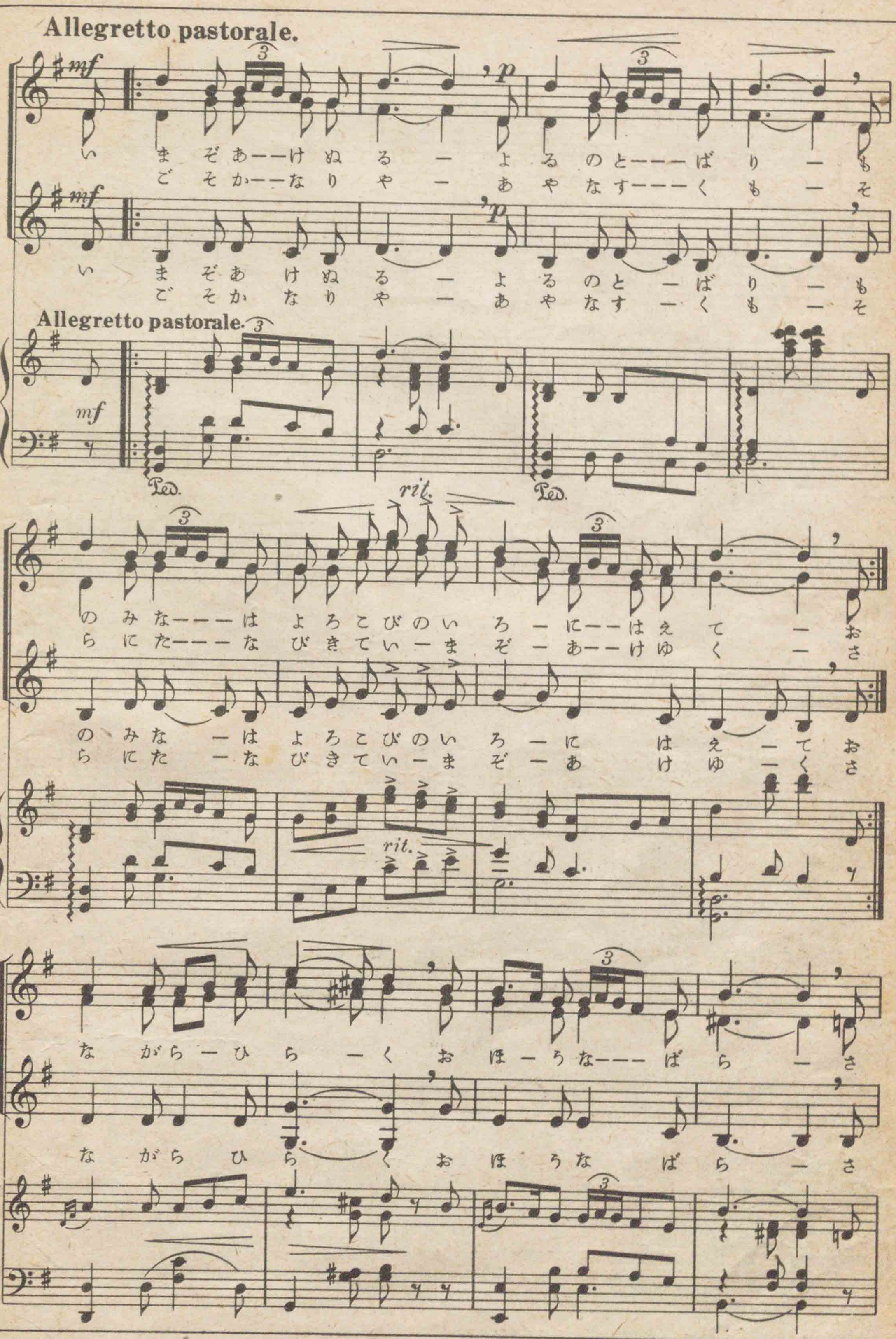
# 牧場の曙

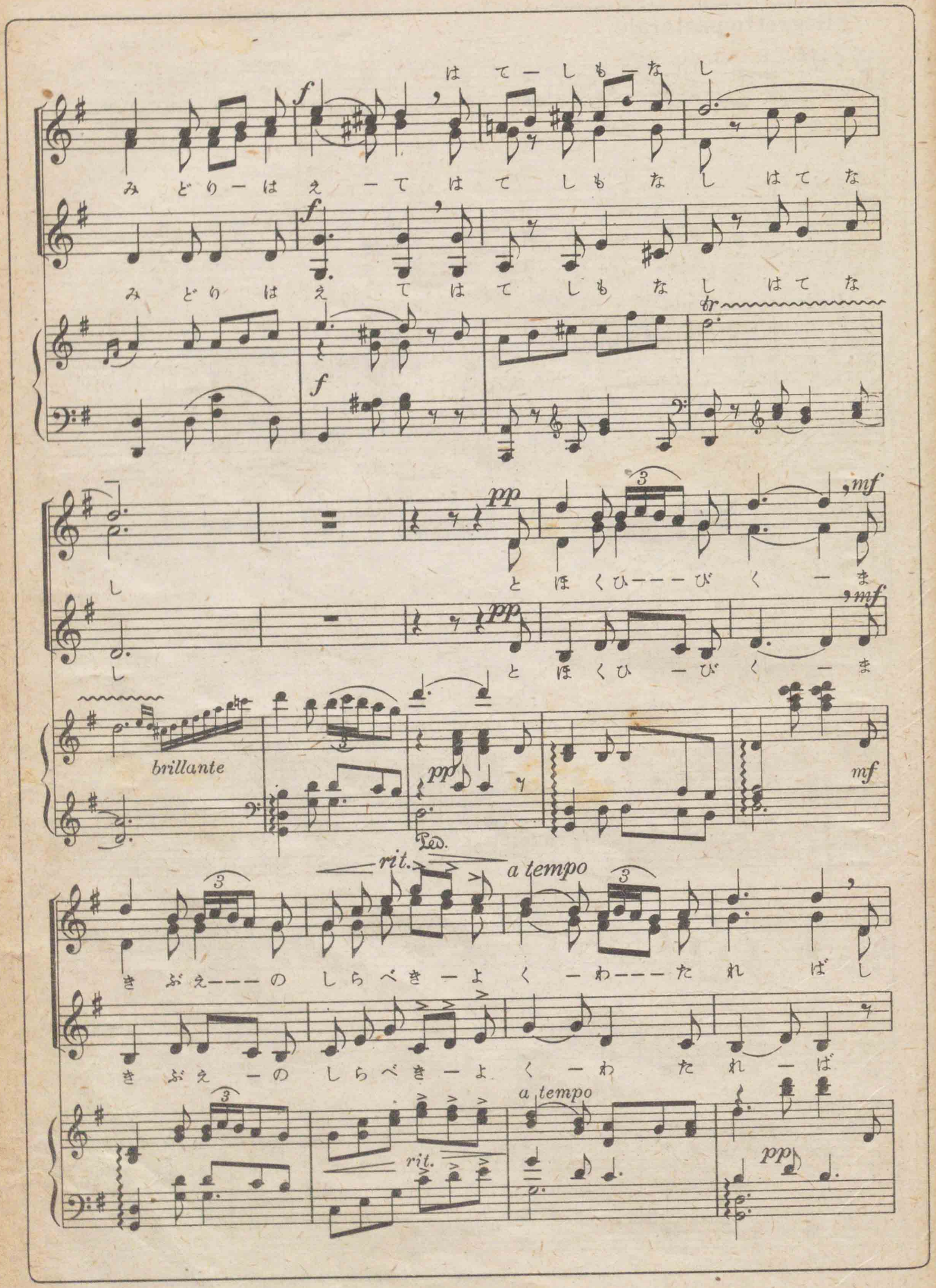
G. D. Wilson.

Allegretto. (♪= 104)

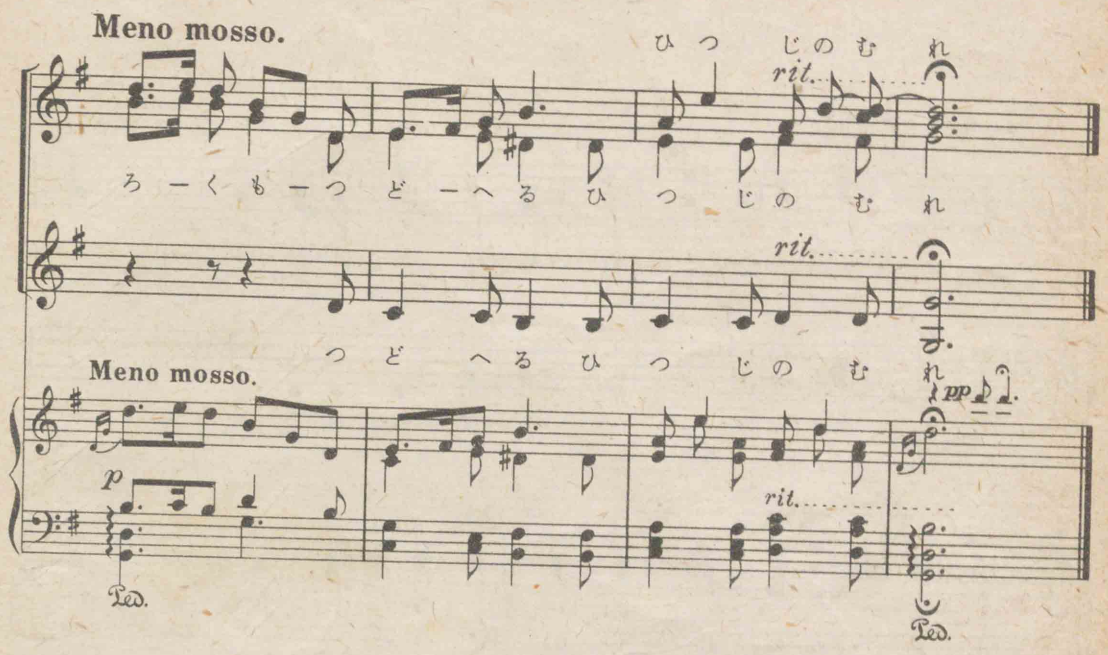









# 牧場の曙

水田詩仙

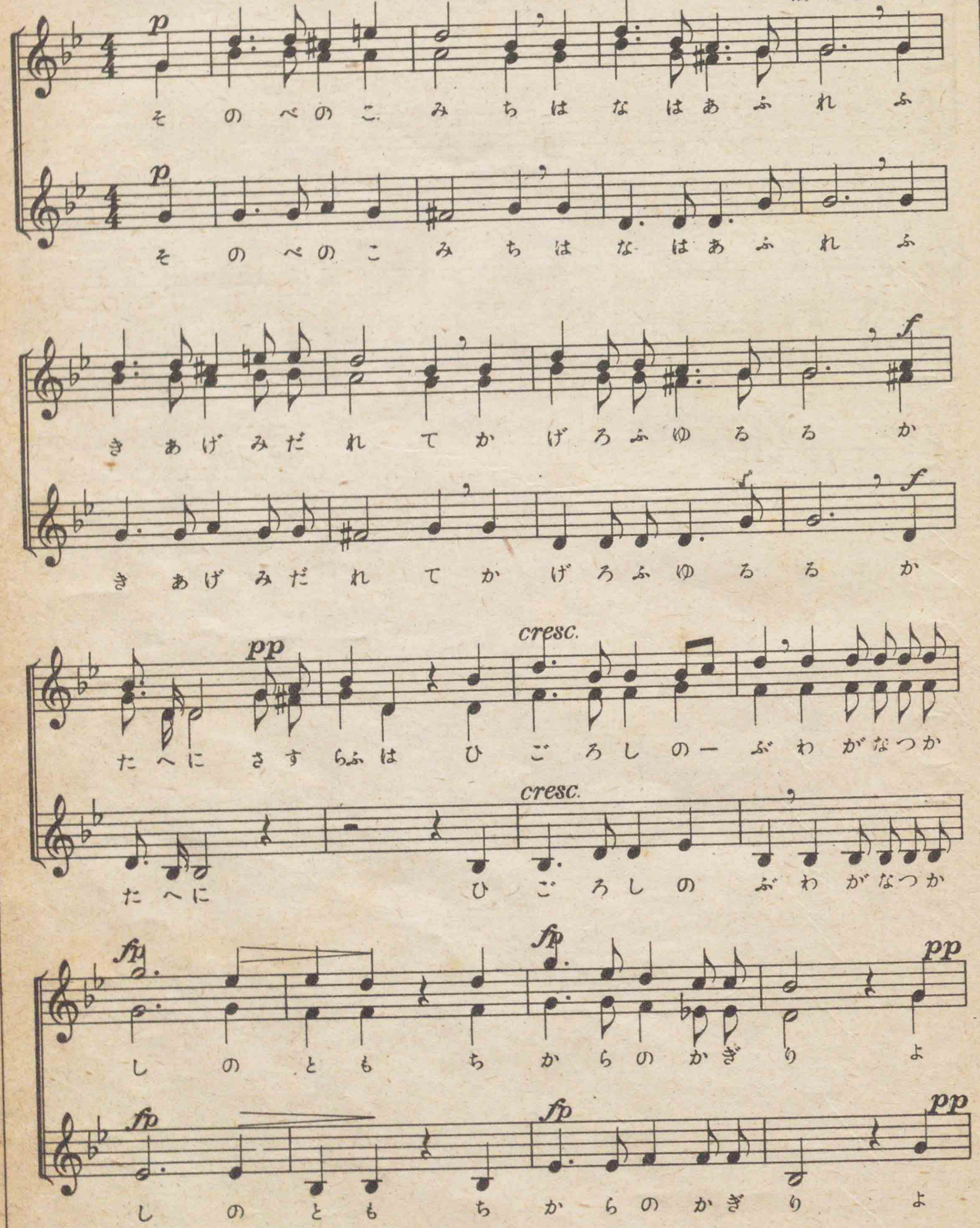
殘る月影の色も薄れ
明け行く彼方の森邊著く
今ぞ明けぬる夜のとばり
ものみなは歡喜の色に映えて
嚴なりや　あやなす雲
空に靉靆きて今ぞ明けゆく

さながら開く大海原
さみどり映えて　涯しもなし(涯なし)
遠く響く牧笛の調きよく渡れば
白くも集へる　羊の群

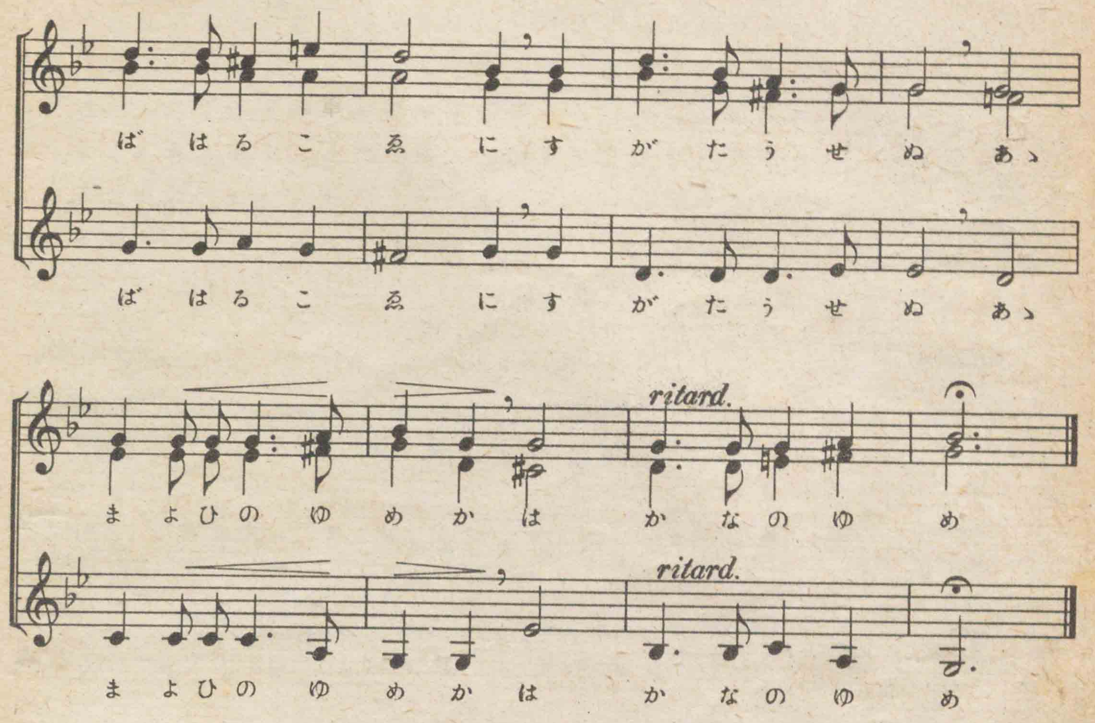
# 夢

Lento. (♩= 63)

Schumann.
編者編曲






## 夢

水田詩仙

園邊の小徑　花はあふれ
噴水（ふきあげ）みだれて　陽炎（かげろふ）ゆる、
かたへにさすらふは
日ごろ忍ぶ、わが懷しの友
力のかぎり　呼ばゝる聲に
姿うせぬ
あゝまよひの夢か
はかなの夢

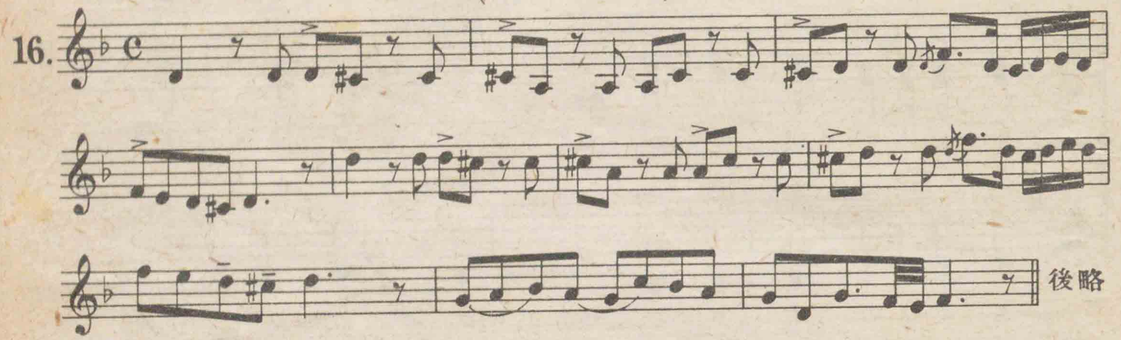
**マックス・ブルッフ**（Max Bruch,1838—1920）はドイツのケルンに生れ，母からピアノを學び，後正式に作曲及理論を學んで各種の作曲に勵んだ。シューマン・ワグナーに影響される所が多いが，その管絃樂法等は卓越せるものとされてゐる。彼は又合唱樂にも數多の曲を出し，「**美しきエレン**」は，人のよく知る所，又チェロ曲としてヘブライの旋律に基いた「**コール．ニドライ**」もよく知られてゐる。又ヴァイオリン曲等も有名である。

〔鑑　賞〕

## 祈りの曲

（コール・ニドライ）

Adagio. 　　　　Max Bruch.

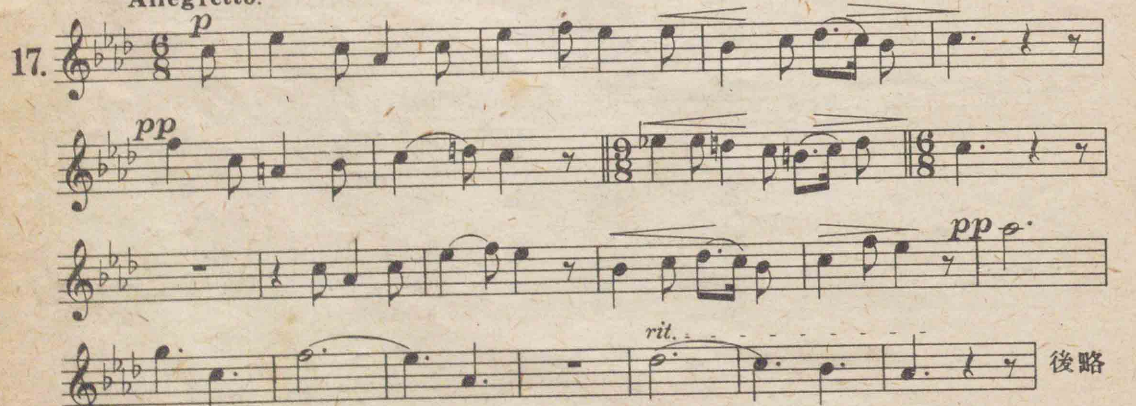


**マックス．レーガー**（Max Reger, 1873—1916）はドイツのババリア生れの眞面目な作家で，父に音樂教育の初歩を受けリーマンなどに學んだ。彼の作風はブラームスに似て，然も新鮮常に一點一劃を疎にせざる性格を持ち，作曲理論に精通せる，そしてその自由なる驅使はその作品を見て初めて首肯する所のものである。蓋し新古典派随一の作家である。餘技には「**マリヤの子守歌**」の如き，その他民謠を編曲した小曲などもある。

〔鑑　賞〕

## マリアの子守歌

Allegretto. 　　　　Max Reger.



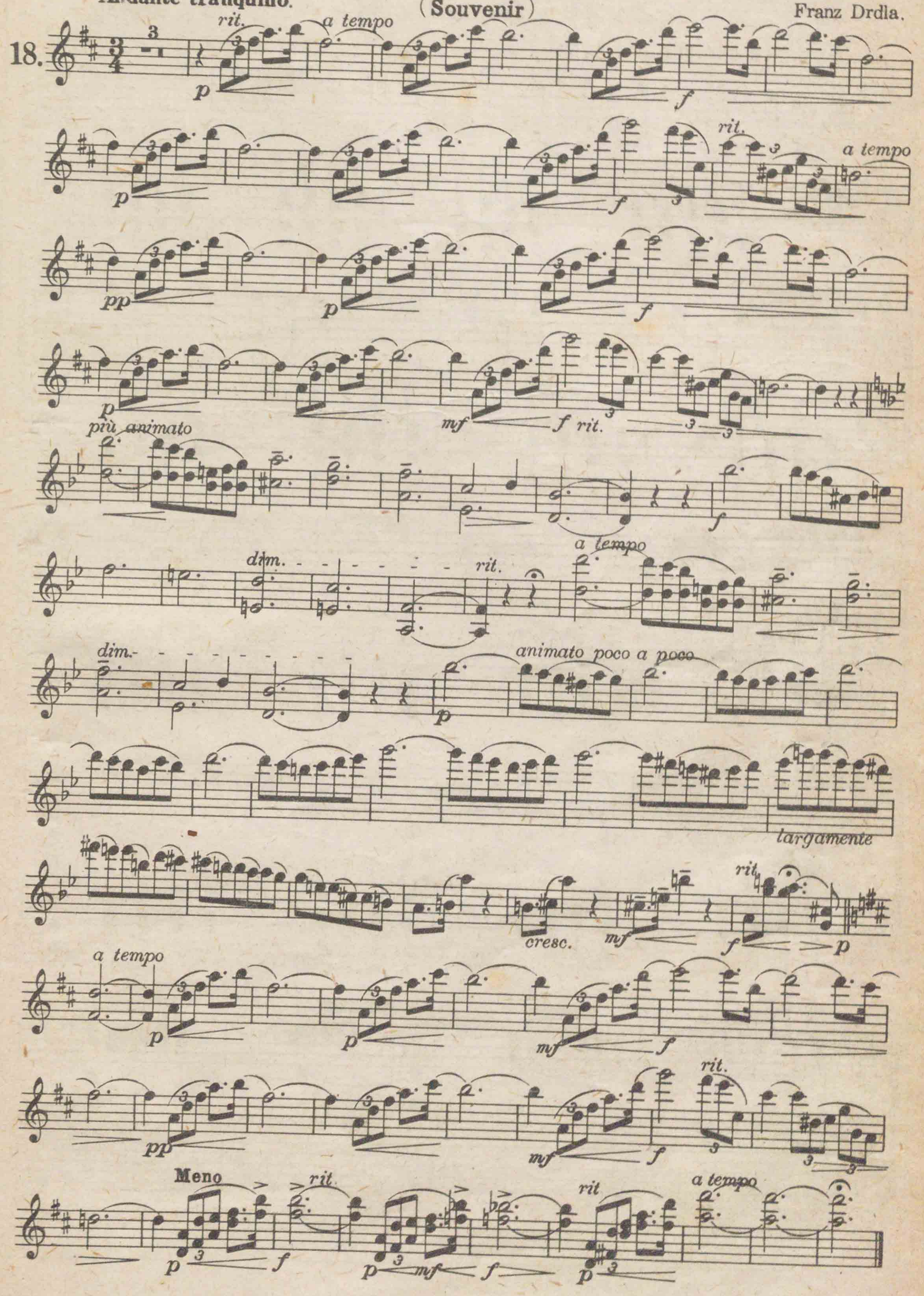



〔鑑　賞〕

## スーヴニール

（Souvenir）

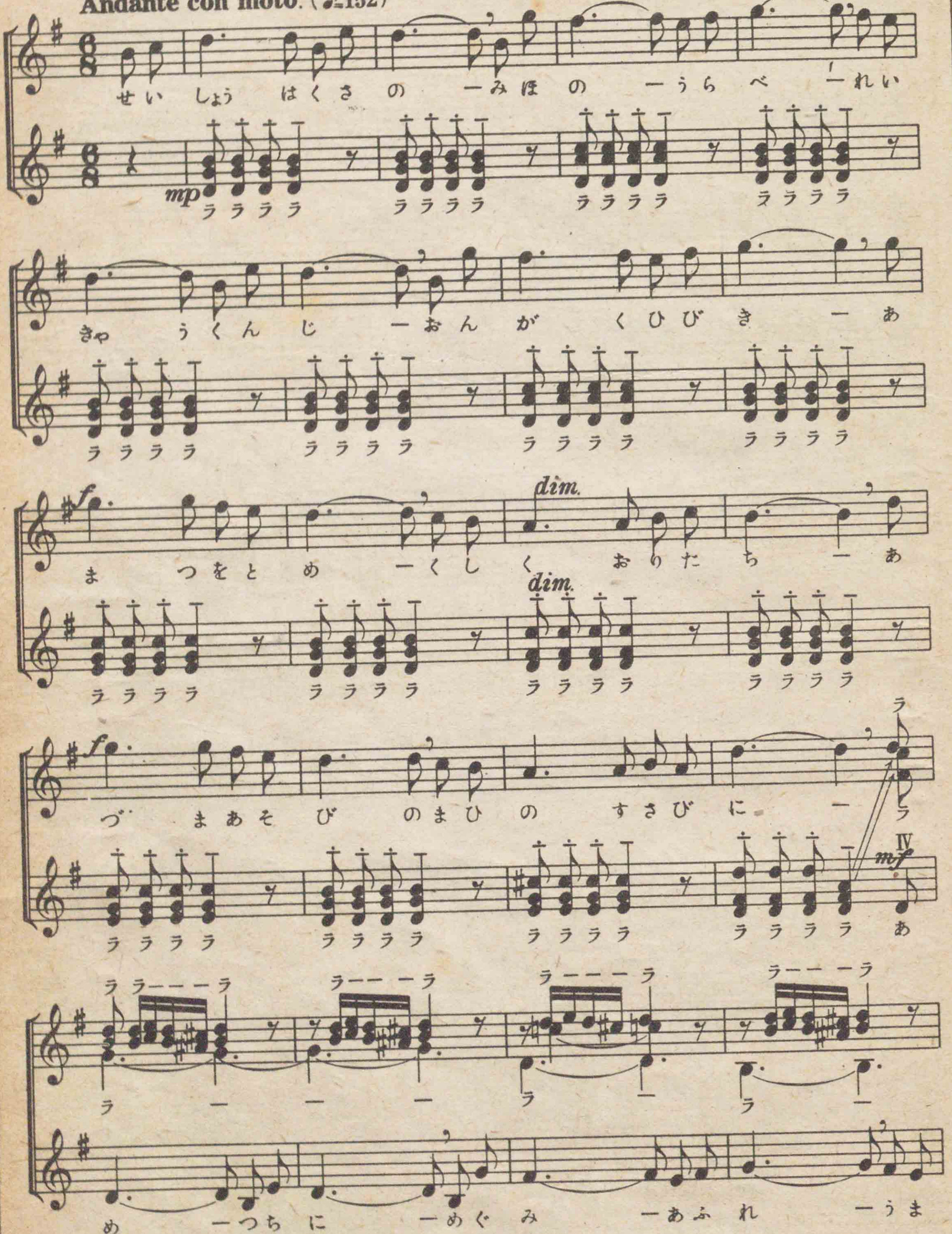
Andante tranquillo. 　　　　Franz Drdla.



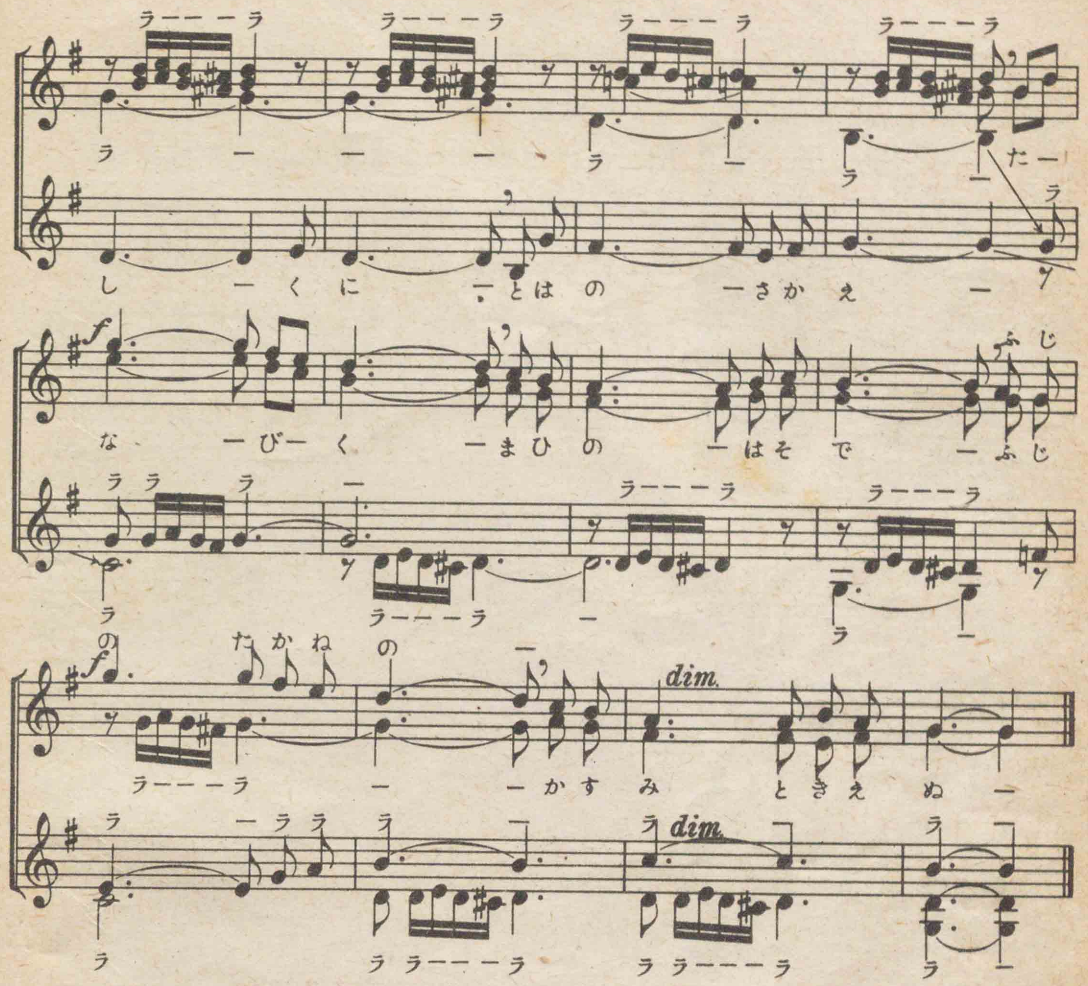
# 羽 衣 の 舞

Weber
編者編曲

Andante con moto. (♪=152)





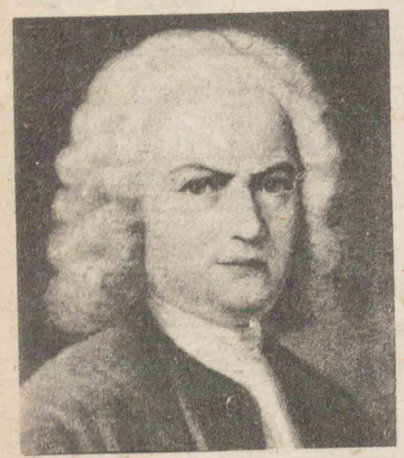




羽衣の舞

水田詩仙

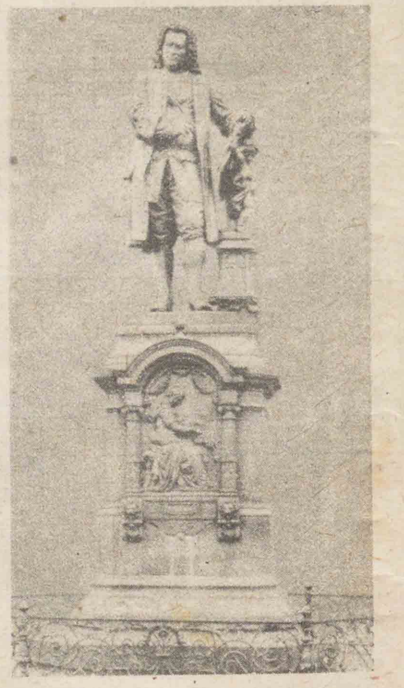
青松白砂の三保の浦邊
靈香薫じ
音樂ひゞき
天津をとめ
奇しくおりたち
東遊の舞のすさびに
天地に惠溢れ
うまし國　永久のさかえ
たなびく舞の羽袖
富士の高嶺の
霞と消えぬ

## 【参考】三　バッハ



**バッハ**(Johann Sebastian Bach 1685–1750), 中部ドイツに音樂の家として二百年間許り，遺傳的に代々勝れた音樂家を輩出した一家があつた。之は有名なバッハ家で，その中に一層輝きを見せたのはヨハン・セバスチアン・バッハである。

彼は父からヴァイオリンの奏法を學んだが十歳にして孤兒となり，兄クリストフの側にあつて寸暇を惜んでオルガンの練習作曲に努め，オルガン奏者としてその地歩を進めて行つた。彼の勤勉は極度のもので，老後失明したのも，それが原因をなすとさへいはれてゐる。彼は二十人に近い子女に守られて六十五歳で死んだ。

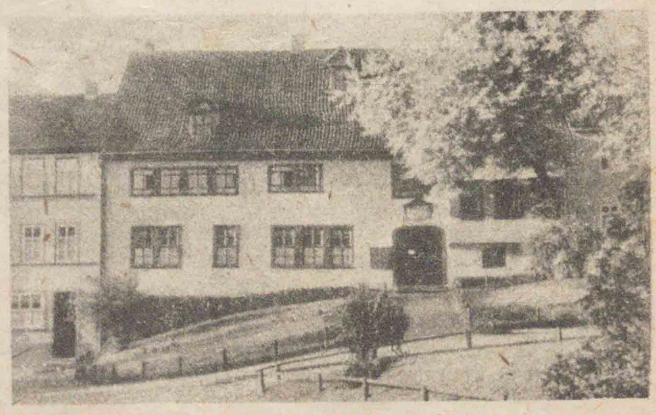


右上　アイセナッハのバッハの記念像

音樂上の功績としては枚擧に遑ない程であるが，就中フーガ形式を最大高遠な作曲形式に導き，ピアノの調律に十二平均律を用ひ，此の爲めに四十八曲の名作を遺した。

この他宗教樂曲，器樂曲を多數遺した。

バッハの大業をなせしライプチッヒ，トーマス寺院とトーマス學校



アイゼナッハのバッハの生家



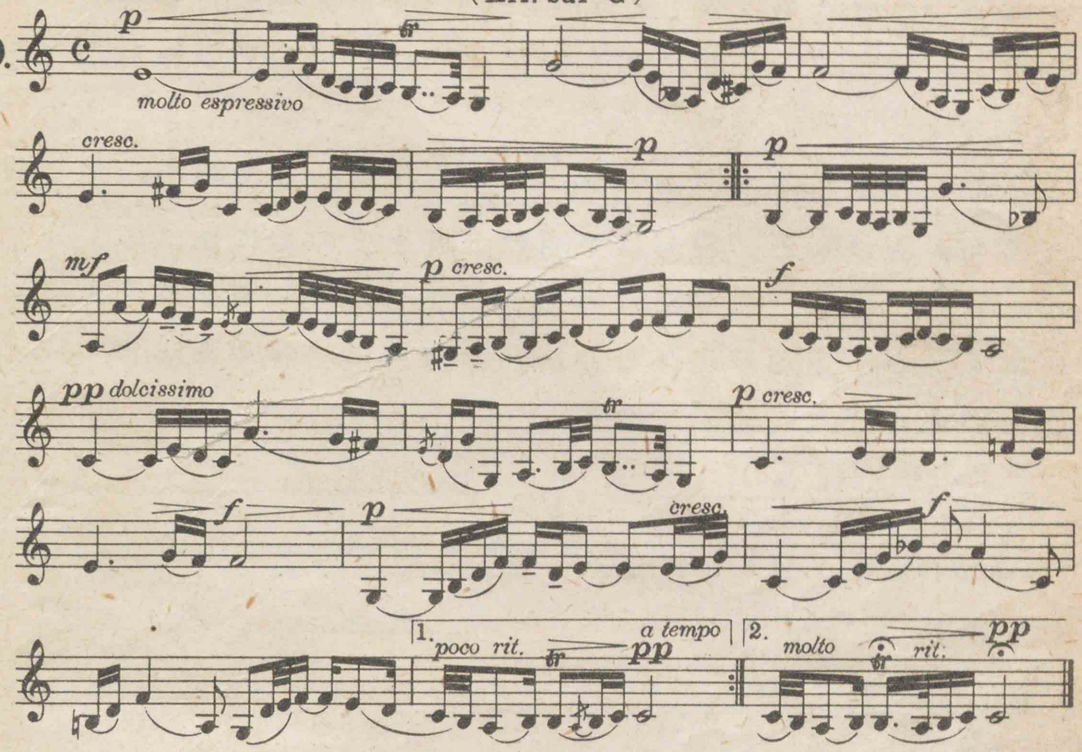
〔鑑　賞〕

### G線上のアリア

(Ari. sul G)

Lento.　　J. S. Bach.

19.

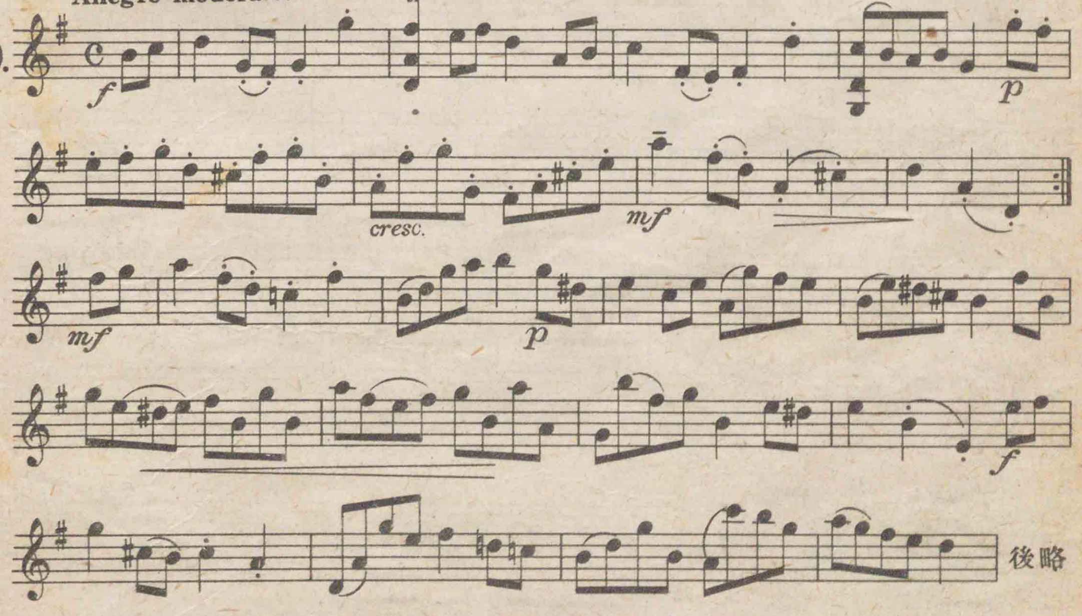


〔鑑　賞〕

### ルール

Allegro moderato.　　J. S. Bach.

20.



後略

**アリア**(Aria, 伊)は抒情調の獨唱曲で，その樣な器樂旋律にも用ひられる。

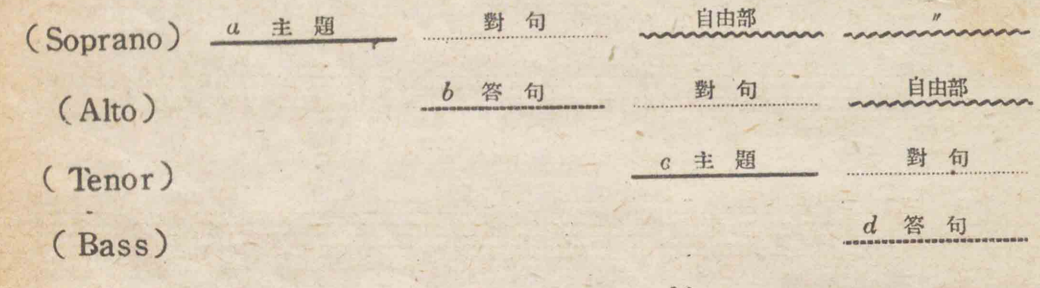
**ルール**(Loure, 佛)は古いフランス舞踊。

## 【参考】四　フーガ形式

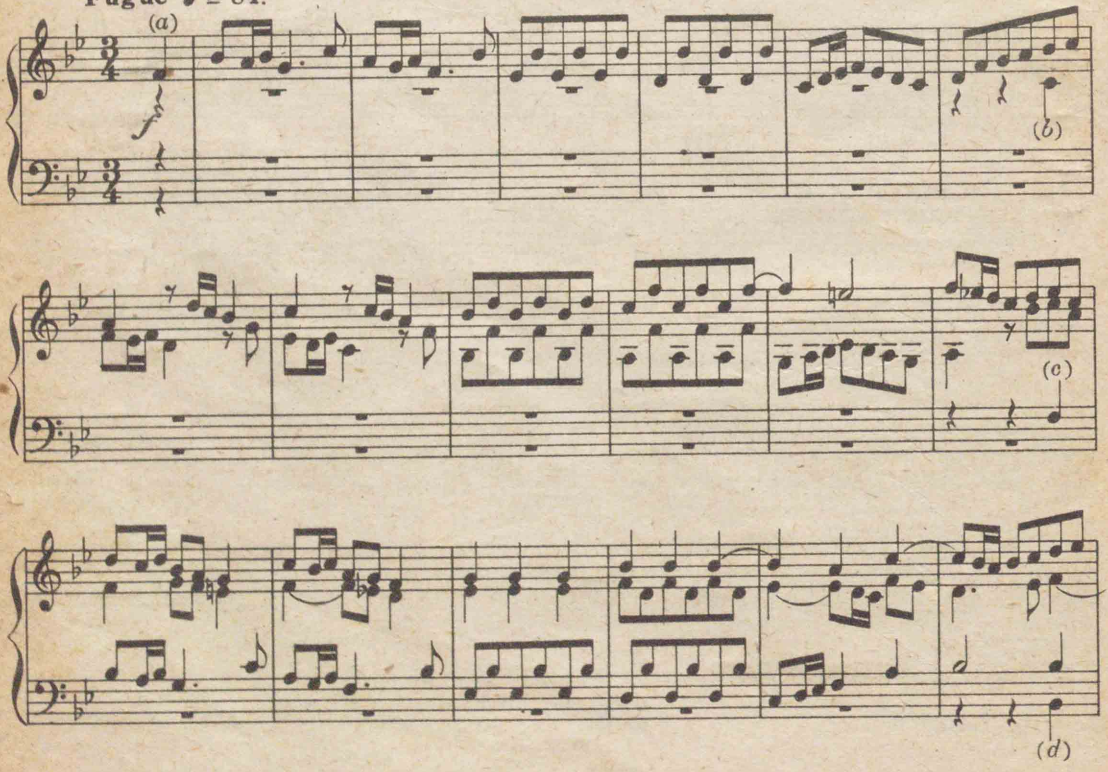
**フーガ**……これはフーゲ（獨 Fuge）ヒューグ（佛 Fugue）等とよび，二聲以上の旋律が，最初に出る旋律を追ひかける形の作曲法である。

之は最初ある聲部から主題が出て，若干進行したのち，他の聲部に答句が現はれる。答句は主題の五度上その他に始まる。

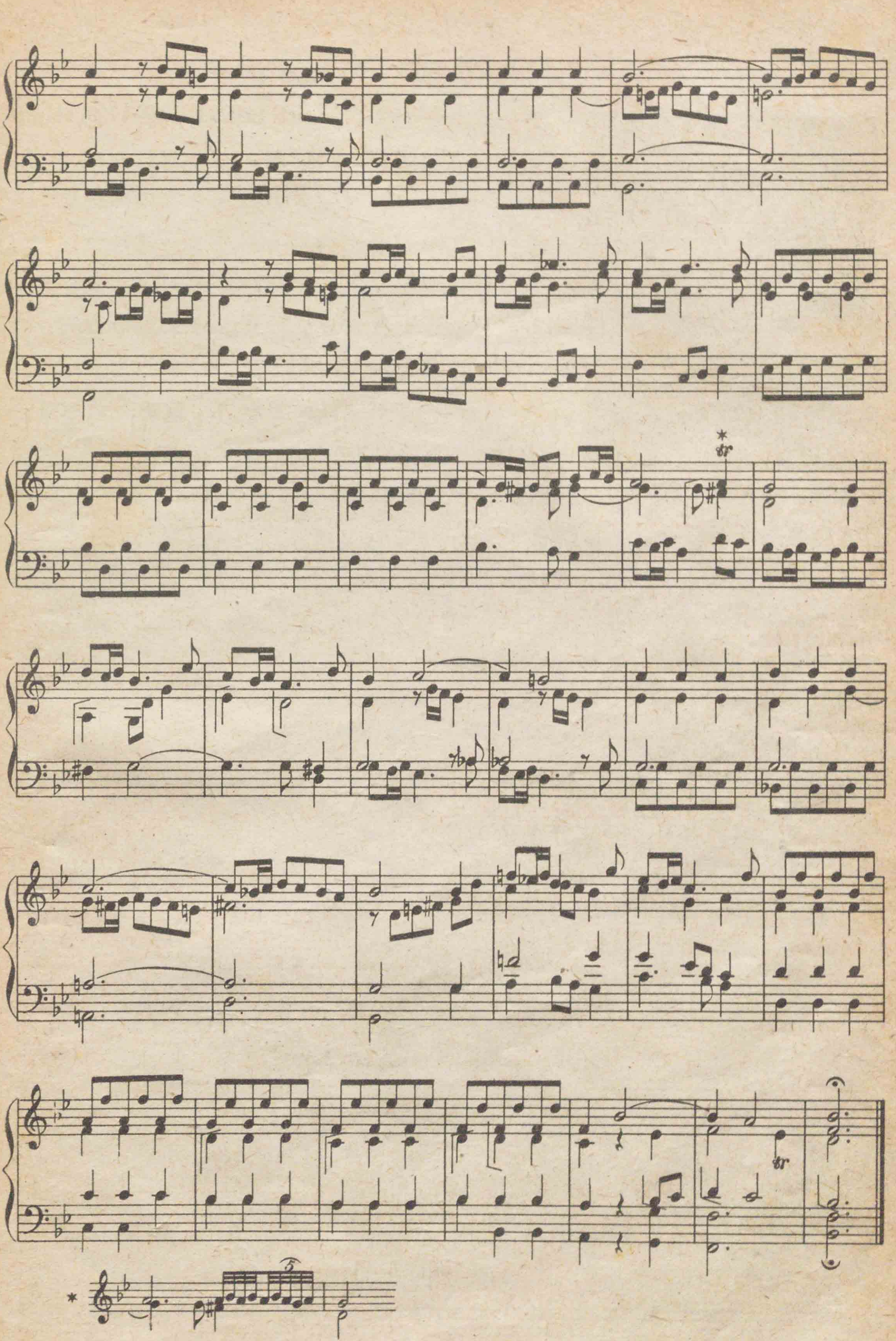
かくして二聲部，三聲部，四聲部の任意のフーガが作られる。今ソプラノから主題が現れるバッハの四聲のフーガをとり，その初頭を圖解せば次の如くである。




Fugue ♩ = 84.　　フーガ　　J. S. Bach





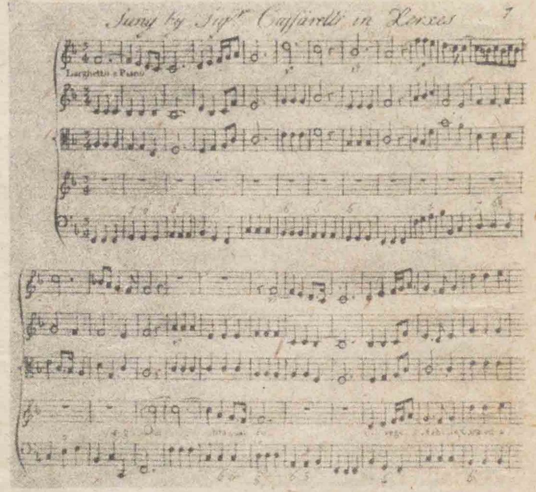
【参考】五

## ヘンデル

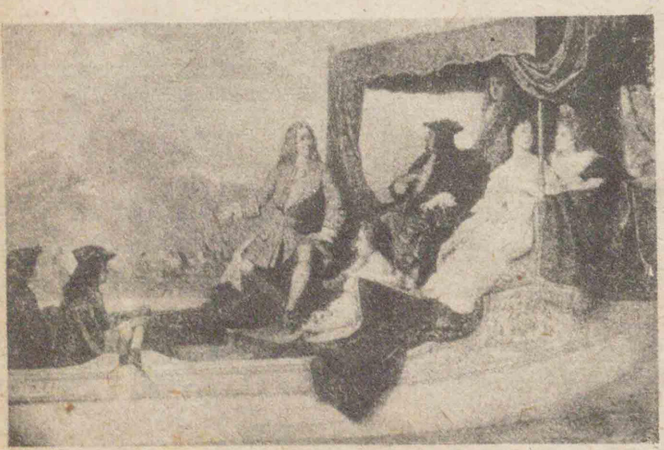
**ヘンデル**(Georg Friedrich Händel, 1685–1759)はバッハと共に近代樂の二大開祖として尊敬されてゐる。彼はドイツ，サクソニイのハルレ市の外科醫の子に生れ，父の音樂反對にも屈せず，遂にサクソニー公の知る所となり，七歳からオルガン及び作曲の正式なる音樂教育を受けた。十二歳の時父を失ひ，遂に音樂を職業として起つに至つた。

後ハンノーヴァ侯の知遇を得，經濟上の保護を得て大いに作曲に勵んだ。後年英國に渡つて名聲を博し,「ハレルヤ」を含む聖劇「**メシヤ**」(救世主),「**ユーダス・マッカベゥス**」其他歌劇等を次々に發表して英國ジョージ一世陛下の寵愛を得た。ジョージ陛下は元のハンノーヴァ侯であつた。彼は毀譽相半ばしたが，その當時の名聲は正に樂界第一と稱すべく，**バッハ**が倦くまで學究的に研讚せるに對し，彼は飽くまで平明豁達に作曲を續けた。

かくて彼は英都にその生涯を終りウエストミンスターに葬られ，今も猶英國人のもつ誇りの一とせられてゐる。



歌劇「クセルクセス」中のラルゴ原版譜


テームス河上水上樂の圖（ジョージ一世との再會）

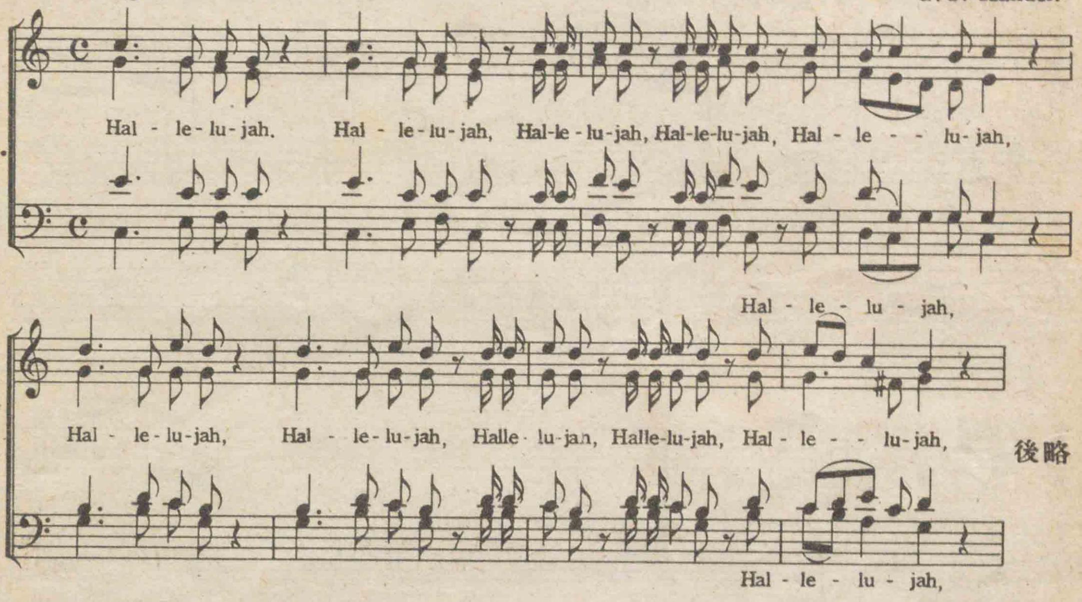
ヘンデルの薄彫像



〔鑑賞〕

### ハレルヤ コーラス
(**Hallelujah Chorus**)

**Allegro moderato.** G. F. Händel.

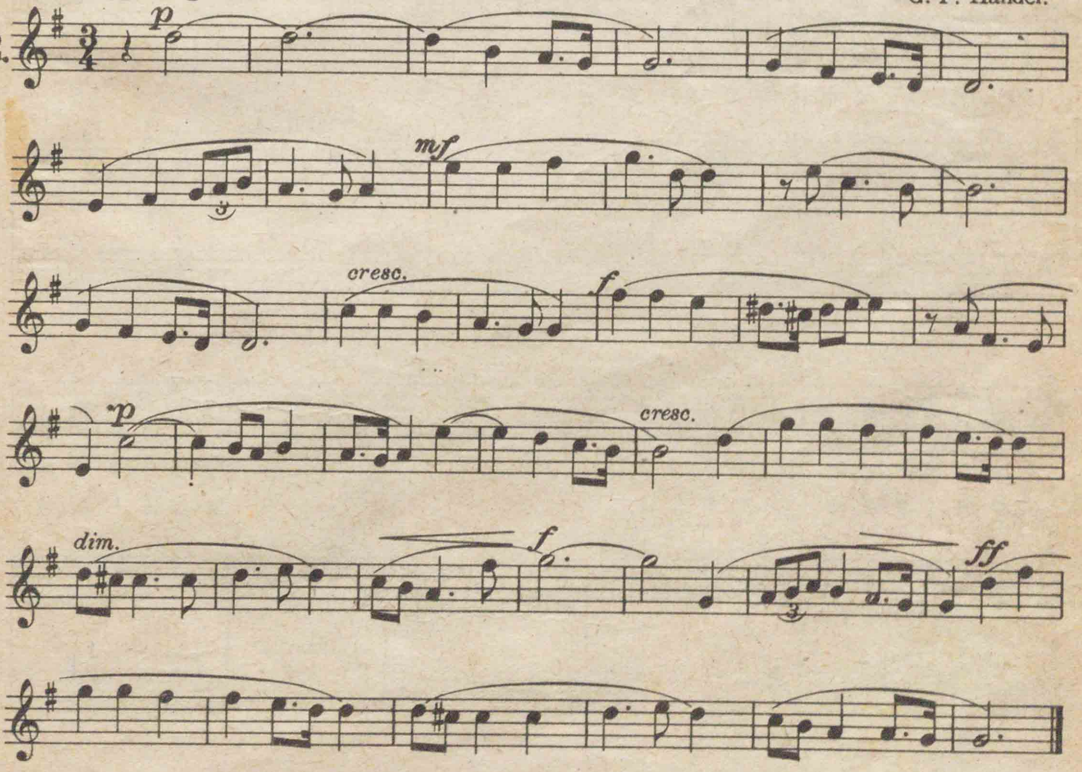
21.



後略

〔鑑賞〕

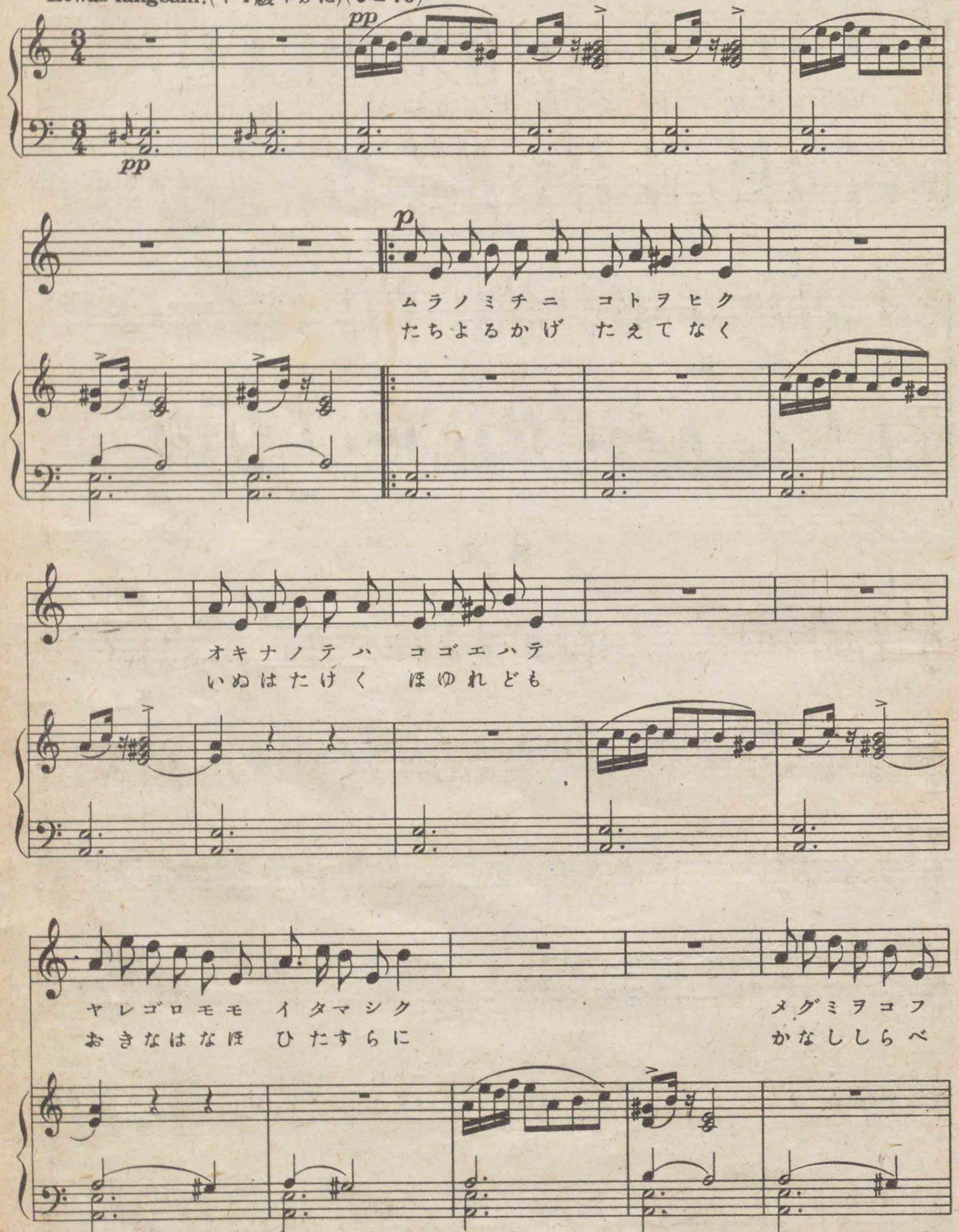
### ラルゴ

**Largo legato.** G. F. Händel.

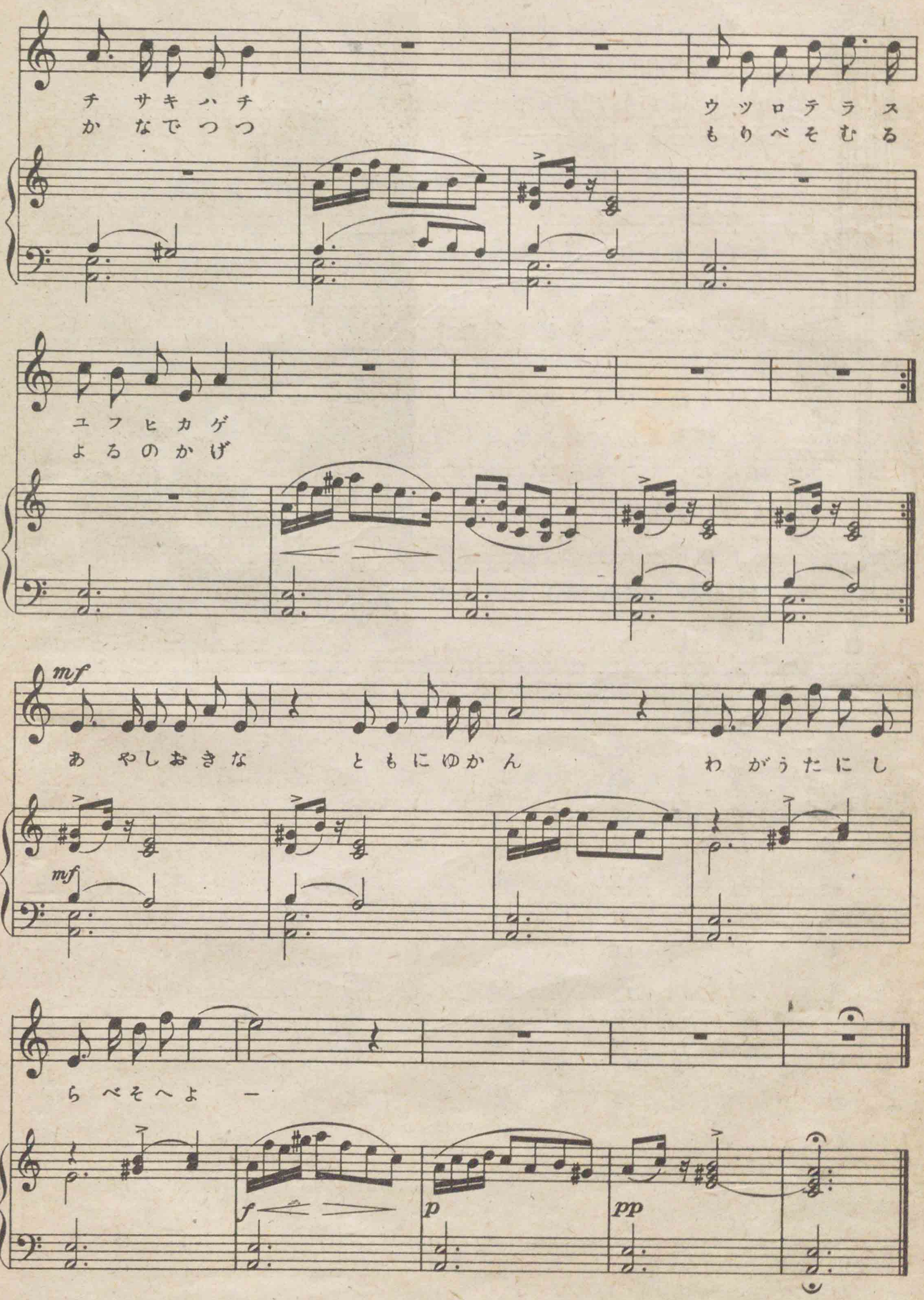
22.


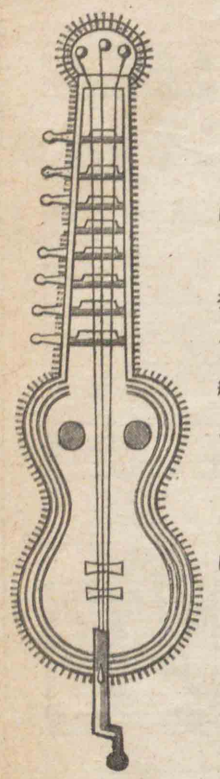
# 辻音樂師

Etwas langsam.(やゝ緩やかに)(♩.=76) Schubert.







ミューラーの「辻音樂師」(Leiermann, 獨)はハーディガーディを奏する老人を歌つたものである。シューベルトはこの樂器の音を模して作曲した。ハーディ・ガーディは把手を廻して，輪の摩擦によつて發音せしめる絃樂器で，約オクターヴの鍵盤を備へてゐる。

中世期にはオルガニストルムといふものが教會等にも行はれた。左はその圖を示したものである。

右圖はハーディ・ガーディ(Hurdy-gurdy, 英)を奏する盲老人。

## 辻音樂師（ミューラー詩）

水田詩仙　譯詞

村の道に琴をひく
　老翁の手は凍えはて
破れ衣も　痛ましく
　惠を乞ふ　小さき鉢
空てらす　夕日影

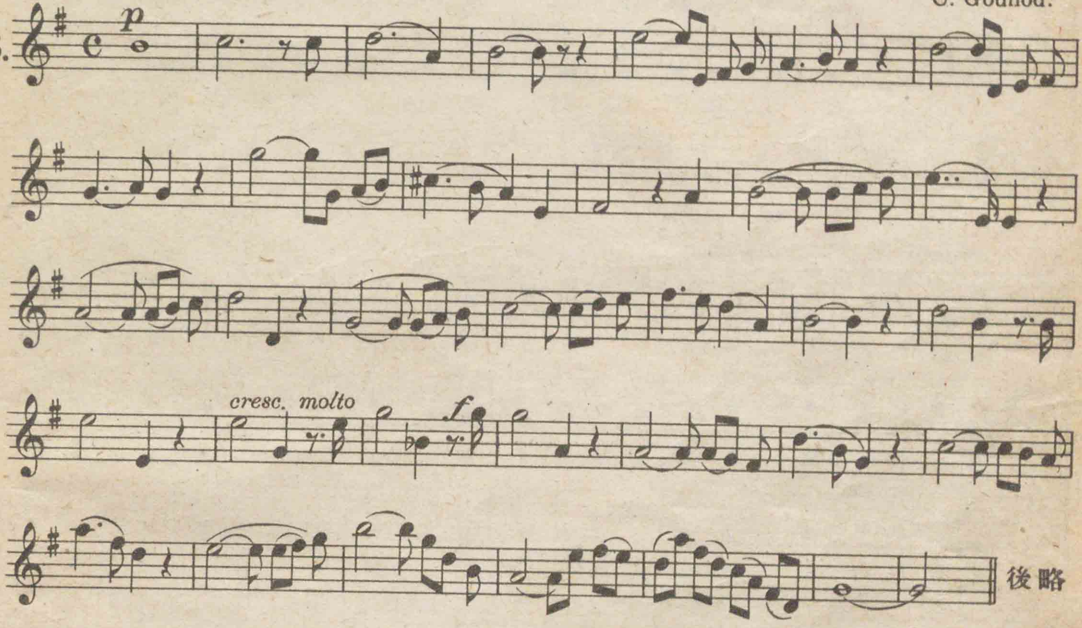
立ち寄るかげ　絶えてなく
　犬は猛く　吠ゆれども
老翁はなほ　ひたすらに
　かなししらべ　かなでつゝ
森邊そむる　夜の影

あやし老翁　ともにゆかん
わが詩に　しらべ添へよ

**グーノー** (Charles Gounod, 1818 — 1893) はパリーに生れ，幼少の頃より母について音樂教育を受け，十九歳にしてパリー國立音樂院に學んだ。後歐洲諸國を遍歷し，作曲を勵んだ。宗教音樂にも貢獻する所あつたが，彼の功績は又歌劇にあり「**ファウスト**」「**ロメオとジュリエット**」等はその傑作として知られてゐる。又「**アヴェ・マリア**」「**夜の調**」の如き美しい歌曲をも遺した。

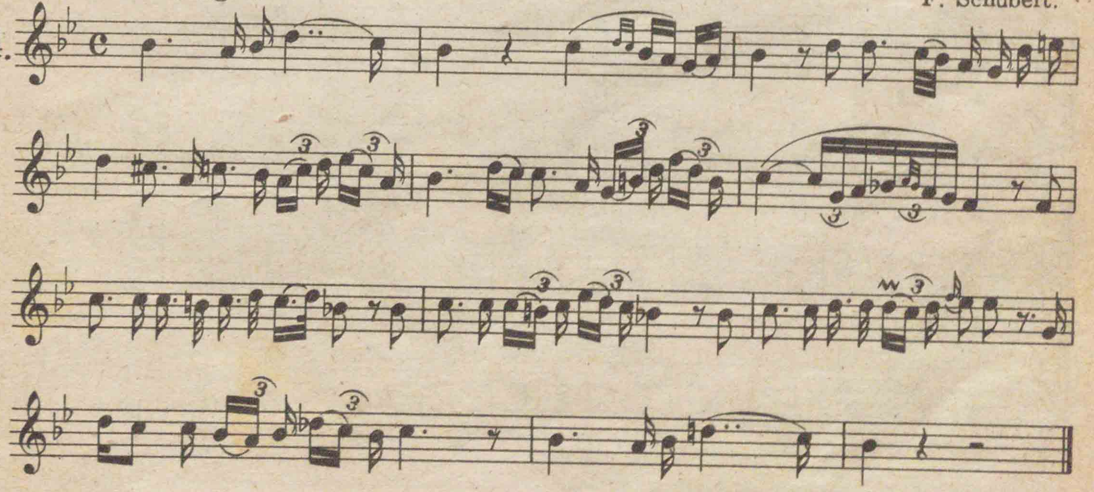
〔鑑賞〕
### アヴェ・マリア

Moderato.　　C. Gounod.

23.


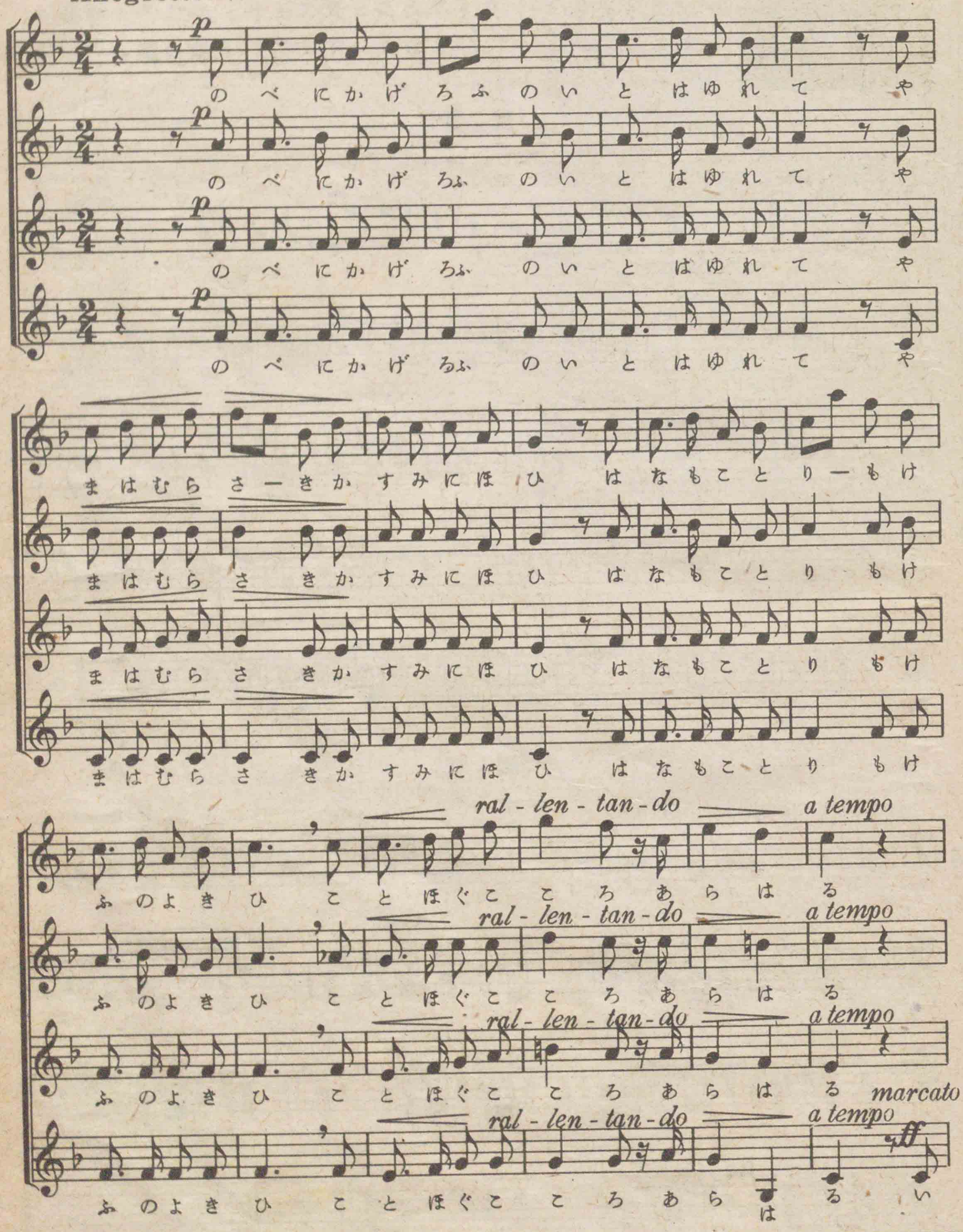

〔鑑賞〕
### アヴェ・マリア

Molto adagio.　　F. Schubert.

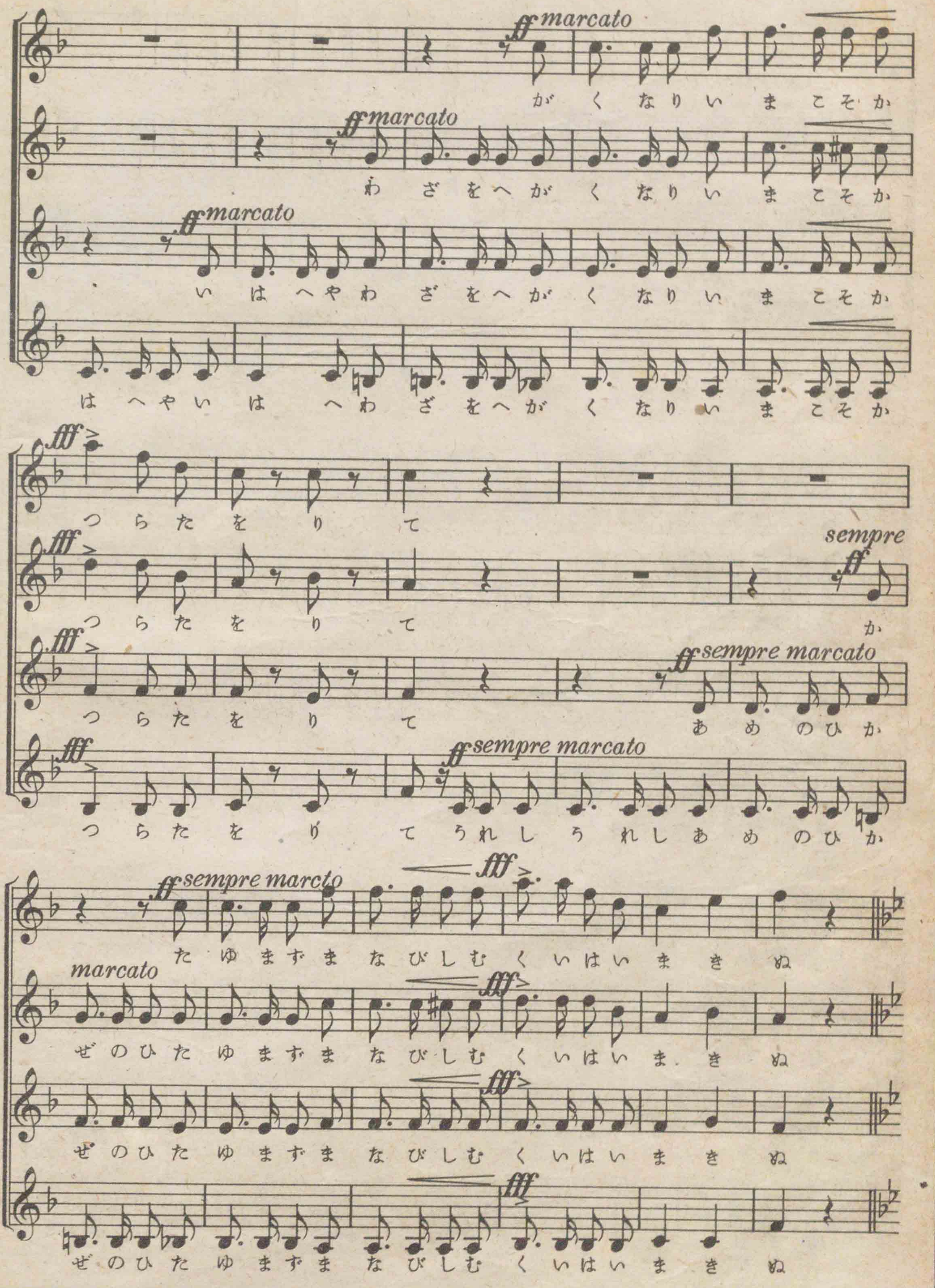
24.


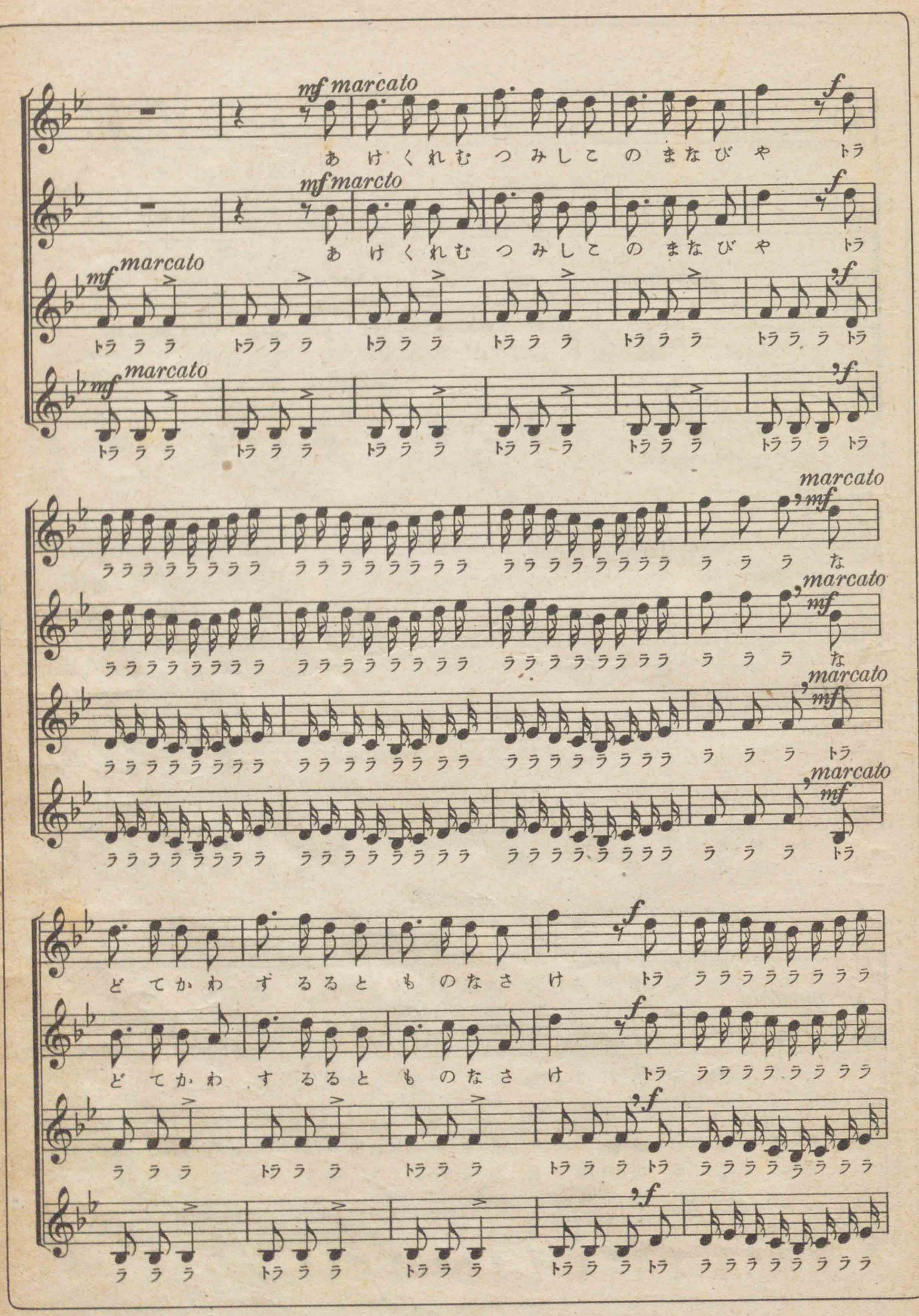
# 春の祝歌

**Allegretto.** (♩ = 104) A.J. Södermann.

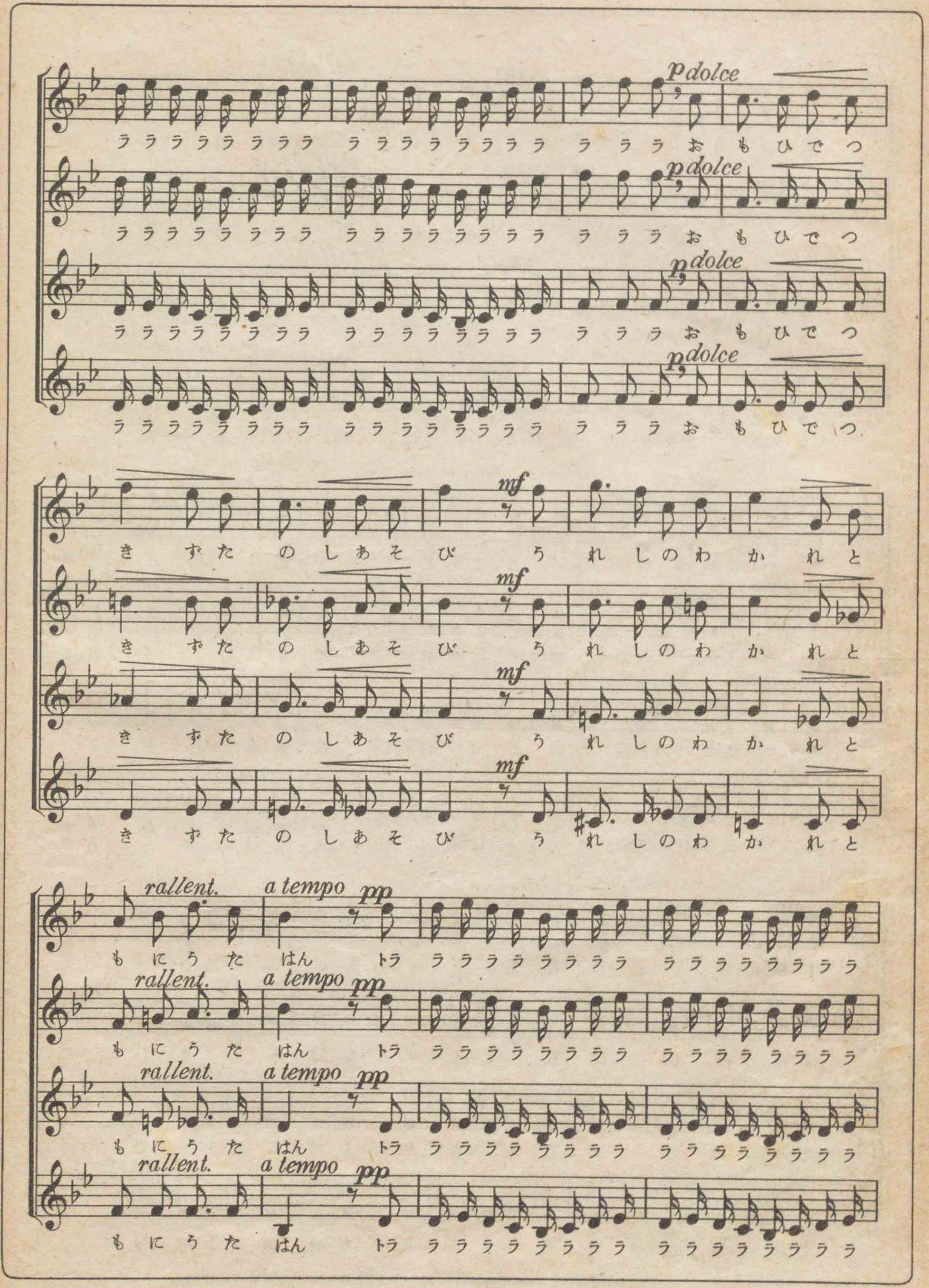


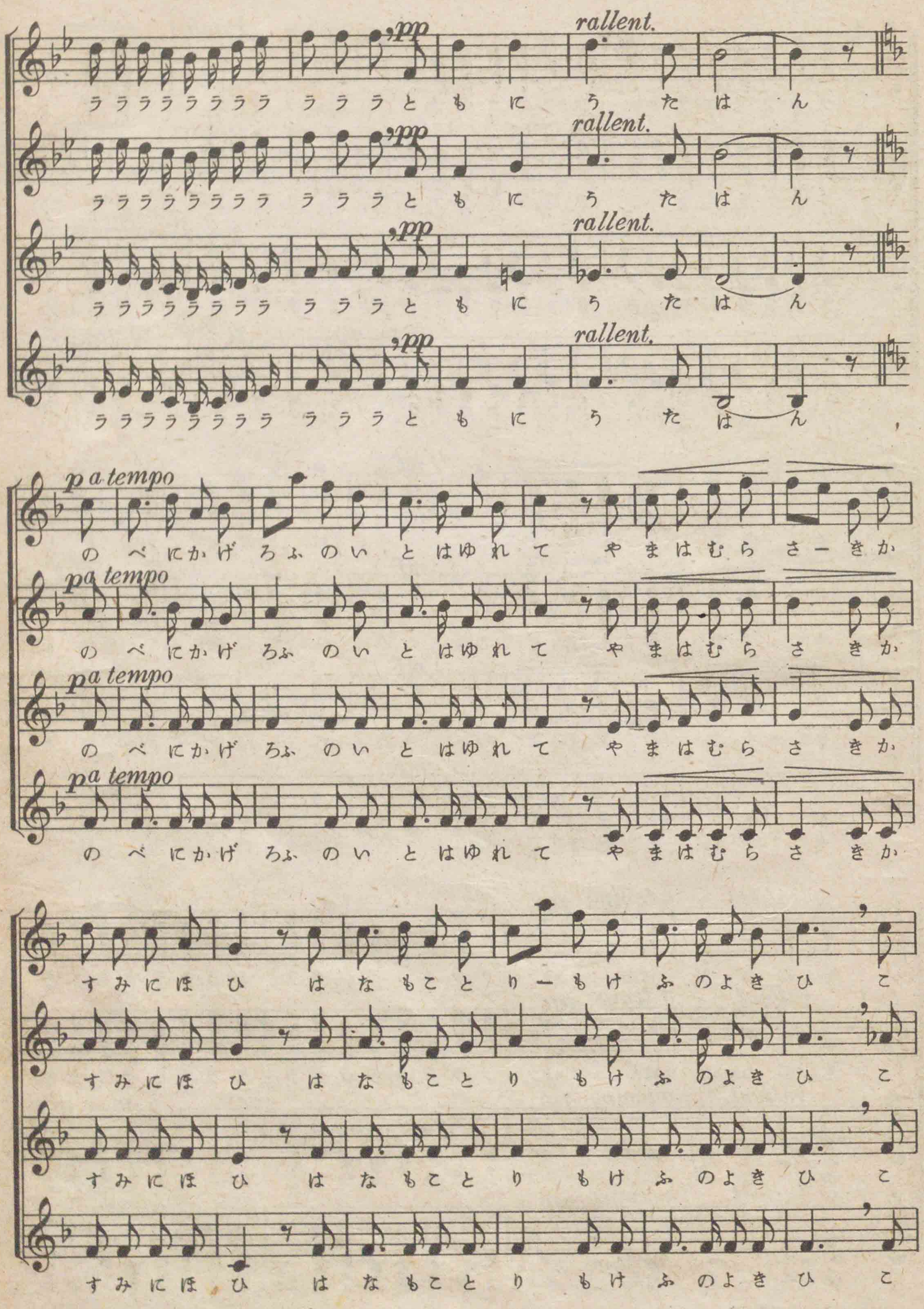


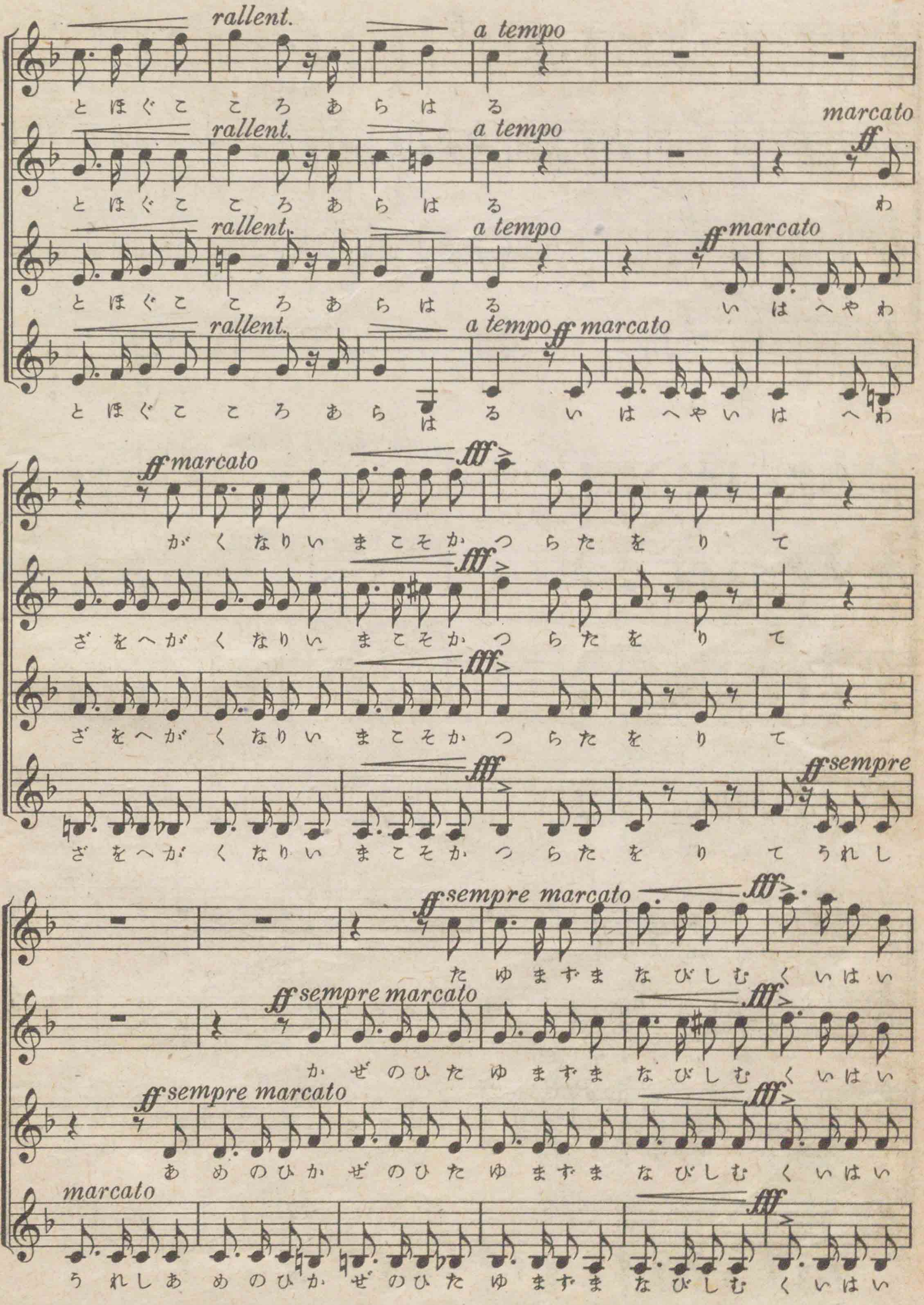

mf marcato
あけくれむつみしこのまなびや トラ
mf marcto
あけくれむつみしこのまなびや トラ
mf marcato
トラララ トラララ トラララ トラララ トラララ トラララトラ
mf marcato
トラララ トラララ トラララ トラララ トラララ トラララトラ
marcato mf
ララララララララ ララララララララ ララララララララ ラララな
marcato mf
ララララララララ ララララララララ ララララララララ ラララな
marcato mf
ララララララララ ララララララララ ララララララララ ラララトラ
marcato mf
ララララララララ ララララララララ ララララララララ ラララトラ
f
どてかわするるとものなさけ トラ ララララララララ
f
どてかわするるとものなさけ トラ ララララララララ
f
ラララ トラララ トラララ トラララトラ ララララララララ
f
ラララ トラララ トラララ トラララトラ ララララララララ

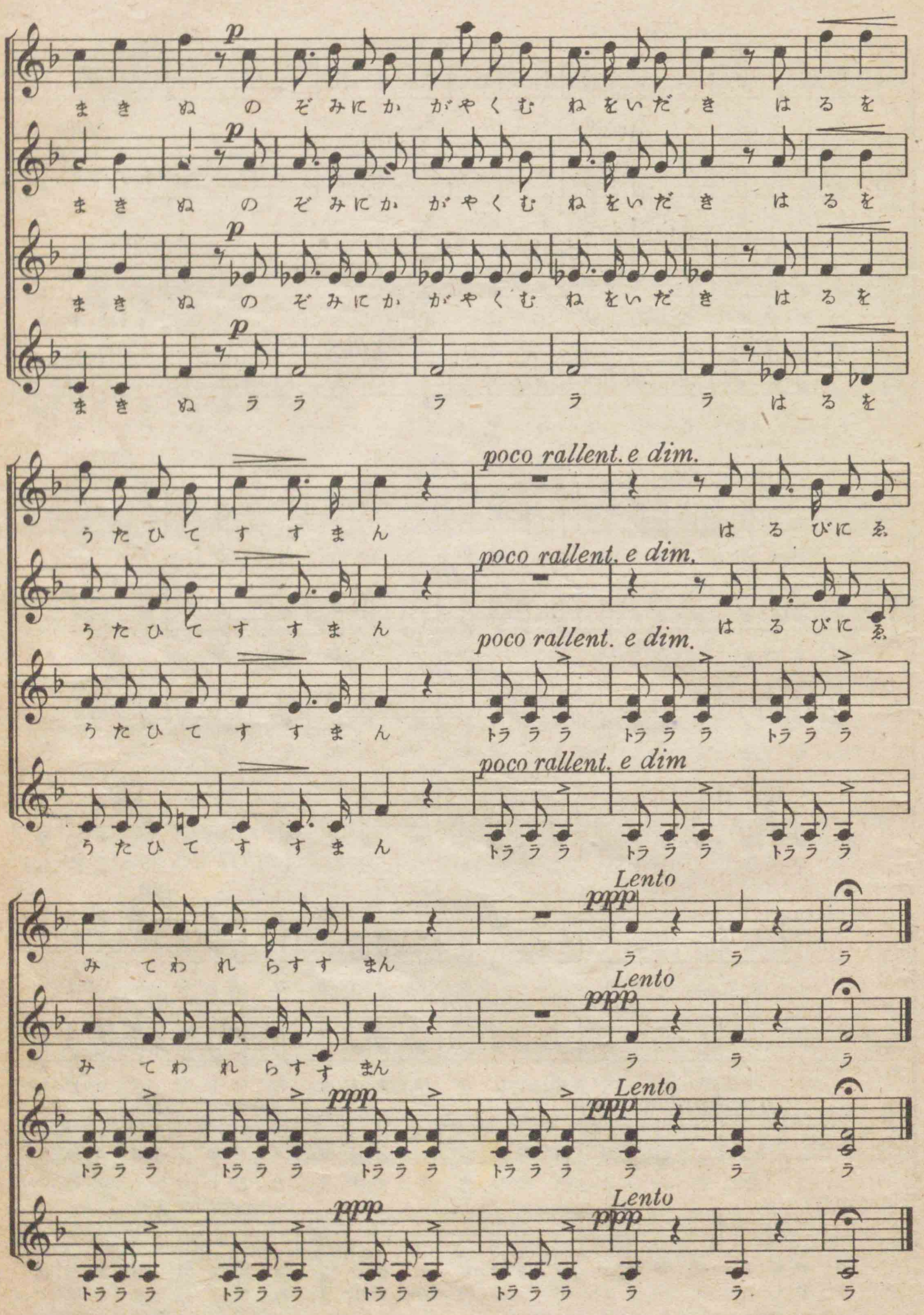



p dolce
ララララララララ ララララララララ ラララおもひでつ
p dolce
ララララララララ ララララララララ ラララおもひでつ
p dolce
ララララララララ ララララララララ ラララおもひでつ
p dolce
ララララララララ ララララララララ ラララおもひでつ
mf
きずたのしあそび うれしのわかれと
mf
きずたのしあそび うれしのわかれと
mf
きずたのしあそび うれしのわかれと
mf
きずたのしあそび うれしのわかれと
rallent. a tempo pp
もにうたはん トラ ララララララララ ララララララララ
rallent. a tempo pp
もにうたはん トラ ララララララララ ララララララララ
rallent. a tempo pp
もにうたはん トラ ララララララララ ララララララララ
rallent. a tempo pp
もにうたはん トラ ララララララララ ララララララララ


pp
rallent.
ラララララララララ ラ ラ ラ と も に う た は ん
pp
rallent.
ラララララララララ ラ ラ ラ と も に う た は ん
pp
rallent.
ラララララララララ ラ ラ ラ と も に う た は ん
pp
rallent.
ラララララララララ ラ ラ ラ と も に う た は ん
p a tempo
の べ に か げ ろ ふ の い と は ゆ れ て や ま は む ら さ ー き か
p a tempo
の べ に か げ ろ ふ の い と は ゆ れ て や ま は む ら さ き か
p a tempo
の べ に か げ ろ ふ の い と は ゆ れ て や ま は む ら さ き か
p a tempo
の べ に か げ ろ ふ の い と は ゆ れ て や ま は む ら さ き か
す み に ほ ひ は な も こ と り ー も け ふ の よ き ひ こ
す み に ほ ひ は な も こ と り も け ふ の よ き ひ こ
す み に ほ ひ は な も こ と り も け ふ の よ き ひ こ
す み に ほ ひ は な も こ と り も け ふ の よ き ひ こ




rallent.
a tempo
と ほ ぐ こ こ ろ あ ら は る
rallent.
a tempo
marcato
ff
と ほ ぐ こ こ ろ あ ら は る わ
rallent.
a tempo
ff marcato
と ほ ぐ こ こ ろ あ ら は る い は へ や わ
rallent.
a tempo
ff marcato
と ほ ぐ こ こ ろ あ ら は る い は へ や い は へ わ
ff marcato
fff
が く な り い ま こ そ か つ ら た を り て
fff
ざ を へ が く な り い ま こ そ か つ ら た を り て
fff
ざ を へ が く な り い ま こ そ か つ ら た を り て
fff
ff sempre
ざ を へ が く な り い ま こ そ か つ ら た を り て う れ し
ff sempre marcato
fff
た ゆ ま ず ま な び し む く い は い
ff sempre marcato
fff
か ぜ の ひ た ゆ ま ず ま な び し む く い は い
ff sempre marcato
fff
あ め の ひ か ぜ の ひ た ゆ ま ず ま な び し む く い は い
marcato
fff
う れ し あ め の ひ か ぜ の ひ た ゆ ま ず ま な び し む く い は い






# 春の祝歌

野邊に陽炎(かげろふ)の　糸は搖れて
山はむらさき　霞にほひ
花も小鳥も　今日の佳き日
ことほぐ心　あらはる
祝へや　祝へ　業終へ學就り
今こそ桂手折りて
嬉し　嬉し
雨の日風の日　たゆまず學びし
應報(むくい)は今來ぬ
明暮睦みし　この學舍 *
などてか忘る、　友の情 *
憶ひ出盡きず　樂し遊び
嬉しの訣別　共に歌はん *
共に歌はん

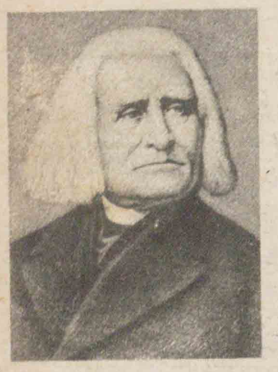
---

藤　村　俊

野邊に陽炎の　糸は搖れて
山はむらさき　霞にほひ
花も小鳥も　今日の佳き日
ことほぐ心　あらはる
祝へや　祝へ　業終へ學就り
今こそ桂手折りて
嬉し　嬉し
雨の日風の日　たゆまず學びし
應報は今來ぬ
希望(のぞみ)に輝く　胸をいだき
春を歌ひて　進まん
春日(はるび)に笑みて　われら進まん *

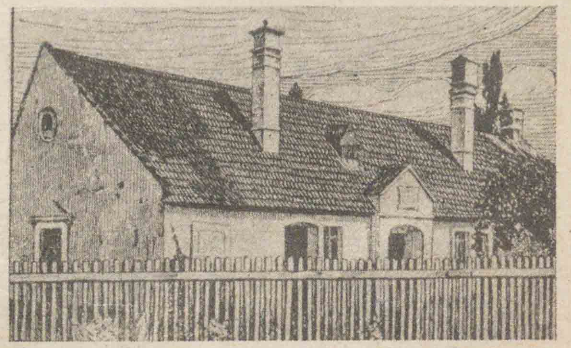
（注意）曲に於いては(*)の部分にトラララと歌ふ經過部があるが、歌詞には便宜上之を省略した。

# リ ス ト



**リスト**（Franz Liszt, 1811—1886）は古今のピアノ演奏の王者とせられてゐる。批評家は「リストの前にリストなくリストの後にリストなし」と絶讚した。彼はハンガリーの一寒村に生れ幼少より樂才を表はし，父も又オルガンの名手として知られてゐた。後アイゼンスタツトに移り，神童の名を謳はれ，フンメル，ツエルニー等につきピアノを修業したが，既に十二歲にして世界第一の名譽を得た。ベートーヴェンも此の少年の演奏を聞き感激のあまりステーヂに上り抱擁したとも傳へられる。後英，伊，露其他の各國都市を歴訪し，到る處絕大なる成功を得，晩年女婿ワグナーの「**聖杯**」の試演等に奔走して遂に高齢を以て歿した。彼はピアノ演奏家としてのみならず，作曲家としても有名である。其主なるものは十餘の交響詩曲，十五の「**ハンガリア狂詩曲**」其他のピアノ曲，聖劇，歌謠曲等で，莊麗奔逸なる作風は彼の風𦒿を彷彿たらしめるものがある。彼は又指揮者，評論家としても一家をなした。

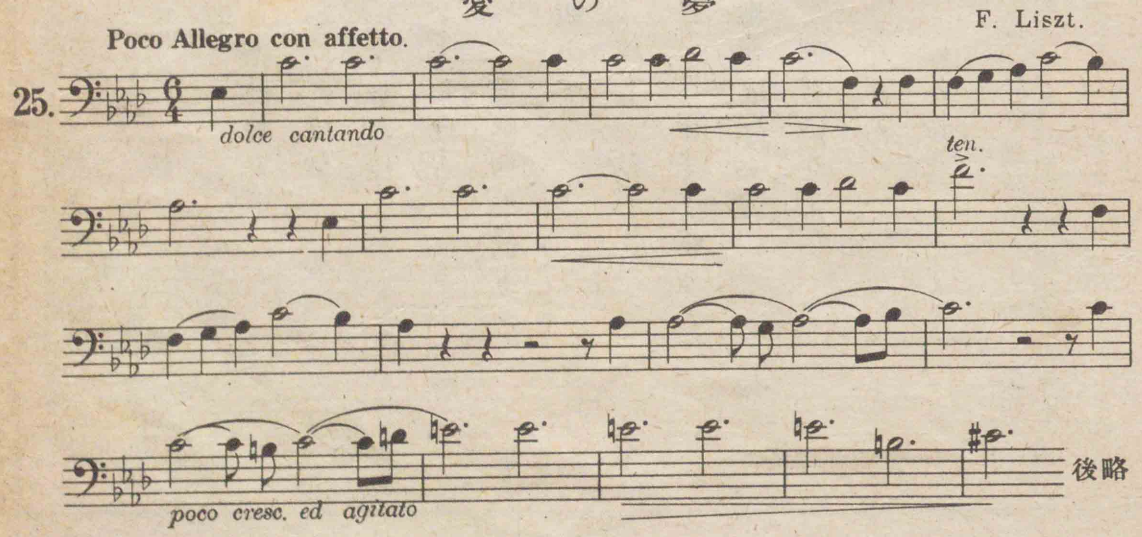
リストの死面



リストの生れた家

〔鑑 賞〕

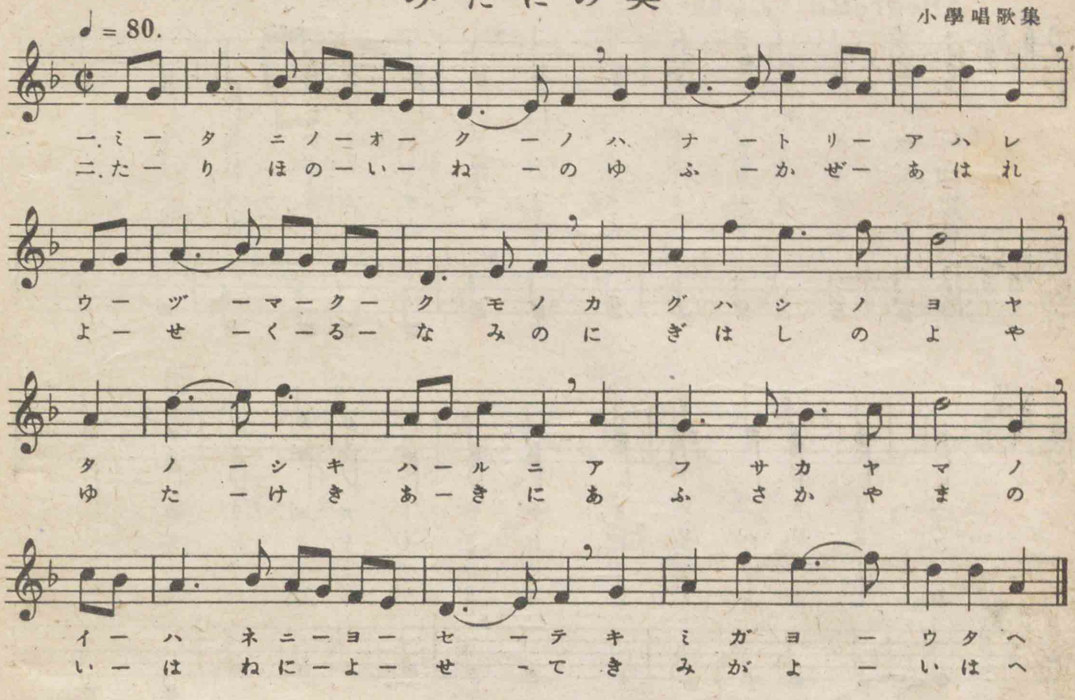
## 愛 の 夢





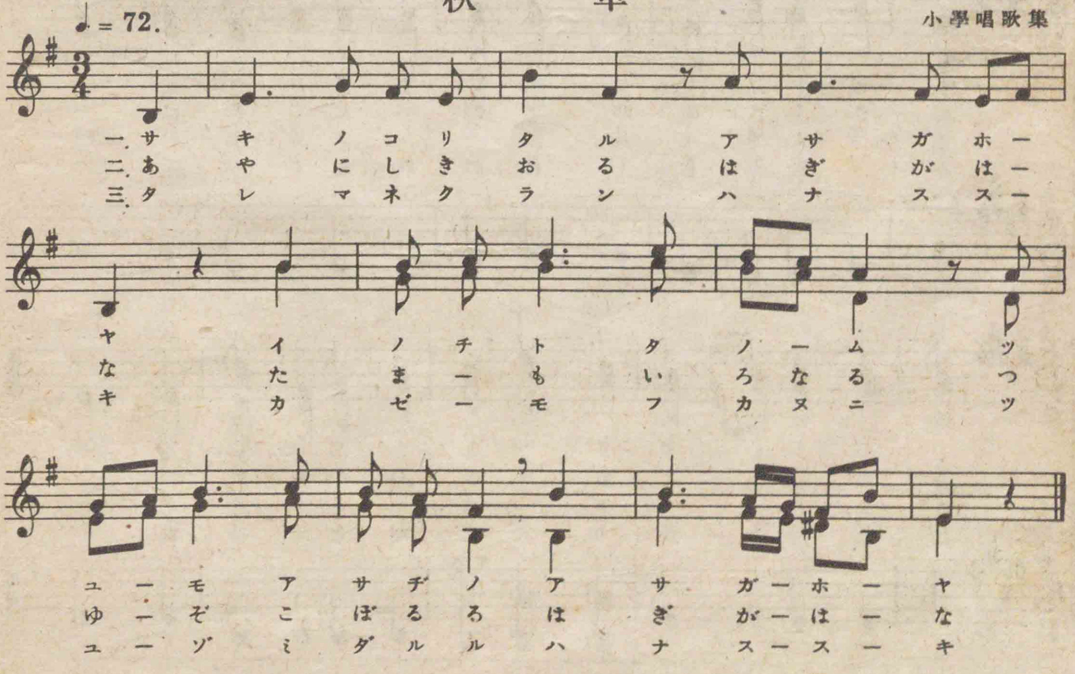

〔參考曲〕

## みたにの奥



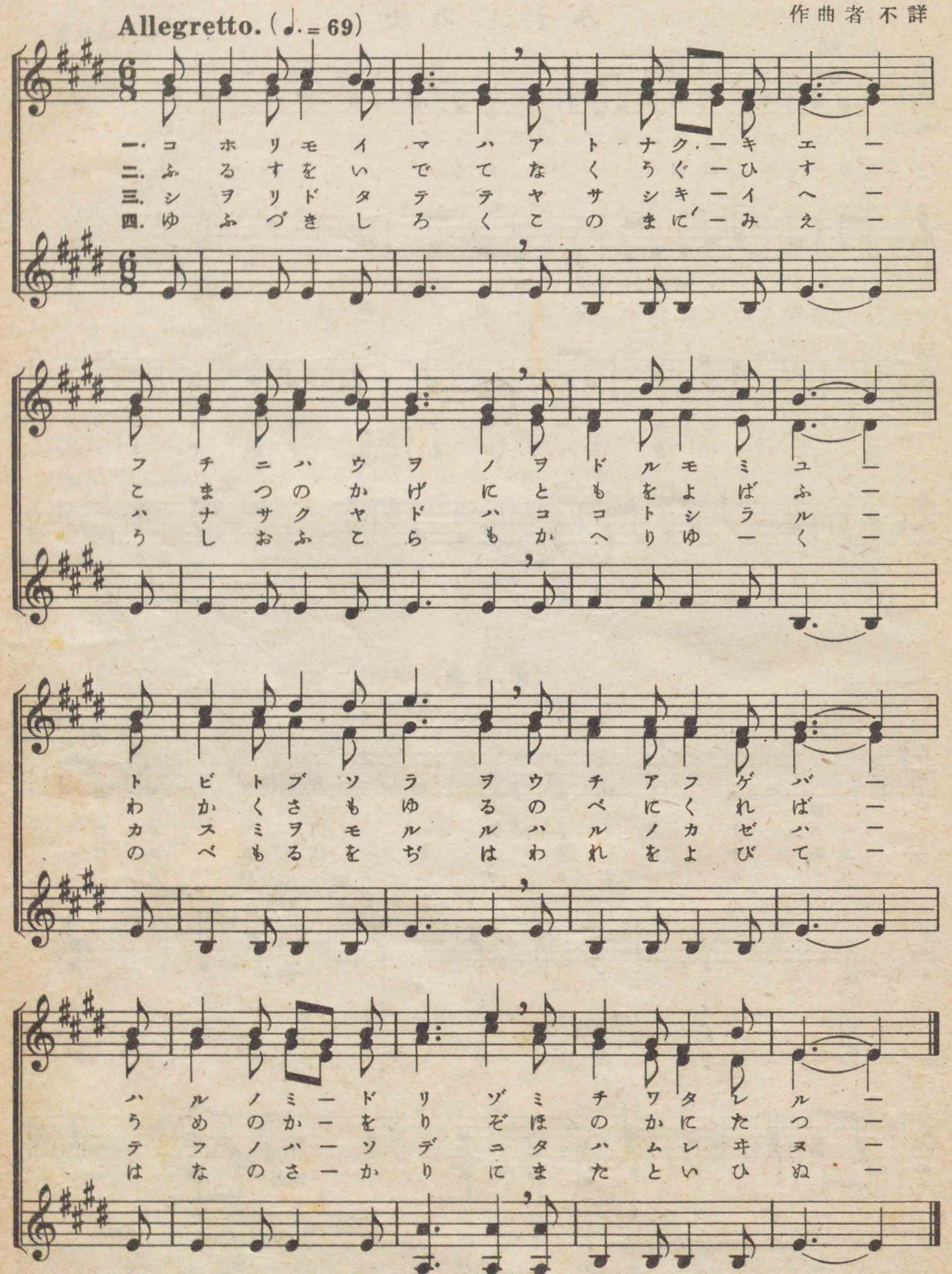

〔參考曲〕

## 秋 草



# 探梅

作曲者不詳






## 探梅

渡邊文雄

一

氷もいまは　あとなくきえ
ふちには魚の　をどるも見ゆ
鳶とぶ空を　うちあふげば
はるの綠ぞ　滿ちわたれる

二

古巣をいでゝ　なくうぐひす
小松のかげに　友を呼ばふ
わかくさ萌ゆる　野邊に來れば
梅のかをりぞ　ほのかにたつ

三

枝折戸たてゝ　やさしき家
はな咲く宿は　こゝと知らる
霞をもるゝ　春のかぜは
蝶の羽袖に　たはむれ居ぬ

四

夕月しろく　木の間に見え
牛追ふ子らも　かへり行く
野邊守る老翁（をぢ）は　われを呼びて
「花のさかりに　復（また）」といひぬ

## 〔参考〕六　ワグナー

**ワグナー** (Wilhelm Richard Wagner, 1813 — 1883) 彼は歌劇に一大轉機を與へたのみならず，ドイツ音樂の頂上を築いた巨人である。彼はライプチッヒに生れ，生後間もなく父を失ひ，母の手に育てられた。初め宗教學校に入り，後大學で美學哲學を專攻し作曲をも研究してゐた。後マイエルベール等に師事し最初の出世作は歌劇「**リエンツィ**」で，次で「**彷へる和蘭人**」「**タンホイザー**」「**ローエングリン**」等を發表して時人に示したが，失敗に終つた。1849年政爭に關聯して十年許り英・佛にあり，ドイツに歸るや不朽の名作「**ニーベルンゲンの指環**」の四部作を試み，後理想の歌劇場をバイロイトに建てた。此外に「**トリスタンとイソルデ**」「**聖杯**」等の名作があるが何れも古傳說に題材を求めたもののみである。彼は樂劇といふ語を用ひ，音樂內容については種々の特殊な新しい手法を取り入れ，作詩，演出，照明等を一切彼自身で完成した。之を以て彼は綜合藝術の理想へ到達せんとしたのである。彼の作曲は，彼の主張の如く，悉く樂劇に於てなされ，此中に含まれる聲樂，器樂の樣式は多音的音樂の極致で，これを轉機として音樂は古典懷古派と近代派に分立する傾向となつた。

上ライプチッヒのワグナーの生家，下ワグナーの家庭　左からコジマ夫人(リストの愛孃)ワグナー、リスト及び友人。



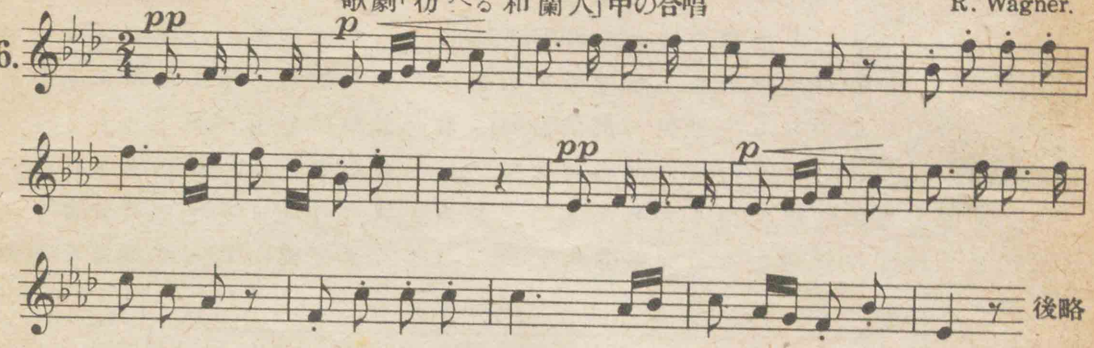
〔鑑賞〕

### 紡ぎ歌

歌劇「彷へる和蘭人」中の合唱

Allegretto.　　R. Wagner.

26.

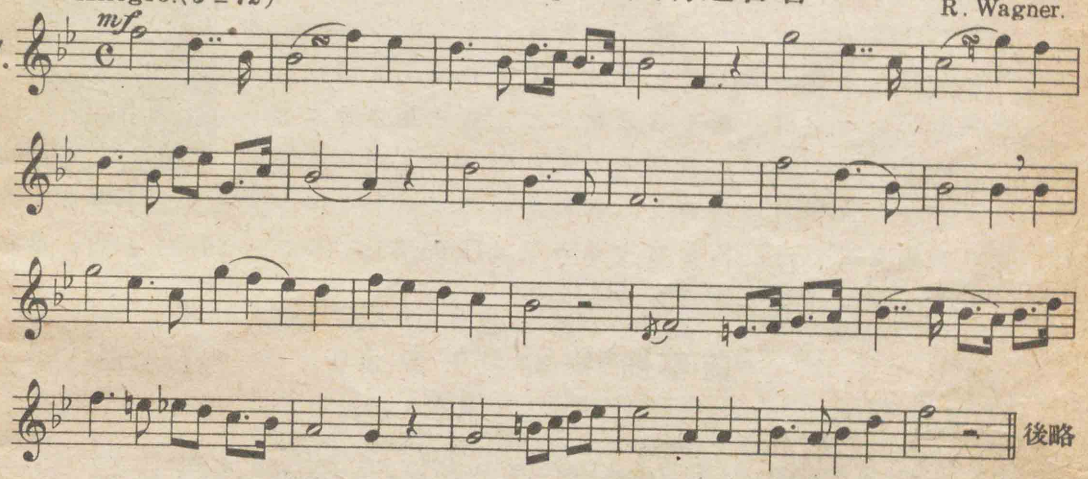



〔鑑賞〕

### 歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱

Allegro.(♩=72)　　R. Wagner.

27.

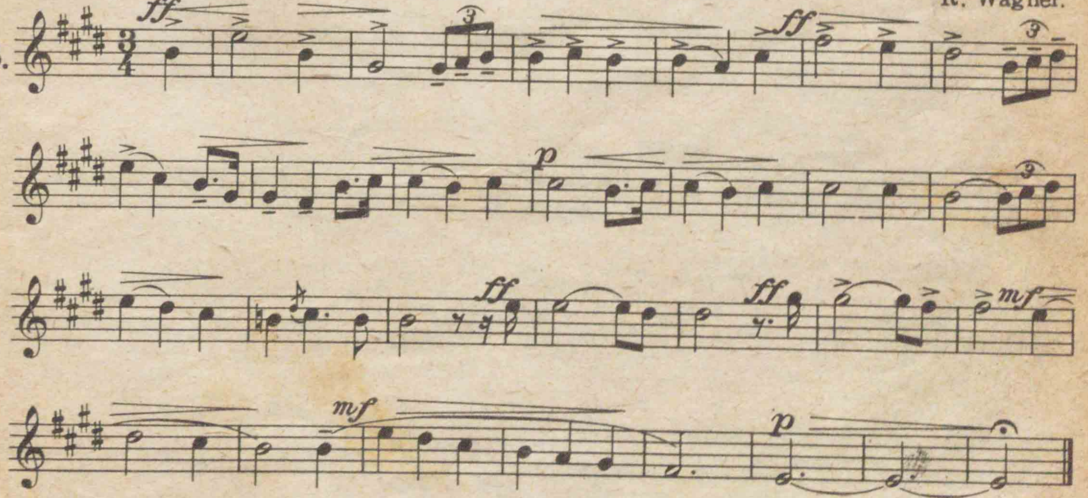



〔鑑賞〕

### 歌劇「タンホイザー」中の順禮の合唱

Andante maestoso.　　R. Wagner.

28.



**ドビュッスイ** (Claud Achille Debussy 1862—1918) はフランスのサン．ジェルメン．アン．レーイといふ小さな町に生れ1873年パリー音樂院に入學し，此所で十一年間も研究した。二十二歳の時ローマ賞を得てローマに遊學し，後パリーに歸つて歌謠曲に器樂曲に劃期的な發表をして時人を驚かした。中にも十年間の推敲を經て發表した歌劇「ペレアスとメリサンド」は彼の全精力を傾倒したものである。此の他「牧神の午後」「海」等の管絃樂曲も著名なものである。彼の作風はロマン派音樂の爛熟の後をうけて，勇敢にも**印象派音樂**を樹立して近代音樂の動向に異常なる刺戟を與へた。

---

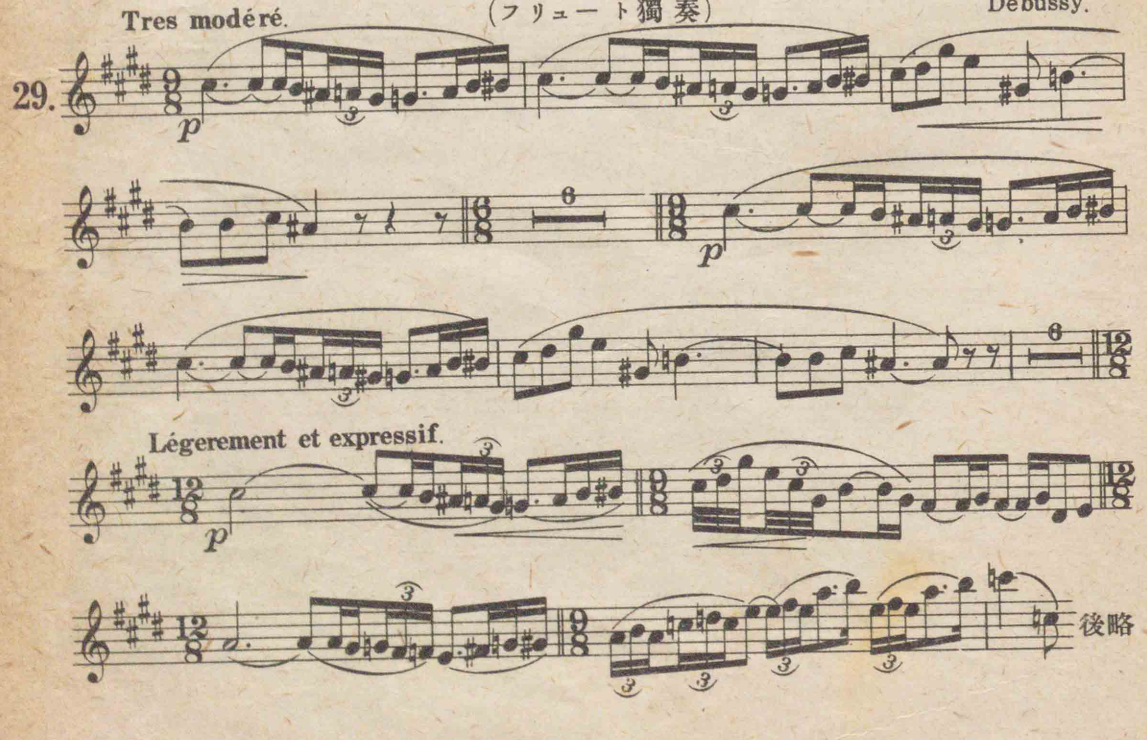
**リヒァルト．シュトラウス** (Richard Strauss 1864—現存) はドイツのミュニッヒ生れの現代ドイツが有する最大の音樂家である。彼は宮廷オーケストラのホルン奏者の子として生れ，四歳の頃から嚴格なる音樂教育を受け，天才的樂才を現はした。彼は古典派，ロマン派の流を近代化して，所謂**新ロマン派**を築いたもので，その作品に音詩といはれる「死と淨化」「英雄の生涯」等の交響詩曲があり，歌劇に「サメロ」「エレクトラ」「薔薇の騎士」等の名曲を書いた。彼は又**ヴォルフ** (Hugo Wolf 1860—1903) と共に歌謠作家としても重要なる位置にある。

[鑑賞]

## 前奏曲「牧神の午後」より

(フルート獨奏)

Debussy.

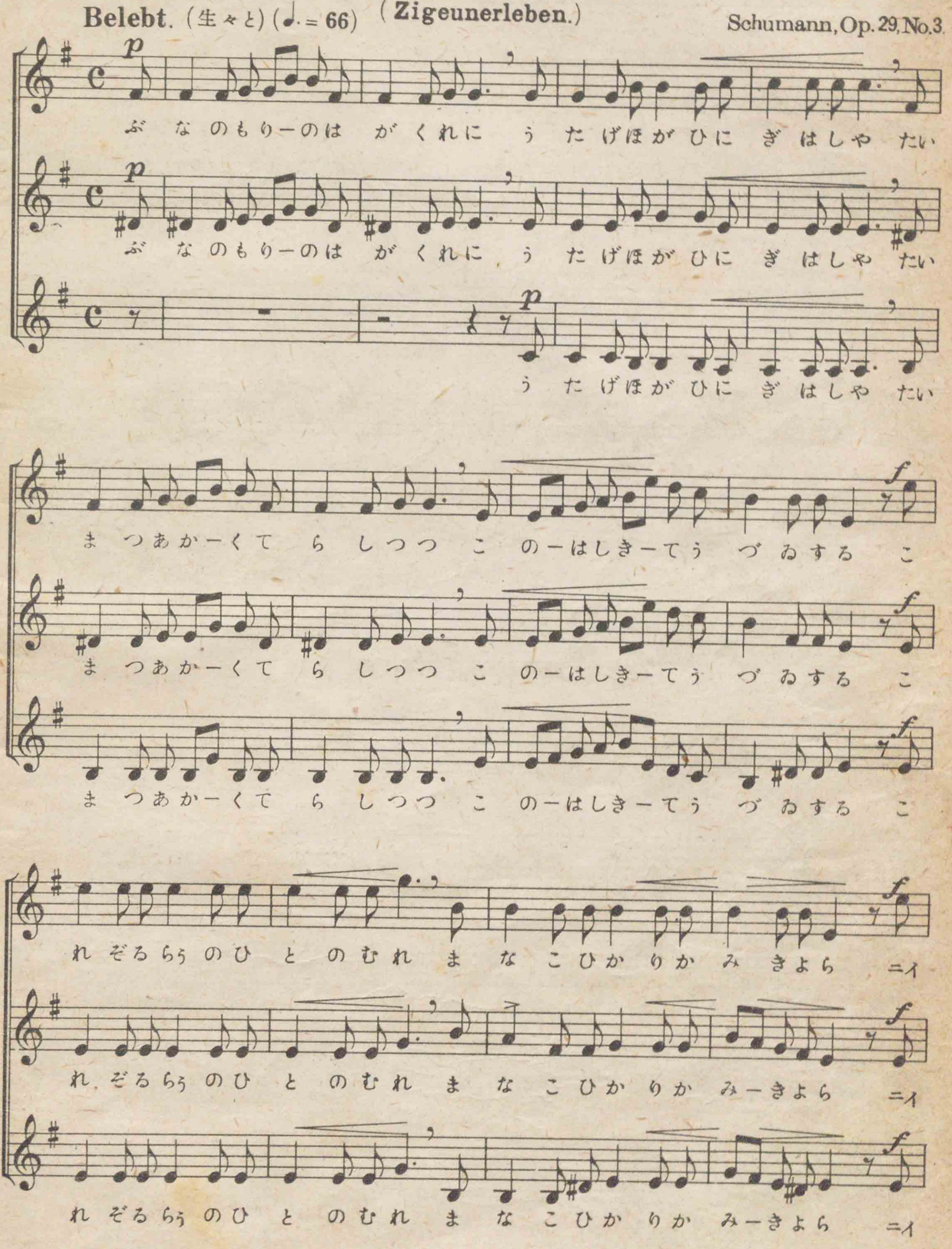


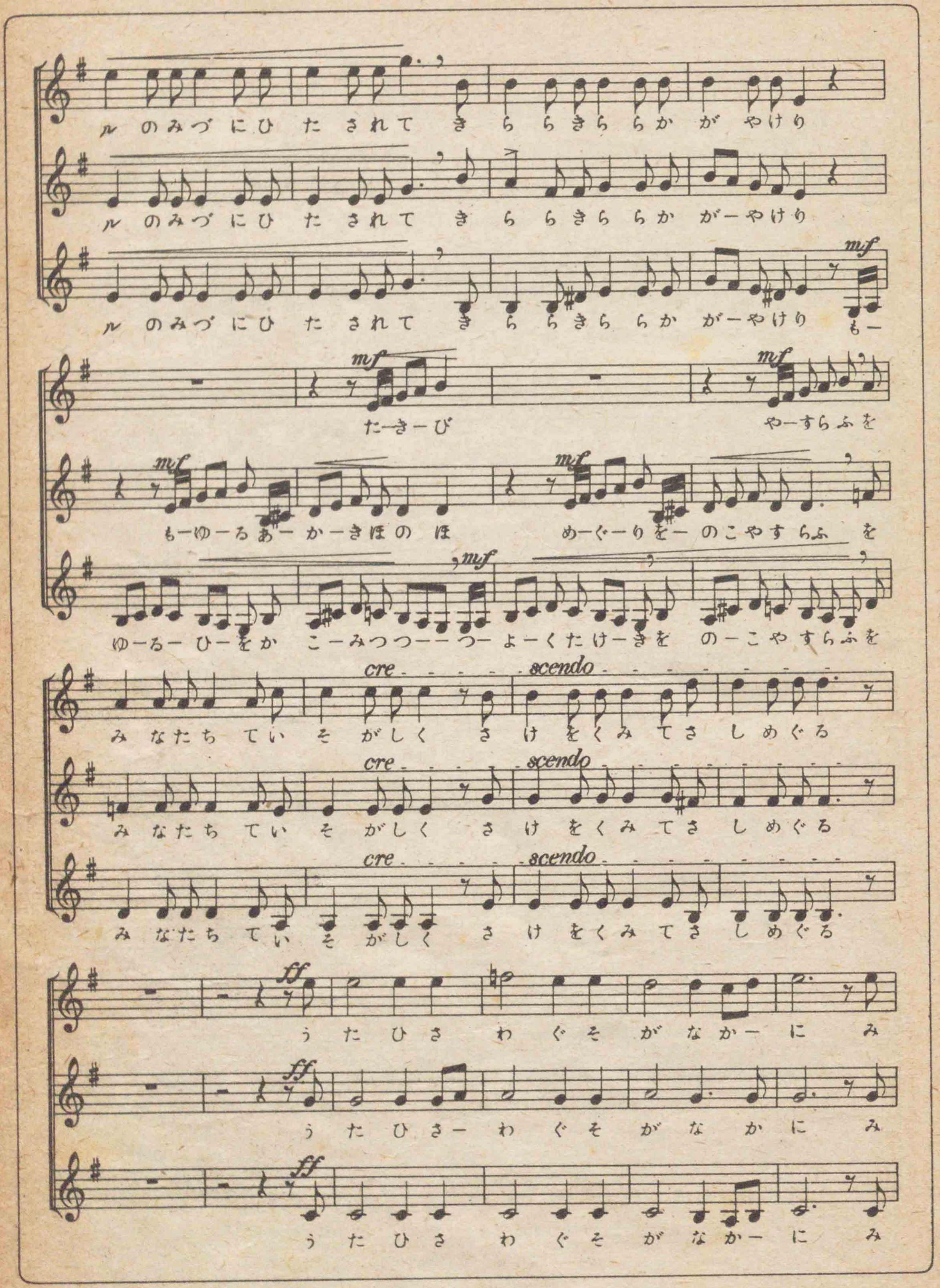



# 流浪の民

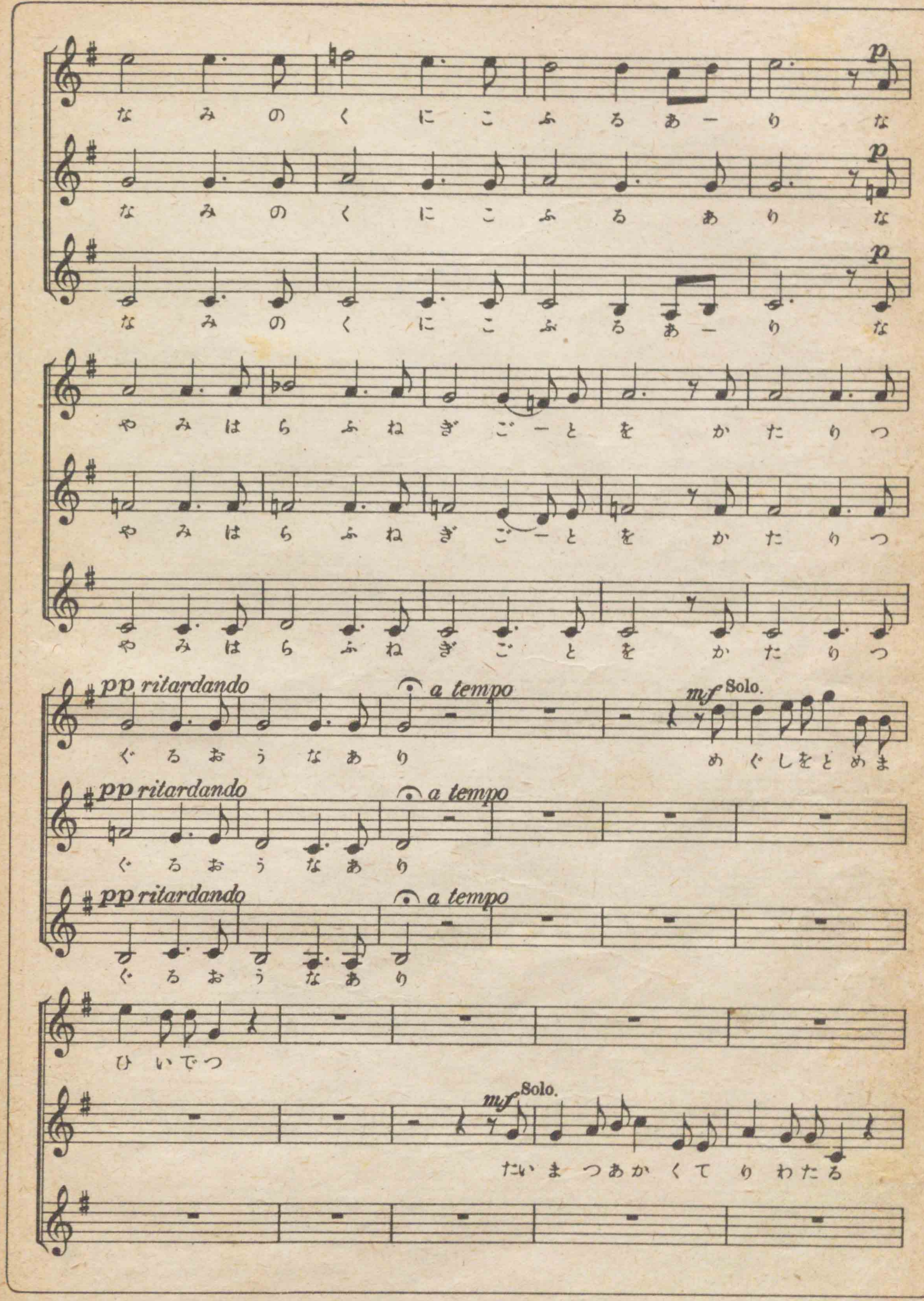
(Zigeunerleben.)

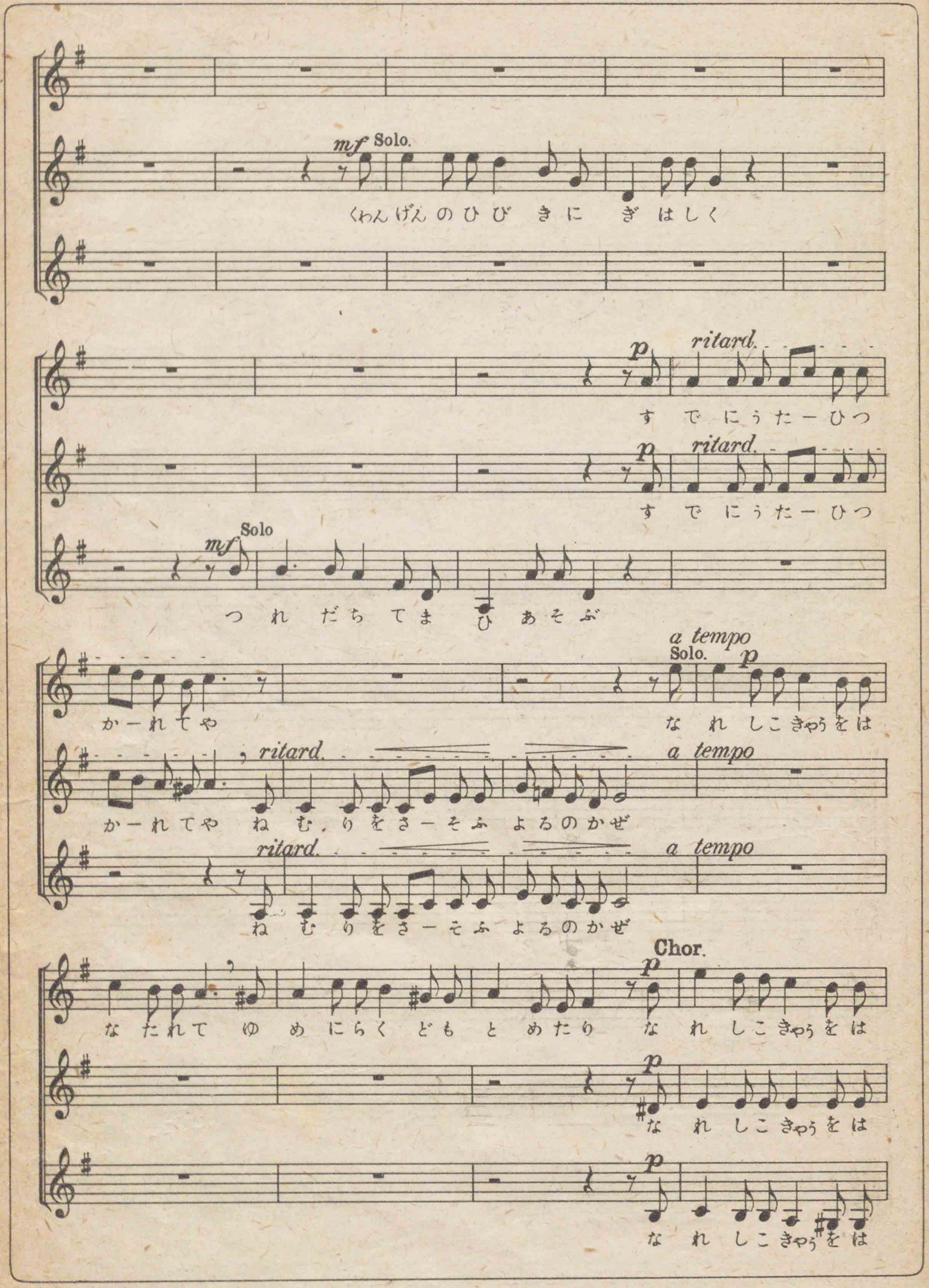
Schumann, Op. 29, No. 3.



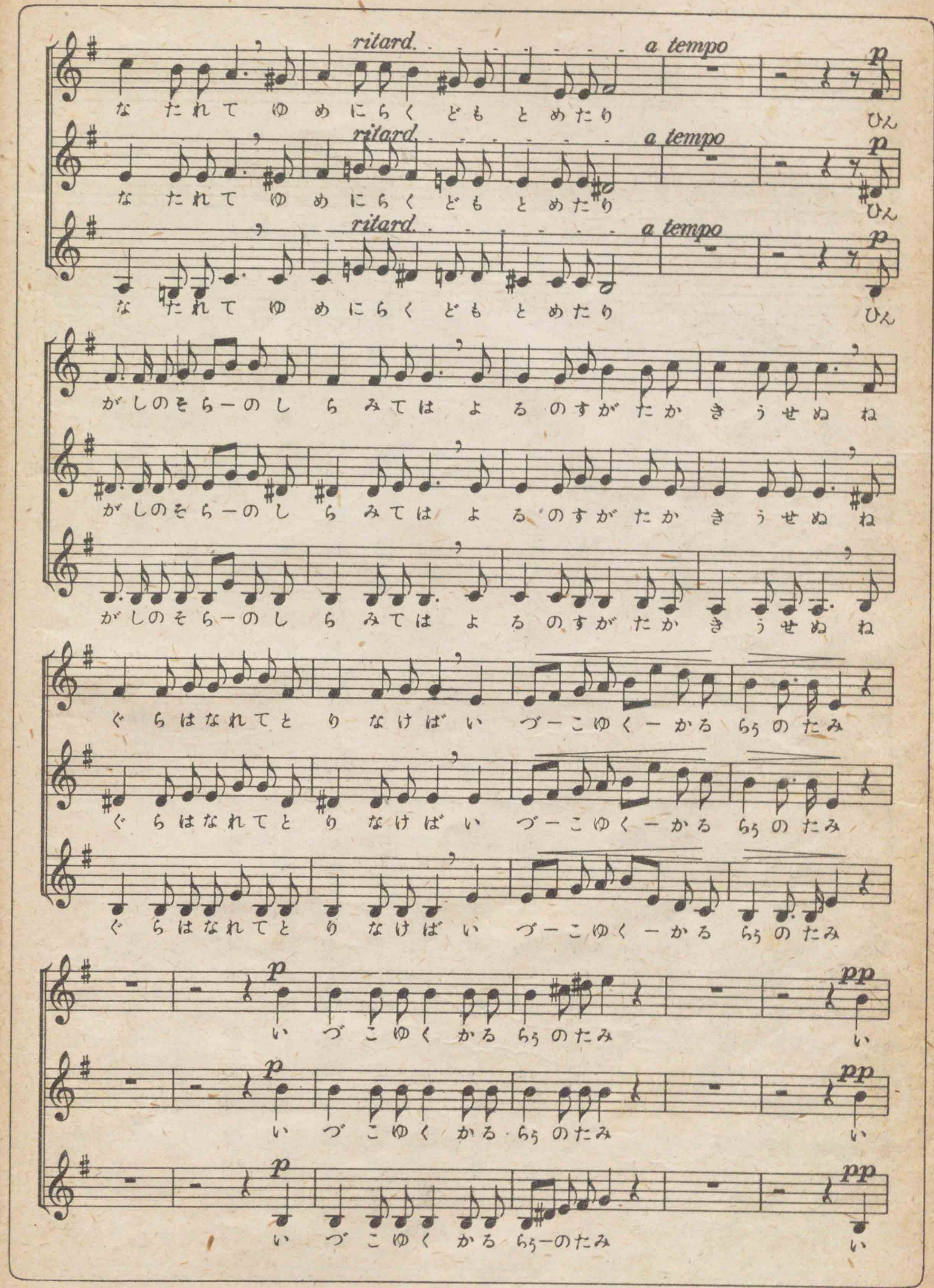

ルのみづにひたされて きららきららかがやけり
ルのみづにひたされて きららきららかがーやけり
ルのみづにひたされて きららきららかがーやけり もー
mf
たーきーび やーすらふを
もーゆーるあーかーきほのほ めーぐーりをーのこやすらふを
ゆーるーひーをか こーみつつーーつー よーくたけーきを のーこやすらふを
cre - - - - scendo
みなたちていそがしく さけをくみてさしめぐる
みなたちていそがしく さけをくみてさしめぐる
みなたちていそがしく さけをくみてさしめぐる
ff
うたひさわぐそがなかーにみ
うたひさーわぐそがなかにみ
うたひさわぐそがなかーにみ

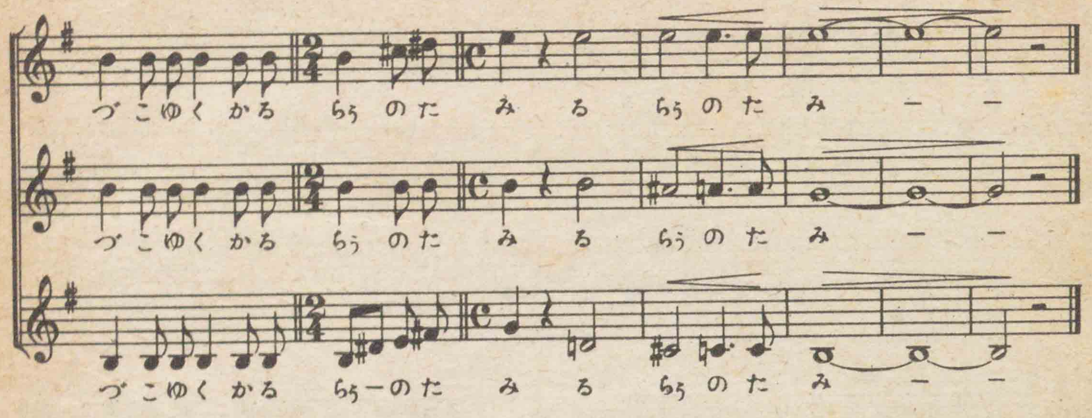



p
なみのくにこふるあーりな
なみのくにこふるありな
なみのくにこふるあーりな
やみはらふねぎごーとをかたりつ
やみはらふねぎごーとをかたりつ
やみはらふねぎごとをかたりつ
pp ritardando
a tempo
mf Solo.
ぐるおうなあり めぐしをとめま
ぐるおうなあり
ぐるおうなあり
ひいでつ
たいまつあかくてりわたる


mf Solo.
くわんげんのひびきにぎはしく
p ritard.
すでにうたーひつ
p ritard.
すでにうたーひつ
Solo mf
つれだちてまひあそぶ
a tempo Solo. p
かーれてや
なれしこきゃうをは
ritard. a tempo
かーれてや ねむりをさーそふよるのかぜ
ritard. a tempo
ねむりをさーそふよるのかぜ
Chor. p
なたれてゆめにらくどもとめたり なれしこきゃうをは
p
なれしこきゃうをは
p
なれしこきゃうをは




ritard. a tempo p
なたれてゆめにらくどもとめたり ひん
ritard. a tempo p
なたれてゆめにらくどもとめたり ひん
ritard. a tempo p
なたれてゆめにらくどもとめたり ひん
がしのそらーのしらみてはよるのすがたかきうせぬね
がしのそらーのしらみてはよるのすがたかきうせぬね
がしのそらーのしらみてはよるのすがたかきうせぬね
ぐらはなれてとりなけばいづーこゆくーかるらぅのたみ
ぐらはなれてとりなけばいづーこゆくーかるらぅのたみ
ぐらはなれてとりなけばいづーこゆくーかるらぅのたみ
p pp
いづこゆくかるらぅのたみ い
p pp
いづこゆくかるらぅのたみ い
p pp
いづこゆくかるらぅーのたみ い




## 流浪の民

石倉小三郎

山毛欅の森の葉がくれに
宴ほがひ賑はしや
松明あかく照らしつゝ
木の葉しきて倨居する
これぞ流浪のひとの群
眼ひかり髪きよら
ニイルの水に浸されて
きらゝ〳〵かゞやけり
(低音)燃ゆる火を圍みつゝ
強く猛き男子やすらふ
(高音)(焚火　やすらふ)
(中音)(燃ゆる赤き焔めぐり
(合唱)　男子やすらふ)
女たちて忙がしく
酒をくみてさしめぐる
歌ひさわぐそがなかに

---

南の國戀ふるあり
厄難はらふ祈言を
語り告ぐる嫗あり
(高音獨唱)可愛し少女舞ひ出でつ
(中音獨唱)一松明あかく照りわたる
(中音獨唱)二管絃のひゞき賑はしく
(低音獨唱)つれだちて舞ひ遊ぶ
(高音中音合唱)既に歌ひつかれてや
(中音低音合唱)眠りを誘ふ夜の風
(高音獨唱)なれし故郷を放たれて
夢に樂土求めたり
(合唱)なれし故郷を放たれて
夢に樂土求めたり
東の空のしらみては
夜の姿かきうせぬ
ねぐらはなれて鳥啼けば
何處ゆくか流浪の民



# 音樂の變遷

## 一　有史以前の音樂

**音樂の起原**……各民族はそれぞれその原始的生活に於いて，音樂を持つて居た事は，遺された繪畫・彫刻又は發掘物による研究によつて明かにされ，一方現存する未開人種の狀態によつて，ほゞ首肯すべき推理を得て居る。

彼等は概ね舞踊と同時的に音樂を用ひ，彼等の精神生活を司る宗教とは不可分のものとされてゐた。又團體的行動にも常に之を用ひた。

**樂器**……樂器は信號の用途から起り，集團の行動を指揮する事等の實際生活から，舞踊等のリズムを統整する爲に用ひられ，更に管・絃等のメロディを奏し得る者を作るに至つた。

今日の音樂は他の文化と共に中央亞細亞に起り，一は東して印度・支那・日本に及び，一はエジプト・アッシリア・ギリシャ文明に隨伴して，遂ひに今日の莊麗なる西洋音樂に推移したものである。

## 二　ギリシャ時代の音樂

**ギリシャ以前**……西洋音樂史の研究に於て，エジプト王朝時代，アッシリア王朝時代等の音樂も一瞥しなければならないのであるが，僅かに聖書，詩篇等に於て，ヘブライ人が數千人で讚歌を合唱し，數百人の樂人をして合奏せしめた壯觀を想像する以外に，その內容を知る事が出來ない，實際に音樂史が神話時代より解放せられる端緒を得たのは，明かにギリシャ時代からである。

**ギリシャ時代**……ギリシャ時代，すなはち紀元前一千年乃至紀元四百年迄は，他の文物の進步と共に輝かしい文明を築いただけ，信ずべき文獻を多數に殘してゐる。ギリシャ人は音樂と體育とを教育の第一議に置いた程，熱心に音樂を研究した國民で，今日の音階の基礎も既に此の時代に制定され，又記譜法も始めて此の時代に工夫された。

ギリシャ人の音樂に對する信念は，オルフェオがキタラの妙音によつて愛妻

を幽界から連れ歸る物語や，アリオンが音樂の力で海豚に救はれる物語を遺したのである。

## 三　ローマ時代の音樂

グレゴリー法王

**ローマ時代**……ローマ時代はその中心が基督教にあつた故，すべての藝術も之に關興して發達した。元來ローマ人は音樂的國民でなかつた爲め，數百年間は見るべきものがなかつた。西曆四世紀に到り，基督教が國教として制定されるや，ギリシャ音樂を模倣して教會音樂が勃興した。

**グレゴリー法王**(St. Gregori)……六世紀には有名なる**グレゴリー**法王出でゝ讃歌を集め，或ひは新作して教會音樂を大成し，且つ多くの唱歌學校を起してその普及をはかつた。この讃歌は今日も行はれてゐるものである。

**和聲の起原**……オクターヴで合唱することはギリシャ時代から行はれてゐたが，九世紀頃に及んで，完全五度，又は完全四度もよく協和する事に氣がついたのである。次いで五度の中間の三度，その轉回の六度も協和音として考へられる樣に進んで來たのである。

**樂譜法の發達**……樂譜法も九世紀頃に**ネウマ**（Neuma）が工夫され，十世紀には線の發明があり，**グィドー**（Guido d'Arezzo）に及んで四線式の樂譜が完備して，**有量樂譜**とよぶ角音符が用ひられる樣になつた。今日の樣な丸音符五線式が正式に用ひられる樣になつたのは十七世紀の中頃からである。

グィドーは又ドレミによる**階名唱法**の創始者である。

## 四　中世期の音樂

**教會以外の音樂**……教會を中心とした音樂は傳統格式に束縛されてゐる一方，各地方に**民族歌謠**，**マドリガル**，**民族舞踊**等の民族的音樂が勃興し，十一世紀の終に，フランスには教養ある騎士からなる**トルバドゥール**といふ遍歷唱歌者が出來た。

之は**リュート**，**フリュート**又は**フィーデル**（ヴァイオリンの前身）等で伴奏しながら卽興作詩吟唱するもので，イギリスに渡つて**ミンストレル**と言はれ，ドイツに入つて**ミンネジンガー**と言はれた。

ワグナーの歌劇「タンホイザー」は，十三世紀頃のミンネジンガーの生活を取材したものである。



**ネザーランド派の音樂**……イタリーをその中心として榮えた音樂は　次いでネザーランド(オランダ地方)に移り，此處にカノン等の對位法的音樂が發達をとげ，やがて情的のラテン人から，知的のチュートン人に音樂が推移して行く端緒となつたのである。

## 五　聖劇と歌劇

パレストリーナ

**複旋律**……純音樂が複旋律を主張してネザーランド地方に移つてゐる時，イタリーにも**パレストリーナ**(Palestrina 1515? — 1594）の如き大家が現れた。

**聖劇と歌劇**……一方十六世紀文藝復興の影響を受けて，ギリシャ古典劇の模倣から，神話を題材とする唱歌劇が現はれた。之は動作・扮裝を缺くもので聖劇(Oratorio）と名づけられた。更に此の運動は**ペリ**等によつて歌劇(Opera）の出現を見るに至つた。その初めの作品はギリシャ神話による「**ダフネ**」(1594）と「**ユーリディーチェ**」(1600）であつた。

その後モンテヴェルディ等が出て伴奏に工夫を凝らし，ヴァイオリンの技巧を發展せしめた。之の運動は純音樂派を壓倒する程の勢を示して來た。

## 六　器樂の勃興

**絃樂器の發達**……中世期の音樂は主として聲樂にあつたのであるが，音の自由の慾求と，樂器の發達とによつて器樂が勃興するに到つた。ヴァイオリン屬の樂器も十七世紀に及んで，イタリーのクレモナに**アマティ**，**グァルネリ**，**ストラディヴァリ**の三巨匠が出でて優秀な樂器を作つた。

**有鍵樂器の發達**……有鍵樂器に於いては，クラヴィコールド，チ

エンバロ，スピネット等のピアノの前身樂器が全盛を極め，十八世紀に及び**クリストフォーリ**はハンマーによつて發音する現代ピアノを發明し，之に刺戟せられて各種の樂器製造は急速なる進歩を遂げた。かくして十八世紀，十九世紀を通じて器樂黃金時代を今日に展開して來たのである。

## 七　十八世紀音樂の槪觀

**十八世紀前半の音樂**……卑俗低調なる歌劇運動が歐洲を風靡しつつある時，此所に儼然として近代音樂の樹立に盡した人々に**バッハ，ヘンデル**がある。この時代は複音樂の完成時代で，音樂史上**バッハ，ヘンデル時代**と呼ぶ。

**十八世紀後半の音樂**……十八世紀の後半はフーガ，カノン形式大成の後を受けてソナタ形式の完成した時代で，**ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン**をその代表的作家とする。

**ウイーンの三大家**……**ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン**は共にウイーンを中心として活動したので，之の三人を**ウィーンの三大家**といふ。

## 八　バッハ，ヘンデル時代

**バッハ**……**バッハ**(Bach 1685 — 1750)は近代音樂の祖として仰がれる人で，彼以前の音樂は殆ど忘れられてゐる程である。バッハはドイツのアイゼナッハに生れ，幾多の驚異的な作品を遺した。殊に複音樂の最高峯をなすフーガ形式の完成，平均律の制定，及び之による四十八曲，宗教樂，オルガン曲，その他の器樂獨奏曲等は今日も猶音樂の至寶として尊重されてゐる。

**ヘンデル**……**ヘンデル**(Händel 1685 — 1759）はドイツのハルレに生れ，その重要な時をロンドンに送つた人である。バッハは純音樂に沒頭したに對して彼は聖劇・歌劇に全力を盡した。



猶ドイツには此の時代，イタリー歌劇の唱歌者本意の惡趣味なる流行に對して改革を叫んで，「**オルフェオ**」等を作曲した有名なる**グルック**（Gluck 1714 — 1787）があり，フランスには歌劇に功勞ある**リュッリー**(Lully 1633 — 1687)，近代和聲學の原理を初めて唱へた**ラモー**(Rameau 1683 — 1764）がある。

## 九　古典派音樂時代

**古典派音樂**……此の時代はハイドンによつて唱へられたソナタ形式完成の時代で，バッハに及んでその極致を見た**複音樂**の轉換として表れた**單音樂**の全盛時代である。音樂史上この時代を**古典派音樂時代**といふ。

**ハイドン**……**ハイドン**(Haydn 1732 — 1809）はその作品の全般に亙つてソナタ形式を主唱し，絃樂四重奏の範を垂れ，近代管絃樂の軌範を定め，之がモーツァルトを經，ベートーヴェンに至つて一層完成せられ，規矩正然たる古典音樂の大成に導き，交響音樂の完成される基礎を作つたのである。

**モーツァルト**……**モーツァルト**(Mozart 1756 — 1791）は又歌劇の方面に於いても新機軸を出し，「**フィガロの結婚**」「**ドン・ジョヴァンニ**」「**魔笛**」其の他の喜歌劇を發表して音樂的効果に一飛躍を示した。

## 十　ベートーヴェンの作品

**ベートーヴェン**……**ベートーヴェン**(Beethoven 1770 — 1827）はドイツのボンに生れた不世出の音樂家で，「**フィデリオ**」と稱する一篇の歌劇の外，ピアノ曲，交響曲，宗敎曲等多數の作品を遺した。

ベートーヴェンの作品はその作風と生活とから三つの時期に分けて考へられてゐる。

**第一期**（ハイドン，モーツァルト影響時代） 1790 — 1803
此の時代は彼の修業時代で，ハイドンやモーツァルトの影響が著しい。初期のピアノソナタ，「悲愴」「月光」等が之に屬する。

(バッハ)　(ヘンデル)　(グルック)　(ラモー)　(ハイドン)　(モーツァルト)

**第二期**（個性發揮時代）1803 — 1815

此の時代は彼の藝術が完成圓熟した時代で「英雄交響曲」「第五」「第六」等の交響曲も作られ，「激情」「ヴァルトシュタイン」等のピアノ曲等非常に多量の作品が發表された。而して此の時代から彼は耳疾に苦しめられてゐた。

**第三期**（靈感的活動時代）1815 — 1827

ベートーヴェンが完全に聽覺を失ひ，感覺を捨てゝ内面的表現に轉向した晩年時代で「第九交響曲」，「莊嚴なるミサ曲」それに作品百番以下の有名なるピアノソナタ五曲等が含まれてゐる。

## 十一　ロマン派音樂の勃興

**ロマン派音樂**……ベートーヴェンは音樂の各方面に亙つて古典派音樂の最高峯を築いた。之と同時に古典派音樂の上に更に展開の方向を示したのである。例へば第六交響曲の如き，又は第三期の作風に窺はれる進出は，明かに次のロマン派音樂時代を誘導したのである。それ故ベートーヴェンはこの兩時代の過渡時代に屬する人とも見做されてゐる。

然しながら明かに音樂をロマン派に轉向せしめた人は**シューベルト**と，歌劇方面に貢献した**ウェーバー**等である。

**古典派とロマン派**……古典派は形式美を重んじ，形式そのものの美によつて思想感情の表現をなさんとするに反し，ロマン派は内的實在を重んじ，此の表現の爲めに音樂の形式を用ひるのである。從つて表現せんとするものの目的，及び範圍が極限されて，**標題音樂**を誘起したのである。これに對して形式美を追究する音樂を**絶對音樂**といふ。

(ベートーヴェン)　(シューベルト)　(ウェーバー)　(ロッシーニ)　(ケルビーニ)　(メンデルスゾーン)

第十九世紀は大體に於いて標題音樂に支配された。そして此の時代の功勞者には**シューベルト**，**ウェーバー**の外に**メンデルスゾーン**，**シューマン**，**ショパン**，**リスト**，**ベルリオーズ**等の諸大家が居る。

## 十二　シューベルトと歌謠

**シューベルト**……**シューベルト**（Schubert 1797 — 1828）はウィーンに生れ，ベートーヴェンと同時代に同じくウィーンに生活しながら，ベートーヴェンとは全然變つた作風をしてゐた。彼にはベートーヴェンの「第五」と並び稱せられる「**未完成交響曲**」（三樂章が完成されてゐない故にかくいはれてゐる）と稱ぶ**ロ**短調と，他に「**ハ長調交響曲**」等があるが，それよりも彼の名を不朽ならしめたものは，歌謠方面への貢献である。彼以前にも獨立した歌謠はあつたのであるが，その藝術的價値は殆ど認められてゐなかつた。彼はロマン派の精神を之に注いで，三十一年の短い生涯に六百餘曲の名歌謠曲を遺した。

十八歳の時既に「**魔王**」「**野薔薇**」の如き名曲を作り，「**さすらひ人**」「**少女の嘆**」等が相次いで發表された。此の外「**アヴェ・マリア**」「**聽け聽け雲雀**」「**菩提樹**」「**海邊にて**」「**セレナーデ**」等よく知られて居るものの外にも今日歌謠の模範たる可きものが多い。

シューベルトの歌謠をその形式から見る時は次の三種となす事が出來る。凡ての歌謠はその何れかに屬してゐるのである。

**一　民謠的歌謠**　之は同一旋律を繰返して歌ふもので，「野薔薇」の如きはそれで　多くの學校唱歌は之に屬してゐる。

**二　藝術的歌謠**（通作型），詩の語句を重じ，且つはその内的表現を自由に

（シューマン）　（ショパン）　（リスト）　（ベルリオーズ）　（パガニーニ）　（ワグナー）

する爲めに，自由な旋律と，十分なる發想と，藝術的伴奏とを備へてゐる。優秀な歌謠の多くは之に含まれる。

**三　譚詩的歌謠**　「**魔王**」の如く物語風の題材を取扱つて，それに適當なる表現を與へたものである。

シューベルトの樂風は旋律の美しい事と，轉調の自由にして豊麗である事，更に伴奏が暗示的であること等で，之の三點が彼以後の大家に敎へる所が多大であつた。

## 十三　ロマン派の音樂家

**ウェーバー**……**ウェーバー**（Weber 1786 — 1826）はドイツのオイティンに生れ，歌劇作曲家として活動した。グルック，モーツァルトによつて築かれた歌劇を，眞にドイツ國民歌劇として生命を與へ，ドイツ古傳說から取つた「**魔彈の射手**」「**オベロン**」等を遺した。此の運動はイタリーには**ロッシーニ**（Rossini 1792 — 1868）フランスには**ケルビーニ**（Cherubini 1760 — 1842）が居つてそれぞれ進められて行つた。

**メンデルスゾーン**……**メンデルスゾーン**（Mendelssohn 1809 —1847）はドイツ，ハンブルクの名門の家に生れ，三十八年の幸福なる生涯を送つた。

彼の主なる作は聖劇の「**パウロ**」と「**エリア**」の二大作で，之は不朽の名曲として遺されてゐる。

合奏曲にはシェークスピアの詩によつた「**眞夏の夜の夢**」があり，其の他五曲の交響曲がある。又ピアノ音樂に**無言歌**なる曲風を創始した事も功績の一つである。

（ヴェルディ）　（マイエルベール）　（グーノー）　（ビゼー）　（マスネー）　（プッチーニ）

**シューマン**……**シューマン**（Schumann 1810 — 1856）はドイツ，ツイカウに生れシューベルトに私淑してその樂風を大いに賞揚啓發し，器樂に歌謠に全力を擧げて其の發展に努めた。彼はピアノ音樂に此の精神を發揮し，**リスト**，**ブラームス**に暗示を與へ，ロマン派の黃金時代を彼の手中に釀したのである。而して彼の作曲は音樂の凡てに涉つて居る。中にもピアノ曲，歌謠曲は著名であり，且つその論筆は今日も注意せられてゐる。

**ショパン**……**ショパン**（Chopin 1810 — 1849）はポーランド生れのフランス人で，ベートーヴェン以來交響曲風に取扱はれて來たピアノに，絃の樂器らしい新生命を吹き込んだピアノ詩人である。彼のピアノ曲には**ノクターン**，**マヅルカ**，**ヴァルス**，**アムプロムチュ**，**バラッド**，**ベルスース**，**エチュード**等の各樣式がある。

**リスト**……**リスト**（Liszt 1811 — 1886）はハンガリーに生れ，ピアノ演奏の王として知られた人で，ピアノでなし得るあらゆる表現を試みた。作曲では「**ハンガリア狂詩曲**」の十五曲は就中有名で，シューベルトの歌謠をピアノ曲に編曲したものもあり，其の他交響曲にも新生面を開き，交響詩曲を展開させ，「**ダンテ神曲交響曲**」「**ファウスト交響曲**」等十三曲を殘した。

**ベルリオーズ**……當時**ベルリオーズ**（Berlioz 1803 — 1869）はフランスにあつて交響詩曲に全力を注ぎ，**パガニーニ**（Paganini 1782 — 1840）はヴァイオリンの鬼才として活動し，ピアノのリストとの三人は偶々相提携して華々しく活動した。

（ブラームス）（ブルックナー）（マックス・レーガー）（マックス・ブルッフ）（ルービンシュタイン）（チャイコフスキー）

## 十四　ワグナーと樂劇

**ワグナー**……**ワグナー**（Wagner 1813 — 1883）はドイツ，ライプチッヒに生れ，ドイツ歌劇を一變させ，その音樂の上にも貢献する所が大であつた。彼は歌劇を**樂劇**と改め，歌詞・演出等すべてを彼自身が案出し，音樂も新しい和聲を大膽に，且つ大規模に用ひて當時の人士をして茫然たらしめた。その有名なものに「**リエンツィ**」「**さまよへるオランダ人**」「**タンホイザー**」「**ローエングリン**」，後期の作では「**ニーベルンゲンの指環**」と稱ぶ四部作や，「**トリスタンとイソルデ**」「**パーシファル**」等がある。彼は理想的劇場をバイロイトに建て，之によつて詩・音樂・繪畫・彫刻・建築等のすべての藝術の綜合を主張した。

**他の歌劇作家**……彼の作曲の影響は直ちにイタリー，フランスに入り，イタリーには**ヴェルディ**（Verdi 1813 — 1901）現れ，フランスに**マイエルベール**（Meyerbeer 1719 — 1864），**グーノー**（Gounod 1818 — 1893），**ビゼー**（Bizet 1838 — 1875），**マスネー**（Massenet 1842 — 1912）等が競ひ起つた。かくてイタリー歌劇は**プッチーニ**（Puccini 1858 — 1924）等に導かれる。

## 十五　十九世紀末以後の他の作家

**ドイツ新古典派**……十九世紀はロマン派音樂全盛であつたが，此の間に古典派を育てゝ來た人々に**ブラームス**（Brahms 1833 — 1897）があり，**ブルックナー**（Bruckner 1824 — 1896）があり，更に之の

（ムーソルグスキー）（リムスキー・コルサコフ）（グリーク）（シュトラウス）（ドビュッスィ）（サン・サーンス）

精神を繼承した**マックス・レーガー**（Max Reger 1873 — 1916），**マックス・ブルッフ**（Max Bruch 1838 — 1920）等がある。

**北歐の作家**……西歐諸國が此の樣な活動を續けてゐる間に，北歐諸國に新らしい運動が起つた。それは國民的音樂の高唱で**ルービンシュタイン**（Rubinstein 1829 — 1894）**チャイコフスキー**（Tschaikowsky 1840 — 1893）が先づロシアに起ち，これに對抗して**ムーソルグスキー**（Moussorgsky 1835 — 1881），**リムスキー・コルサコフ**（Rimsky-Korsakow 1844 — 1908）等が起つた。

又**グリーク**（Grieg 1843 — 1907）はノルウェーに生れ，スカンヂナヴィアの民謠調を利用して北歐に獨得の境地を開いた。

## 十六　二十世紀の音樂

**二十世紀の音樂**……二十世紀初頭の音樂傾向の代表者として，ドイツの**リヒャルト・シュトラウス**（R. Strauss 1864 — ）とフランスの**ドビュッスィ**（Debussy 1862 — 1918）とを擧げる。前者は古典派，ロマン派の繼承者として，後者は傳統を捨てた新音樂の建設者として見る事が出來る。フランスの**サン・サーンス**（Saint-Saëns 1335 — 1921），ドイツの**ヴォルフ**（Wolf 1860 — 1903）ボヘミヤの**ドヴォルシャック**（Dvořák 1841 — 1904），ドイツの**マーラー**（Mahler 1860 — 1911）等は傳統派の作家であり，ウィーンの**シェンベルク**（Schönberg 1874 — ），ロシヤ生れの**ストラヴィンスキー**（Strawinsky 1882 — ），ドビュッスィの流れを汲むフランス

（ヴォルフ）　（ドヴォルシャック）　（マーラー）　（シェンベルク）　（ストラヴィンスキー）　（ラヴェル）

の**ラヴェル**（Ravel 1875 — 1937）等は新傾向の音樂家と見做されてゐる。

二十世紀の音樂は未だその推移は俄に即斷を許さないものがあるが，ワグナーによつて築かれた多音々樂の頂上はやがて崩壞し架空的より現實的になりつゝある傾向を示してゐる。猶アメリカにはリズムを基調としたジャズ音樂が起り，その後の各種音樂に影響を與へてゐる。現在の日本には傳統の邦樂と伍して，之等種々の西洋音樂の進展を見つゝあるのであるが，一日も早くこれらの凡ての上に樹つ，世界的日本音樂の誕生を期待して止まないものである。

# 歌曲總索引（全五編）（五十音順）


編　頁

明治天皇御製「よもの海」（單音）〔1〕卷頭
明治天皇御製「國を思ふ」（單音）〔2〕〃
明治天皇御製「なよ竹は」（二部）〔3〕〃
明治天皇御製「あさみどり」（單音）〔4〕〃
昭憲皇太后御歌「大宮の」（單音）〔5〕〃

〔ア〕
あけぼの（單音）（ボルトニアンスキー作）〔1〕13
愛國の歌（單音）（ジャルディニ作）〔1〕26
朝霧（輪唱）（シュペンガー作）〔1〕50
アロハ・オエ（單音）（ハワイ民謠）〔1〕58
Alphabet（三部）（モーツァルト作）〔3〕22
秋草（二部）（小學唱歌集）〔3〕69

〔ウ・ヴ〕
ヴォルガの舟歌（單音）（ヴォルガ地方民謠）〔1〕61
鶯の歌（二部）（フラー作）〔1〕76
海邊にて（單音）（シューベルト作）〔5〕16

〔エ・ヱ〕
A B C.（單音）（モーツァルト作）〔1〕14
英國國歌（單音）（カレー作）〔1〕24
遠足（單音）（ドイツ民謠）〔1〕30

〔オ・ヲ〕
少女の夢（單音）（ショパン作）〔3〕58
小琴のしらべ（單音）（シューベルト作）〔4〕28

〔カ・クワ〕
花月（單音）（小學唱歌集）〔1〕73
郭公ワルツ（二部）（ヨナソン作）〔2〕8
海國日本（二部）（キュッケン作）〔2〕78
海邊の眺望（單音）（ヴェルデイ作）〔3〕36
花鳥（單音）（ヴェルナー作）〔4〕7
かゞやくさつき（四部）（ブラームス作）〔4〕10
風にならばや（二部）（メンデルスゾーン作）〔5〕9

〔キ〕
君が代（單音）（林 廣守作）〔1〕1

〔ク〕
暮の鐘（二部）（ボヘミヤ民謠）〔2〕76

〔コ・クワウ〕
故鄕の追懷（單音）（ベーリー作）〔1〕38
樹蔭の泉（二部）（ドイツ曲）〔2〕56
胡蝶（單音）（シューマン作）〔3〕10
心靜かに（單音）（モーツァルト作）〔3〕28
聲（輪唱）（シュルツェ作）〔3〕30

皇軍凱旋（三部）（オッフェンバッハ作）〔3〕78
樹蔭（單音）（ルービンシュタイン作）〔4〕60

〔サ〕
五月の野邊（單音）（ヘルストン作）〔1〕16
さらばハワイ（單音）（ハワイ民謠）〔1〕58
山村の春（輪唱）（作曲者不詳）〔1〕72
サンタ・ルチア（二部）（ナポリ民謠）〔2〕42
才女（二部）（スコットランド民謠）〔2〕83

〔シ〕
舟遊（單音）（ハミルトン作）〔1〕36
霜の朝（二部）（ウィルヘルム作）〔1〕52
白百合（單音）（ブラームス作）〔2〕32
城山の秋（二部）（フォスター作）〔2〕60
出陣の歌（單音）（シューマン作）〔2〕62
春曉（三部）（ライヒャルト作）〔4〕1
昭和の日本（三部）（ウィリアムス作）〔4〕46

〔ス〕
須磨の秋（單音）（モーツァルト作）〔1〕47
すみれ（二部）（ヴォルガ地方民謠）〔2〕5
スキーの歌（二部）（黒澤隆朝作）〔2〕68

〔セ〕
雪戰（單音）（ドイツ民謠）〔1〕56
靑春の歌（單音）（メンデルスゾーン作）〔4〕14
靜夜（三部）（クルシュマン作）〔5〕25

〔ソ・サウ〕
早春（單音）（ドイツ民謠）〔1〕68
早春賦（單音）（中田 章作）〔3〕76
そゞろあるき（三部）（レーヴァ作）〔4〕56

〔タ〕
樂しき農夫（單音）（シューマン作）〔2〕25
樂しき春（單音）（ベートーヴェン作）〔3〕2
旅の明暮（二部）（ルービンシュタイン作）〔4〕62
探梅（三部）（作曲者不詳）〔5〕70

〔チ〕
地上の歡喜（二部）（ベートーヴェン作）〔3〕4
散り行く花（三部）（作曲者不詳）〔3〕24

〔ツ〕
追憶（單音）（アメリカ曲）〔1〕25
紡ぐ少女（單音）（ユングスト作）〔3〕68
辻音樂師（單音）（シューベルト作）〔5〕56

334　3−233　4676　717
ハはカかえた　ニ ンキるハ　カハイイ　ニンヤる
667　4−322　334321 7
4−3 22 ... 
1343　367 6 7
7−6 43　3 1767
446


麥打ちの歌（單音）（ドイツ民謠）〔1〕17
蟲に寄せて（二部）（ライトン作）〔2〕58


〔ハ〕


春霞（單音）（ハットン作）〔1〕10
春の曙（單音）（ウェスレイ作）〔1〕11
春の夜（單音）（ハリソン作）〔2〕4
母のおもひ（單音）（小學唱歌集）〔2〕17
春の山野（單音）（ブラッドハーリー作）〔2〕20
箱根路（二部）（ヘッラー作）〔2〕50
鳩と梟（輪唱）（ハウプトマン作）〔2〕70
花（二部）（瀧　廉太郎作）〔2〕80
春の歌（三部）（メンデルスゾーン作）〔3〕18
玻璃の清水（單音）（ドイツ曲）〔3〕26
母と子（二部）（ウイーン調）〔5〕22
羽衣の舞（四部）（ウェーバー作）〔5〕48
春の祝歌（四部）（ズェーデルマン作）〔5〕60


〔ヒ〕


飛行機（單音）（ドイツ民謠）〔1〕67
雲雀（二部）（作曲者不詳）〔2〕3
雲雀の歌（四部）（メンデルスゾーン作）〔5〕1


〔フ〕


故郷さらば（單音）（ドイツ民謠）〔1〕21
舊都（ふるさと）の月（單音）（ヘイズ作）〔1〕28
福壽草（輪唱）（ドイツ曲）〔1〕49
冬の旅（單音）（クック作）〔1〕53
ブラームスの子守歌（單音）（ブラームス作）〔1〕28
船路（三部）（マッチンギイ作）〔3〕62
欸乃（ふなうた）の調（二部）（オッフェンバッハ作）〔4〕40
ふるさとの夢（三部）（ドヴォルジャック作）〔4〕66


〔モ〕


森のひゞき（二部）（キュッケン作）〔4〕22
モーツァルトの子守歌（單音）（モーツァルト作）〔1〕44


〔ヤ〕


藪のかつこう（二部）（シュミット作）〔1〕32
山のうた（二部）（デンツァ作）〔3〕46
山うぐひす（三部）（メンデルスゾーン作）〔4〕16
山の古寺（三部）（ブラームス作）〔5〕18


〔ユ〕


雪山のうた（三部）（高木東六作）〔3〕70
夢（三部）（シューマン作）〔5〕44


〔ヨ〕


四つ葉のクローバー（單音）（ロイテル作）〔5〕6
夜の曲（單音）（シューベルト作）〔5〕32


〔リ・レフ〕


獵人の合唱（三部）（ウェーバー作）〔3〕40


〔ル〕


流浪の民（三部）（シューマン作）〔5〕75


〔ロ〕


ロオレライ（單音）（ジルヘル作）〔2〕45


〔ワ〕


若草の古戰場（單音）（スコットランド民謠）〔2〕6
若人の歌（單音）（ブッテルフィールド作）〔3〕75
我が太陽（單音）（ナポリ民謠）〔4〕50
我等が精銳（三部）（ヤコボワスキー作）〔4〕78


# 所載名曲總索引（全五編）（五十音順）

編 頁

〔ア〕


アロハ・オエ (Iiliuokalani Q.)〔1〕60
アルルの女〔王の行進・フランス民謠〕(Bizet)〔1〕63
アンニー・ローリー〔才女〕（スコットランド民謠）〔2〕83
アンダンテ・カンタービレ (Tschaikowsky)〔3〕51
碧きドナウ河 (J. Strauss)〔3〕65
アム・メーア〔海邊にて〕(Schubert)〔5〕16
アーゼの死 (Grieg)〔5〕38
アニトラの踊 (Grieg)〔5〕39
アヴェ・マリア (Gounod)〔5〕59
アヴェ・マリア (Schubert)〔5〕59
愛の夢 (Liszt)〔5〕68


〔イ〕


イ長調のワルツ (Brahms)〔5〕20
祈りの曲 (Max Bruch)〔5〕46


〔ウ・ヴ〕


ヴォルガの舟歌（ロシヤ民謠）〔1〕61
ウィリアム・テルの牧歌調 (Rossini)〔3〕50
ウィリアム・テルの行進曲 (Rossini)〔3〕50
ヴァイオリン協奏曲 (Mendelssohn)〔4〕20
歌の翼に (Mendelssohn)〔4〕20
維納狂想曲〔母と子・ウィーン調〕(Kreisler)〔5〕22


〔エ〕


英國國歌 (Carey)〔1〕24
エレジイ (Massenet)〔5〕15
エルケニッヒ (Schubert)〔5〕32


〔オ・ヲ〕


王の行進（フランス民謠）〔1〕63
オールド・ブラック・ジョー〔城山の秋〕(Foster)〔2〕60
少女の願ひ〔少女の夢〕(Chopin)〔3〕58
音樂に寄せて〔小琴のしらべ〕(Schubert)〔4〕50
オー ソレ・ミオ〔我が太陽〕〔ナポリ民謠〕〔5〕28
思ひ出 (Drdla)〔5〕47


〔カ〕


郭公（オーストリヤ民謠）〔1〕11
玩具交響曲 (Haydn)〔1〕19
歌劇「オルフェオ」のアンダンテ (Gluck)〔1〕21
歌劇「魔彈の射手」序曲より (Weber)〔1〕42
歌劇「魔彈の射手」よりの歌調 (Weber)〔1〕42
歌劇「フィガロの婚禮」より (Mozart)〔1〕46
歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲 (Wagner)〔1〕70
歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲 (Donizetti)〔1〕70
歌劇「トロヴァートーレ」中の兵士の合唱より (Verdi)〔1〕70
郭公ワルツ (Jonasson)〔2〕8
歌劇「カルメン」鬪牛士の歌 (Bizet)〔2〕21
歌劇「カルメン」カスタネットの歌 (Bizet)〔2〕21
歌劇「オベロン」(Weber)〔2〕39
歌劇「魔笛」より〔心靜かに〕(Mozart)〔3〕28
歌劇「魔彈の射手」花の冠合唱 (Weber)〔3〕44
ガヴォット (Popper)〔3〕55
ガヴォット (Gossec)〔3〕55
カヴァティーナ (Raff)〔4〕27
歌劇「蝶々夫人」中の舟歌 (Puccini)〔4〕44
歌劇「蝶々夫人」中或る晴れた日に (Puccini)〔4〕45
かへれソレントへ (Curtis)〔4〕53
カロ・ミオ・ベン〔ナポリ民謠〕(Giordani)〔5〕31
歌劇「彷へる和蘭人」中の紡ぎ歌 (Wagner)〔5〕73
歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱曲 (Wagner)〔5〕73
歌劇「タンホイザー」巡禮の合唱 (Wagner)〔5〕73


〔キ〕


驚愕交響曲 (Haydn)〔1〕19
金と銀 (Lehar)〔2〕12
金婚式 (Gabriel-Marie)〔2〕75


〔ク〕


軍隊行進曲 (Schumann)〔2〕65
クロイツェルソナタ (Beethoven)〔3〕21
軍隊行進曲 (Schubert)〔4〕32
グーノーのセレナーデ (Gounod)〔4〕73


〔ケ〕


ケンタッキーの家 (Foster)〔2〕61
月光の曲 (Beethoven)〔5〕24
G線上のアリア (Bach)〔5〕51


〔コ〕


故鄕の夢（アメリカ曲）〔1〕39
子守歌 (Mozart)〔1〕44
子守歌 (Brahms)〔2〕28
子守歌 (Hauser)〔3〕54
子守歌 (Iljinsky)〔3〕54
ゴセックのガヴォット (Gossec)〔3〕55
コール・ニドライ (Max Bruch)〔5〕46


〔サ〕


サープライズ〔驚愕交響曲〕(Haydn)〔1〕19
サンタ・ルチア（ナポリ民謠）〔2〕42
サンカンティーヌ (Gabriel-Marie)〔2〕75
サドコのインドの歌 (Rimsky-Korsakow)〔5〕5


〔シ〕


主人は冷たい土の中に (Foster)〔2〕61
「新世界」よりのラルゴ〔ふるさとの夢〕(Dvořák)〔4〕66
死と少女 (Schubert)〔5〕16
シューベルトのアヴェ・マリア (Schubert)〔5〕59
巡禮の合唱 (Wagner)〔5〕73


〔ス〕


ステンカ・ラーズィン〔すみれ〕（ロシヤ民謠）〔2〕5
スコットランドの釣鐘草〔若草の古戰場〕（スコットランド民謠）〔2〕6
スザンナ (Foster)〔2〕61
スプリングソング (Mendelssohn)〔3〕11
スケーターワルツ (Waldteufel)〔3〕74
スーヴニール (Drdla)〔5〕47


〔セ〕


聖ヨハネスの讃歌〔1〕7
聖夜 (Grüber)〔2〕44
星條旗の歌 (Smith)〔3〕35
セレナーデ (Toselli)〔4〕53
セレナーデ (Drigo)〔4〕72
セレナーデ (Gounod)〔4〕73
セレナーデ (Tosti)〔4〕73
セレナーデ (Schubert)〔5〕32


〔ソ〕


双頭の鷲の下に (F. Wagner)〔2〕66
ソルヴェージの歌 (Grieg)〔5〕39

〔テ〕

天壤無窮（二部）（ベートーヴェン作）〔3〕 8

〔ト〕

時計（輪唱）（ドイツ曲）〔1〕 50
遠寺の鐘（單音）（ジルヘル作）〔3〕 52

〔ナ〕

なみ風（單音）（小學唱歌集）〔1〕 12
夏を樂しむ（二部）（ロッシーニ作）〔2〕 40
懐しの我家（三部）（ビショップ作）〔5〕 12

〔ニ〕

日章旗（單音）（シュワルツ作）〔1〕 20
日本帝國（二部）（ブローム作）〔2〕 22

〔ネ〕

眠れ英靈（四部）（シューベルト）〔3〕 56

〔ノ〕

野寺の鐘（輪唱）（イギリス曲）〔1〕 51
野薔薇（單音）（シューベルト作）〔4〕 6

〔ハ〕

春霞（單音）（ハットン作）〔1〕 10
春の曙（單音）（ウェスレイ作）〔1〕 11
春の夜（單音）（ハリソン作）〔2〕 4
母のおもひ（單音）（小學唱歌集）〔2〕 17
春の山野（單音）（ブラッドハーリー作）〔2〕 20
箱根路（二部）（ヘッラー作）〔2〕 50
鳩と梟（輪唱）（ハウプトマン作）〔2〕 70
花（二部）（瀧 廉太郎作）〔2〕 80
春の歌（三部）（メンデルスゾーン作）〔3〕 18
玻璃の清水（單音）（ドイツ曲）〔3〕 26
母と子（二部）（ウイーン調）〔5〕 22
羽衣の舞（四部）（ウェーバー作）〔5〕 48
春の祝歌（四部）（ズェーデルマン作）〔5〕 60

〔ヒ〕

飛行機（單音）（ドイツ民謠）〔1〕 67
雲雀（二部）（作曲者不詳）〔2〕 3
雲雀の歌（四部）（メンデルスゾーン作）〔5〕 1

〔フ〕

故郷さらば（單音）（ドイツ民謠）〔1〕 21
舊都の月（單音）（ヘイズ作）〔1〕 28
福壽草（輪唱）（ドイツ曲）〔1〕 49
冬の旅（單音）（クック作）〔1〕 53
ブラームスの子守歌（單音）（ブラームス作）〔1〕 28
船路（三部）（マッヂンギイ作）〔3〕 62
欸乃の調（二部）（オッフェンバッハ作）〔4〕 40
ふるさとの夢（三部）（ドヴォルジャック作）〔4〕 66
富嶽の頌（三・四部）（ストゥンツ作）〔4〕 74
古池の蛙（四部）（ドイツ民謠）〔5〕 34

〔ホ〕

牧人の歌（二部）（グリーガー作）〔2〕 36
ボートの唄（二部）（アラー作）〔2〕 54
菩提樹（三部）（シューベルト作）〔4〕 33
灯影（三部）（作曲者不詳）〔4〕 34
亡友を懐ふ（單音）（アッシャー作）〔4〕 38
牧場の曙（三部）（ウィルソン作）〔5〕 40

〔マ〕

舞扇（單音）（作曲者不詳）〔1〕 62
護れ空を（單音）（黒澤隆朝作）〔1〕 66
籬の白菊（單音）（アブト作）〔4〕 54

〔ミ〕

水に映る影（二部）（グリンカ作）〔2〕 18
深山路（單音）（ドイツ曲）〔2〕 46
みたにの奥（單音）（小學唱歌集）〔5〕 69

〔ム〕

麥打ちの歌（單音）（ドイツ民謠）〔1〕 17
蟲に寄せて（二部）（ライトン作）〔2〕 58

〔モ〕

森のひゞき（二部）（キュッケン作）〔4〕 22
モーツァルトの子守歌（單音）（モーツァルト作）〔1〕 44

〔ヤ〕

藪のかつこう（二部）（シュミット作）〔1〕 32
山のうた（二部）（デンツァ作）〔3〕 46
山うぐひす（三部）（メンデルスゾーン作）〔4〕 16
山の古寺（三部）（ブラームス作）〔5〕 18

〔ユ〕

雪山のうた（三部）（高木東六作）〔3〕 70
夢（三部）（シューマン作）〔5〕 44

〔ヨ〕

四つ葉のクローバー（單音）（ロイテル作）〔5〕 6
夜の曲（單音）（シューベルト作）〔5〕 32

〔リ・レフ〕

獵人の合唱（三部）（ウェーバー作）〔3〕 40

〔ル〕

流浪の民（三部）（シューマン作）〔5〕 75

〔ロ〕

ロオレライ（單音）（ジルヘル作）〔2〕 45

〔ワ〕

若草の古戰場（單音）（スコットランド民謠）〔2〕 6
若人の歌（單音）（ブッテルフィールド作）〔3〕 75
我が太陽（單音）（ナポリ民謠）〔4〕 50
我等が精鋭（三部）（ヤコポワスキー作）〔4〕 78

# 所載名曲總索引（全五編）（五十音順）

編 頁

〔ア〕

アロハ・オエ(Iiliuokalani Q.) 〔1〕 60
アルルの女〔王の行進・フランス民謠〕(Bizet) 〔1〕 63
アンニー・ローリー〔才女〕(スコットランド民謠) 〔2〕 83
アンダンテ・カンタービレ(Tschaikowsky) 〔3〕 51
碧きドナウ河(J. Strauss) 〔3〕 65
アム・メーア〔海邊にて〕(Schubert) 〔5〕 16
アーゼの死(Grieg) 〔5〕 38
アニトラの踊(Grieg) 〔5〕 39
アヴェ・マリア(Gounod) 〔5〕 59
アヴェ・マリア(Schubert) 〔5〕 59
愛の夢(Liszt) 〔5〕 68

〔イ〕

イ長調のワルツ(Brahms) 〔5〕 20
祈りの曲(Max Bruch) 〔5〕 46

〔ウ・ヴ〕

ヴォルガの舟歌（ロシヤ民謠） 〔1〕 61
ウィリアム・テルの牧歌調(Rossini) 〔3〕 50
ウィリアム・テルの行進曲(Rossini) 〔3〕 50
ヴァイオリン協奏曲(Mendelssohn) 〔4〕 20
歌の翼に(Mendelssohn) 〔4〕 20
維納狂想曲〔母と子・ウィーン調〕(Kreisler) 〔5〕 22

〔エ〕

英國國歌(Carey) 〔1〕 24
エレジイ(Massenet) 〔5〕 15
エルケニッヒ(Schubert) 〔5〕 32

〔オ・ヲ〕

王の行進（フランス民謠） 〔1〕 63
オールド・ブラック・ジョー〔城山の秋〕(Foster) 〔2〕 60
少女の願ひ〔少女の夢〕(Chopin) 〔3〕 58
音樂に寄せて〔小琴のしらべ〕(Schubert) 〔4〕 50
オー ソレ・ミオ〔我が太陽〕〔ナポリ民謠〕 〔5〕 28
思ひ出(Drdla) 〔5〕 47

〔カ〕

郭公（オーストリヤ民謠） 〔1〕 11
玩具交響曲(Haydn) 〔1〕 19
歌劇「オルフェオ」のアンダンテ(Gluck) 〔1〕 21
歌劇「魔弾の射手」序曲より(Weber) 〔1〕 42
歌劇「魔弾の射手」よりの歌調(Weber) 〔1〕 42
歌劇「フィガロの婚禮」より(Mozart) 〔1〕 46
歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲(Wagner) 〔1〕 70
歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲(Donizetti) 〔1〕 70
歌劇「トロヴァートーレ」中の兵士の合唱より(Verdi) 〔1〕 70
郭公ワルツ(Jonasson) 〔2〕 8
歌劇「カルメン」闘牛士の歌(Bizet) 〔2〕 21
歌劇「カルメン」カスタネットの歌(Bizet) 〔2〕 21
歌劇「オベロン」(Weber) 〔2〕 39
歌劇「魔笛」より〔心靜かに〕(Mozart) 〔3〕 28
歌劇「魔弾の射手」花の冠合唱(Weber) 〔3〕 44
ガヴォット(Popper) 〔3〕 55
ガヴォット(Gossec) 〔3〕 55
カヴァティーナ(Raff) 〔4〕 27
歌劇「蝶々夫人」中の舟歌(Puccini) 〔4〕 44
歌劇「蝶々夫人」中或る晴れた日に(Puccini) 〔4〕 45
かへれソレントへ(Curtis) 〔4〕 53
カロ・ミオ・ベン〔ナポリ民謠〕(Giordani) 〔5〕 31
歌劇「彷へる和蘭人」中の紡ぎ歌(Wagner) 〔5〕 73
歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱曲(Wagner) 〔5〕 73
歌劇「タンホイザー」巡禮の合唱(Wagner) 〔5〕 73

〔キ〕

驚愕交響曲(Haydn) 〔1〕 19
金と銀(Lehar) 〔2〕 12
金婚式(Gabriel-Marie) 〔2〕 75

〔ク〕

軍隊行進曲(Schumann) 〔2〕 65
クロイツェルソナタ(Beethoven) 〔3〕 21
軍隊行進曲(Schubert) 〔4〕 32
グーノーのセレナーデ(Gounod) 〔4〕 73

〔ケ〕

ケンタッキーの家(Foster) 〔2〕 61
月光の曲(Beethoven) 〔5〕 24
G線上のアリア(Bach) 〔5〕 51

〔コ〕

故郷の夢（アメリカ曲） 〔1〕 39
子守歌(Mozart) 〔1〕 44
子守歌(Brahms) 〔2〕 28
子守歌(Hauser) 〔3〕 54
子守歌(Iljinsky) 〔3〕 54
ゴセックのガヴォット(Gossec) 〔3〕 55
コール・ニドライ(Max Bruch) 〔5〕 46

〔サ〕

サープライズ〔驚愕交響曲〕(Haydn) 〔1〕 19
サンタ・ルチア（ナポリ民謠） 〔2〕 42
サンカンティーヌ(Gabriel-Marie) 〔2〕 75
サドコのインドの歌(Rimsky-Korsakow) 〔5〕 5

〔シ〕

主人は冷たい土の中に(Foster) 〔2〕 61
「新世界」よりのラルゴ〔ふるさとの夢〕(Dvořák) 〔4〕 66
死と少女(Schubert) 〔5〕 16
シューベルトのアヴェ・マリア(Schubert) 〔5〕 59
巡禮の合唱(Wagner) 〔5〕 73

〔ス〕

ステンカ・ラーズィン〔すみれ〕（ロシヤ民謠） 〔2〕 5
スコットランドの釣鐘草〔若草の古戰場〕（スコットランド民謠） 〔2〕 6
スザンナ(Foster) 〔2〕 61
スプリングソング(Mendelssohn) 〔3〕 11
スケーターワルツ(Waldteufel) 〔3〕 74
スーヴニール(Drdla) 〔5〕 47

〔セ〕

聖ヨハネスの讃歌 〔1〕 7
聖夜(Grüber) 〔2〕 44
星條旗の歌(Smith) 〔3〕 35
セレナーデ(Toselli) 〔4〕 53
セレナーデ(Drigo) 〔4〕 72
セレナーデ(Gounod) 〔4〕 73
セレナーデ(Tosti) 〔4〕 73
セレナーデ(Schubert) 〔5〕 32

〔ソ〕

双頭の鷲の下に(F. Wagner) 〔2〕 66
ソルヴェージの歌(Grieg) 〔5〕 39

編 頁

〔タ〕

楽しき農夫 (Schumann) 〔2〕 25
タウベルトの子守歌 (Taubert) 〔2〕 44
第九交響曲〔地上の歡喜〕(Beethoven) 〔3〕 4

〔ツ〕

ツィゴイネルワイゼン (Sarasate) 〔2〕 75
紡ぎ歌 (Wagner) 〔5〕 73
ツィゴイネルレーベン〔流浪の民〕(Schumann) 〔5〕 75

〔テ〕

天使 (Rubinstein) 〔4〕 65

〔ト〕

トイ・シンフォニー〔玩具交響曲〕(Haydn) 〔1〕 19
ドイツ國歌 (Haydn) 〔1〕 19
鬪牛士の歌 (Bizet) 〔2〕 21
トロイメライ (Schumann) 〔2〕 65
ト調のミヌエット (Beethoven) 〔3〕 14
トルコ行進曲 (Beethoven) 〔3〕 15
トルコ行進曲 (Mozart) 〔3〕 15
ドナウ河の漣 (Ivanovici) 〔3〕 65
トロイカ (Tschaikowsky) 〔3〕 74
トゼリのセレナーデ (Toselli) 〔1〕 53
ドリゴのセレナーデ (Drigo) 〔4〕 72
トスティのセレナーデ (Tosti) 〔4〕 73

〔ナ〕

名殘の薔薇 (Th. Moore) 〔1〕 71
ナチスの歌旗を掲げて 〔2〕 66
ナポリ民謠 (Curtis) 〔4〕 53

〔ニ〕

日曜日〔白百合〕(Brahms) 〔2〕 32
ニーナの死 (Pergolesi) 〔5〕 31

〔ネ〕

眠りの精 (Brahms) 〔2〕 31

〔ノ〕

ノクターン (Chopin) 〔3〕 59
野薔薇 (Schubert) 〔4〕 6
野薔薇〔花鳥〕(Werner) 〔4〕 7

〔ハ〕

春のほゝゑみ (Depret) 〔1〕 14
ハワイの舟歌 (ハワイ民謠) 〔1〕 60
母なる河ヴォルガ (ロシヤ民謠) 〔1〕 61
波上にて (Rosas) 〔2〕 12
旗を掲げて〔ナチスの歌〕 〔2〕 66
春の歌 (Mendelssohn) 〔3〕 11
ハンタース・コーラス〔獵人の合唱〕(Weber) 〔3〕 40
春の囁き (Sinding) 〔5〕 4
春に寄す (Grieg) 〔5〕 4
春の夢 (J. Strauss) 〔5〕 4
白鳥 (Saint-Saëns) 〔5〕 15
ハレルヤ・コーラス (Händel) 〔5〕 55

〔ヒ〕

「ピアノソナタ」の主題 (Mozart) 〔2〕 52
悲愴交響曲 (Tschaikowsky) 〔3〕 51
悲歌 (Massenet) 〔5〕 15
悲哀 (Saint-Saëns) 〔5〕 15

〔フ〕

ブラームスの子守歌 (Brahms) 〔2〕 28
ファッシストの歌 〔2〕 67

編 頁

フランス國歌 〔3〕 34
舞踏への勸誘 (Weber) 〔3〕 45

〔ヘ〕

米國國歌 〔3〕 34
ヘ調のアリア〔樹陰〕(Rubinstein) 〔4〕 60
ペール・ギュント (Grieg) 〔5〕 38

〔ホ〕

ポッパーのガヴォット (Popper) 〔3〕 55
ポロネーズ (Chopin) 〔3〕 42
ホフマンの舟歌〔歎乃の調〕(Offenbach) 〔4〕 40
ホーム・スヰート・ホーム〔懐しの我家〕(Bishop) 〔5〕 12
「牧神の午后」前奏曲 (Debussy) 〔5〕 74

〔マ〕

マドリガル (Simonetti) 〔1〕 31
滿洲國國歌 〔2〕 67
マルセーユの歌〔フランス國歌〕 〔3〕 34
マヅルカ (Chopin) 〔3〕 61
魔王 (Schubert) 〔4〕 32
マリアの子守歌 (Max Reger) 〔5〕 46

〔ミ〕

ミヌエット (Beethoven) 〔3〕 14
ミヌエット (Paderewski) 〔4〕 26
ミリタリーマーチ (Schubert) 〔4〕 32
未完成交響曲の主題 (Schubert) 〔4〕 32

〔ム〕

無言歌 (Mendelssohn) 〔3〕 11

〔メ〕

メリー・ウィードー・ワルツ (Lehar) 〔2〕 7

〔モ〕

モルダウ (Smetana) 〔3〕 68

〔ヤ〕

夜想曲 (Chopin) 〔3〕 61

〔ユ〕

ユモレスク (Dvořák) 〔4〕 77

〔ヨ〕

搖籃の歌 (Hauser) 〔3〕 54
搖籃の歌 (Iljinsky) 〔3〕 54
四つ葉のクローヴァー (Reutel) 〔5〕 6

〔ラ〕

ラスト・ローズ・オブ・サンマー〔名殘の薔薇〕(Th. Moore) 〔1〕 71
ラルゴ〔ふるさとの悲〕(Dvořák) 〔4〕 66
ラルゴ (Händel) 〔5〕 55
ライエルマン〔辻音樂師〕(Schubert) 〔5〕 56

〔ル〕

ルール (Bach) 〔5〕 51

〔ロ〕

ローレライ (Silcher) 〔2〕 45
老犬トレイ (Foster) 〔2〕 61

〔ワ〕

ワルツ調 (ドイツ曲) 〔1〕 24
ワルツ調 (Lehar) 〔2〕 7
ワルツ「波上にて」(Rosas) 〔2〕 12
ワルツ「金と銀」(Lehar) 〔2〕 12
ワルツ「ドナウ河の漣」(Ivanovici) 〔3〕 66
ワルツ「碧きドナウ河」(J. Strauss) 〔3〕 67
ワルツ「スケーター」(Waldteufel) 〔3〕 74
吾が母の教へ給ひし歌 (Dvořák) 〔4〕 70
ワルツ「イ長調」(Brahms) 〔5〕 20

昭和十三年九月二十五日印刷
昭和十三年九月二十八日發行
昭和十四年二月二十二日修正再版印刷
昭和十四年二月二十五日修正再版發行

不許複製轉載

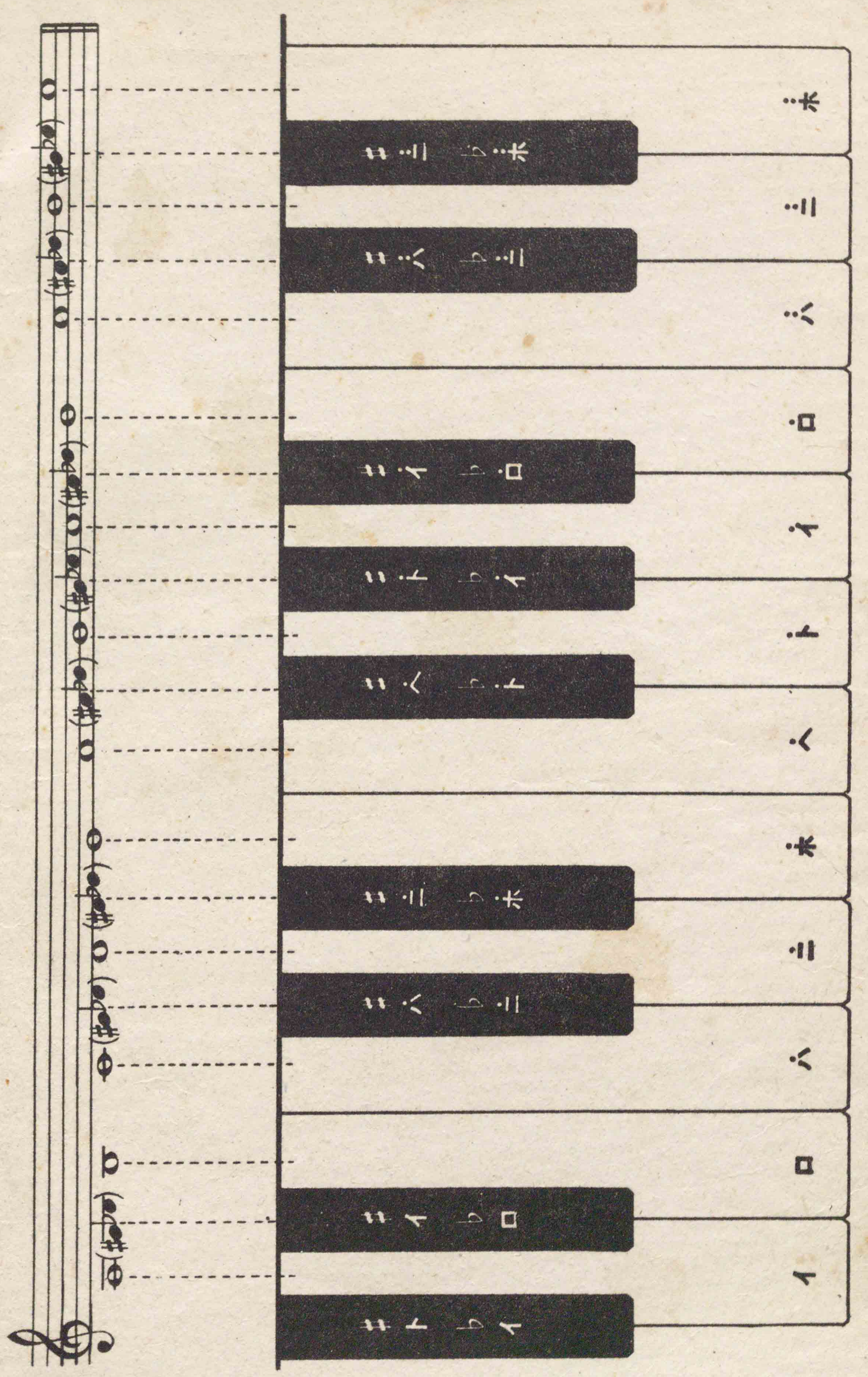
改訂標準女子音樂教科書
第一編 定價金六拾五錢
第二編 定價金七拾錢
第三編 定價金七拾錢
第四編 定價金七拾五錢
第五編 定價金七拾五錢

編者 黑澤隆朝
小川一朗
林幸光

發行兼印刷者 東京市芝區松本町四十四番地
合資會社 共益商社書店
代表者 白井保男

印刷所 共益商社書店印刷部

發行所 東京市芝區松本町四十四番地
合資會社 共益商社書店
振替口座東京一五八〇番
電話三田(45)四〇五六番 四〇五七番



♯ト ♭イ
イ
♯イ ♭ロ
ロ
ハ
♯ハ ♭ニ
ニ
♯ニ ♭ホ
ホ
ヘ
♯ヘ ♭ト
ト
♯ト ♭イ
イ
♯イ ♭ロ
ロ
ハ
♯ハ ♭ニ
ニ
♯ニ ♭ホ
ホ

廣島縣[illegible]陽[illegible]高等女學校

広島大学図書
0130449386